

**GARMIN**<sup>®</sup>



**GPSMAP<sup>®</sup> 64scJ**

操作マニュアル

© 2017 Garmin Ltd. or its subsidiaries

Garmin International, Inc.  
1200 East 151st Street,  
Olathe, Kansas 66062, USA  
Tel. (913) 397.8200 or  
(800) 800.1020  
Fax (913) 397.8282

Garmin (Europe) Ltd.  
Liberty House  
Hounsdown Business Park,  
Southampton, Hampshire, SO40 9LR UK  
Tel. +44 (0) 870.8501241 (outside the UK)  
0808 2380000 (within the UK)  
Fax +44 (0) 870.8501251

Garmin Corporation  
No. 68 Zhangshu 2nd Road,  
Xizhi District, New Taipei  
City, 221  
Taiwan, R.O.C.  
Tel. 886/2.2642.9199  
Fax 886/2.2642.9099

開発・製造 ガーミンコーポレーション

本操作マニュアルの内容の一部または全部を当社の承諾なしに転載または複製することはできません。

本操作マニュアルの内容ならびに製品の使用は予告なく変更される場合があります。本操作マニュアルの内容につきましては万全を期して作成しておりますが、記載漏れや誤りがないことを保証するものではありません。

本製品およびその他のGarmin社製品の使用・操作に関する最新・補足情報については、当社HP(<http://www.garmin.co.jp/>)にアクセスしてください。

Garmin®, Garminロゴ, ANT®, City Navigator®, GPSMAP® は、米国またはその他の国におけるGarmin社の登録商標です。BaseCamp®, chirp®, Garmin Connect®, Garmin Express®, HomePort®, tempe® は、Garmin社の商標です。Garmin社の許可を得ずに使用することはできません。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Garmin社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。Mac® は米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。Windows® は米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。microSD®とmicroSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

Geocaching 4-boxロゴは、Groundspeak Inc社の登録商標です。Groundspeak Inc社の許可を得ずに使用することはできません。geocaching.comのデータは、Geocaching.comのHP(<http://www.geocaching.com/about/termsofuse.aspx>)記載の内容に同意することで利用できます。

日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のMiniWnnを使用しています。

®MiniWnn (c) OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2000-2017 All Rights Reserved.



February 2017



Part Number 190-01702-24

Printed in Taiwan

# 本操作マニュアルについて

GPSMAP 64scJ 日本版をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。

GPSMAP 64scJの操作と機能をご理解していただくため本操作マニュアルをお読みください。

## はじめに

- GPSMAP 64scJの使用を開始するにあたり、安全および製品に関する警告と注意事項、ソフトウェアライセンス契約、FCC (連邦通信委員会) 準拠、技適マークについて記載

## 基本

- ユニット概要、基本操作方法、ナビゲーション、現在地の登録方法の説明

## 各ページの利用方法

- 地図、コンパス、高度グラフ、トリップコンピュータ等の利用方法

## 目的地検索

- 近隣検索、ポイント検索、カテゴリ検索等の目的地検索方法の説明

## 設定

- システム、ディスプレイ、地図等の設定変更方法の説明

## 付録

- 仕様、データ項目の説明、日本語入力方法等の説明

## 標準付属品

- ・ GPSMAP 64scJ 本体
- ・ ACアダプター (USB)
- ・ ニッケル水素バッテリーパック
- ・ 操作マニュアル
- ・ PC接続用USBケーブル
- ・ カラビナクリップ

# 安全および製品に関する警告と注意事項

## ⚠ 警告

次に示される警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うおそれがあります。

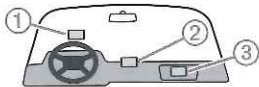
### 未舗装路のナビゲーションに関する警告

未舗装路のナビゲーションに対応する Garmin デバイスをご使用の場合には、次に示される内容に従って安全にナビゲーションを利用してください。

- Garmin デバイスが提示する未舗装路のナビゲーションルートは、あくまで参考情報です。ナビゲーションの利用者は、デバイスに表示される情報と実際の状況を照らし合わせて、ご自身の経験や判断を優先し、進行するルートを選択してください。万一、デバイスが不法なルートや利用者を危険にさらすおそれのあるルートを提示した場合には、絶対に従わないでください。
- 未舗装路のナビゲーションを利用するには、デバイスに表示される情報と実際の状況（トレイルの標識、行路状況、天候など）を常に照らし合わせ、細心の注意を払ってナビゲーションを行ってください。デバイスに表示される情報と実際の状況が異なる、あるいは疑わしい場合には、むやみにナビゲーションを続行せず、トレイルの標識や掲示物、実際の行路状況に従ってください。
- 未舗装路でのアクティビティは、常に危険が伴うということに留意してください。環境の変化、特に天候の変化には、十分ご注意ください。慣れない行路では特に危険ですので、事前に十分な装備と携行品を準備して臨んでください。

### 車両への取り付けに関する警告

デバイスを車両に取り付ける際は、運転者の視界の妨げになる位置（図①）や運転操作の妨げになる位置（ステアリング、ペダル、レバーの周囲等）を避け、デバイスをしっかりと固定できる場所に取り付けなければいけません。デバイスを固定せずにダッシュボード上（図②）に置いてはいけません。デバイスをエアバック作動の妨げになる位置（図③）に取り付けてはいけません。





## 道路のナビゲーションに関する警告

地図データを基にした道路のナビゲーションに対応する Garmin デバイスをご使用の場合には、次に示される内容に従って安全にナビゲーションを利用してください。

- ・車両の運転の際には、交通ルールとマナーを守り安全な運転を心がけてください。運転中はデバイスの画面を注視せず、画面の確認は最小限にとどめてください。
- ・運転中にデバイスを操作しないでください。操作する場合は、必ず車両を安全な場所に停止させてから行ってください。
- ・ナビゲーション中は、デバイスに表示される情報と実際の状況（道路標識、交通規制、道路のコンディション、渋滞状況、天候など）を考慮の上、細心の注意を払って運転を行ってください。デバイスに表示される情報と実際の状況が異なる、または疑わしい場合には、むやみにナビゲーションを続行せず、標識や掲示物、実際の道路状況に従ってください。
- ・デバイスが提示するルートは、あくまで参考情報です。万一、デバイスが不法なルートや利用者を危険にさらすおそれのあるルートを提示した場合には、絶対に従わないでください。

## バッテリーに関する警告

このデバイスは、交換可能なアルカリ電池 または ニッケル水素バッテリーパックが使われています。次に示される内容に従わなかった場合、バッテリーの使用寿命が短くなったり、GPS デバイスの破損、発火、化学熱傷、電解液漏洩、けがの原因となるおそれがあります。

- ・デバイスを熱源にさらしたり、高温になる場所（直射日光の当たる無人の車内など）に放置しないでください。車内でデバイスをご使用後は、デバイスを車から取り外すか、直射日光の当たらないドロップボックスの中などに保管してください。
- ・デバイスおよびバッテリーを改造、分解、再製造しないでください。デバイスおよびバッテリーに穴を開けたり、傷つけたりしないでください。
- ・デバイスおよびバッテリーを火気に近づけるなどの危険にさらす行為はおやめください。
- ・デバイスおよびバッテリーを水や他の液体に浸水させないでください。
- ・デバイスからバッテリーを取り外す際に、先端の尖ったものを使用しないでください。
- ・バッテリーはお子様の手の届かない所に保管してください。
- ・バッテリーは必ず規格に合ったものをご使用ください。規格外のバッテリーを使用した場合、発火や爆発を引き起こすおそれがあり、危険です。

- ・動作温度範囲外でデバイスを操作しないでください。動作温度範囲は、操作マニュアルに記載されています。
- ・デバイスまたはバッテリーを廃棄する際の廃棄方法については、お住まいの各自治体が定める方法に従ってください。

## 注意

GPSなどの全地球航法衛星システム(GNSS)と近い周波数で動作する地上広帯域ネットワークを使用する電子機器等の近くでデバイスを使用した場合、デバイスの衛星測位性能が低下することがあります。

## 製品環境プログラム

Garmin 製品のリサイクルプログラムおよび WEEE、RoHS、REACH 他 コンプライアンスプログラムに関する情報は、以下の URL をご参照ください。

[Garmin.com/aboutGarmin/environment](http://Garmin.com/aboutGarmin/environment)

## 適合宣言書

Garmin 社の適合宣言書に関する情報は、以下の URL をご参照ください。

[Garmin.com/compliance](http://Garmin.com/compliance)

## カナダイノベーション・科学・経済開発省法令遵守

このデバイスは、カナダイノベーション・科学・経済開発省のライセンス適用免除 RSS 標準に準拠しています。

動作は次の2つの条件に従う必要があります。

- (1) このデバイスによって、有害な干渉が発生することはない。
- (2) このデバイスは、望まない動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。

## 地図データ情報

Garmin 社は地図データの情報源として 政府提供データと民間データの両方を扱っています。すべてのデータ源には、不正確または不完全なデータがある程度含まれています。

## FCC (連邦通信委員会) 準拠

このデバイスはFCC(Federal Communications Commission: 連邦通信委員会) 規定のPart15に準拠しています。デバイスの動作は、次の2つの条件に従います。

- (1) このデバイスによって、有害な干渉が発生することはない
- (2) このデバイスは、望まない動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。

このデバイスは、FCC 規定のPart15 に基づき、クラスB デジタル機器の制限に準拠することが試験で確認されています。これらの制限は、機器を住宅地に設置した場合に、有害な干渉から適切に保護されるために設けられています。このデバイスは高周波エネルギーを生成、使用、放射し、機器の説明書の指示に従わずに使用または設置した場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすおそれがあります。ただし、特定の設置条件でそのような干渉が起こらないことを保証するものではありません。このデバイスが原因でラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こされている場合(機器の電源をオン/ オフすることで確認できます)には、次の方法をお試しください。

- ・受信アンテナの設置位置や設置方向を変更する
- ・デバイスと受信機の距離を離す・機器とGPS 受信機を回路の異なるコンセントに接続する
- ・販売店または専門の技術者に相談する

このデバイスには、ユーザーが自ら修理できる部品は含まれておりません。修理はすべてGarmin 社の正規サービスセンターで行います。正規サービスセンター以外で機器の修理または変更が行われた場合には、機器に修復不可能な損傷が生じるおそれがあるばかりか、製品保証およびPart15 規制に基づくユーザーの機器使用権限が無効となる場合があります。

## ソフトウェア・ライセンス契約

GPSMAP 64scJの使用者は、その使用に際しては、以下のソフトウェア・ライセンス契約の諸条件に同意する必要がありますので、本ライセンス契約をよくお読みください。

はじめに

Garmin社(以下「Garmin」)は使用者に対して、本製品の通常操作について、実行可能なバイナリー形式で本機器に組み込まれたソフトウェア(以下「ソフトウェア」)を使用する限定ライセンスを供与する。ソフトウェアに関する標記、所有権、知的財産権は、引き続きGarminが有する。

使用者は、以下のことに承認する:

- ソフトウェアが、Garmin所有財産であり、アメリカ合衆国の著作権法および国際著作権協定に従って保護されていること。
- ソフトウェアの構造、編成、コードは、Garminの貴重な企業秘密であること。
- ソースコード形式のソフトウェアも、Garminの貴重な企業秘密であること。

使用者は、以下のことを行わないことに同意する:

- ソフトウェアその他ソフトウェア部品について、理解できる形式へのデコンパイル、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルなどのソースコード解析作業

使用者は、アメリカ合衆国の輸出管理法に違反して、ソフトウェアをいかなる国にも輸出または再輸出しないことに合意する。

## 特定無線設備の技術基準適合証明等のマーク(技適マーク)

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として技術基準適合証明を受けた無線設備を内蔵しています。従って、本製品を使用する際に無線局の免許は必要ありません。

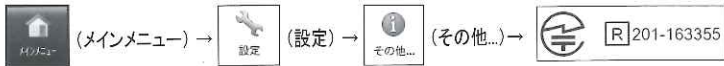
無線設備名：GPSMAP 64scJ

技術基準適合証明機関：Telefication

承認番号：R201-163355

本製品に組み込まれた無線設備は、本製品に実装して使用することを前提に、小電力データ通信システムの無線局として認証を取得しています。従って、組み込まれた無線設備を他の機器へ流用した場合や本製品を分解または改造を行うと電波法の規定に抵触する恐れがありますのでご注意ください。

### 《技適マーク確認方法》



# 目次

<b>はじめに</b> .....	i-xi	<b>各ページの利用方法</b> .....	15-75
本操作マニュアルについて.....	i	各ページの利用方法.....	15-17
安全および製品に関する警告と注意事項... ii-iv		表示項目選択.....	18-19
FCC 準拠.....	v	地図.....	20-22
ソフトウェアライセンス契約.....	vi	コンパス.....	23-25
技術基準適合証明等のマーク.....	vii	トリップコンピュータ.....	26-27
目次.....	viii-xi	高度グラフ.....	28-31
<b>基本</b> .....	1-14	カメラ.....	32
ユニット.....	1-2	ポイントマネージャー.....	33-38
電池装着.....	3-5	フォトビューアー.....	39-40
microSD カードの着脱方法.....	6	ルート作成.....	41-44
電源オン / オフ.....	7	軌跡管理.....	45-48
バックライト調整.....	8	ジオキャッシュ.....	49-51
地図の切り替え.....	9	実行ルート.....	52
デモモード.....	10	近接アラート.....	53-54
現在地変更.....	11	サイトナビ.....	55
ナビゲーション.....	12	ワイヤレス通信.....	56-57
現在地登録.....	13-14	面積計算.....	58
		平均位置測定.....	59
		カレンダー.....	60

プロフィール.....	61	全カテゴリー / カテゴリー別検索 .....	84-86
太陽と月.....	62	日本住所検索 (丁目).....	87-88
計算機.....	63	都市検索.....	89-90
狩猟と釣.....	64	日本住所検索 (地番・号).....	91-92
アラーム.....	65	電話番号検索.....	93-94
ストップウォッチ.....	66	海外住所検索.....	95-97
衛星情報.....	67-68	交差点検索 .....	98-100
アドベンチャー .....	69-71	検索履歴.....	101-102
VIRB.....	72-73	近隣検索.....	103-104
フラッシュライト.....	74	<b>設定.....</b>	<b>105-133</b>
通知.....	75	設定 .....	105
<b>目的地検索.....</b>	<b>76-104</b>	システム設定.....	106-107
目的地検索 .....	76-77	ディスプレイ設定.....	108-109
ポイント検索.....	78	Bluetooth 設定.....	110-111
フォトナビ検索.....	79	トーン設定.....	112-113
軌跡検索.....	80	地図設定.....	114-115
ルート検索.....	81	カメラ設定.....	116
POI 検索.....	82	リセット.....	117
座標検索.....	83		

軌跡設定.....	118	ベースキャンブ.....	140-158
ユニット設定.....	119	ガーミンコネクモバイル.....	159
ショートカット.....	120	カラピナの装着方法.....	160
位置フォーマット設定.....	121	仕様 / 性能 / 電力 / 機能.....	161-162
時刻設定.....	122	POI Loader.....	163
高度設定.....	123	救助ナビ (MOB).....	163
方位基準設定.....	124-125	電子コンパス.....	164
ルート探索設定.....	126-127	コースポインター.....	164
ジオキャッシュ設定.....	128-129	初期 (工場出荷時) の設定状態に戻す.....	165
ANT センサー設定.....	130	マスターリセット.....	165
マリン設定.....	131	データ項目.....	166-170
プロフィール設定.....	132	ダッシュボード.....	171
その他.....	133	トラブルシューティング (USB 接続).....	172
<b>付録.....</b>	<b>134-187</b>	トラブルシューティング (ユニット).....	173-175
衛星信号について.....	134-135	デバイスのメンテナンス.....	176
GPSMAP 64scJ と PC の接続.....	136	クリーニング方法.....	176
データ管理.....	137-138	日本国内限定保証規定.....	177-178
Garmin フォルダ内部データ.....	139	文字入力と文字変換方法.....	179
		キーボードの表示切り替え.....	179



キーボードの基本アイコン .....	180
文字キーボード詳細.....	181
「ひらがな」と「漢字」の入力方法 .....	182-183
「カタカナ」の入力方法.....	184
「アルファベット」の入力方法.....	185
「数字」の入力方法.....	186
「記号」の入力方法.....	187

## ユニット（表面）

### ① ⑨ 【イン/アウト】

地図ページで押すと縮尺を変更します。地図ページ以外で押すと、上下方向へ画面やリストをスクロールします。

### ② 【検索】

検索メニュー画面を表示します。数秒間押し続けると救助(MOB)ナビゲーションを開始できます。(163ページ)

### ③ 【登録】

現在地をポイント登録します。(13-14ページ)

### ④ 【ロッカーキー】

上下左右に押すことができ、項目の選択やデータ入力を行う場合に使用します。地図ページでは地図のスクロールに使用します。

### ⑩ 【電源】

数秒間押し続けると電源のオン/オフができます。電源がオンの状態で押すとバックライト調整(8ページ)が表示されます。

### ⑧ 【ページ】

ショートカットに登録されているページを切り替えます。

### ⑦ 【メニュー】

各ページのオプションメニューを表示します。2回続けて押すとメインメニューを表示します。

### ⑥ 【実行】

選択を確定する際に使用します。地図ページではマップポインターが示す地点の詳細を表示します。

### ⑤ 【戻る】

実行中の操作や文字入力をキャンセルします。ショートカットに登録されているページを【ページ】ボタンと逆の順で切り替えます。



## ユニット（裏面）

### 11 【GPSアンテナ】

### 12 【防水カバー】

USB接続口を保護する防水カバーです。開く際は防水カバー上部からめくるようにして開けてください。

### 13 【USB接続口】

防水カバーでUSB接続口が保護されています。

USBケーブルを使用してPCとデータの送受信やACアダプターから給電または充電<sup>※</sup>する際に使用します。

### 14 【カメラレンズ】

### 15 【フラッシュライト】

### 16 【電池カバー】

電池ボックスのカバーです。Dリングを回して開きます。電池ボックスには単3電池2本とmicroSDカードが収納できます。電池の装着方法は次ページ、microSDカードの装着方法は6ページをご覧ください。

### 17 【マウントアングル】

付属のカラビナクリップ取付部分です。（取付方法160ページ）

### 18 【Dリング】

電池カバーを取り外す際に使用します。リングを立て、90度左方向に回して持ち上げると電池カバーが外れます。

### 19 【ストラップ取付用ループ】



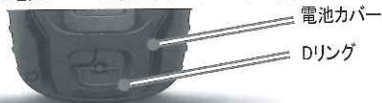
※ ニッケル水素バッテリーパックをご使用の場合のみ、充電することができます。

## 電池装着

GPSMAP 64scJは、付属のニッケル水素バッテリーパック、または単3形乾電池2本(別売)で動作します。使用可能な電池タイプは、アルカリ電池、ニッケル水素充電電池、リチウム電池です。必ず2本とも同じ種類の電池をご使用いただき、電池タイプの設定(107ページ)で電池タイプを合わせてください。

### 電池を装着する

- ①** 本体の背面にある電池カバーを外します。背面下部「Dリング」を立ち上げ、左に90度回して持ち上げると電池カバーを取り外すことができます。



- ②** 電池を装着します。電極の+を間違えないように正確にセットします。(下図参照)

(a.) ニッケル水素バッテリーパックの場合

(b.) 単3形乾電池の場合



- ③** 電池カバーを上部から差込む様に装着し、Dリングを右に90度回して固定し、Dリングを下側に倒せば完了です。

## 警告

- ・高温下または低温下で本体を使用する場合は、使用する電池の使用可能温度範囲をお確かめの上、使用環境に適合する電池をご使用ください。アルカリ電池は高温下で破裂するおそれがあり、また低温下では著しく電池の性能が低下することがあります。
- ・電池の取り外しの際に、先のとがったものを使用しないでください。

## 注意

- ・本体を数ヶ月間使用しない場合は、必ず電池を外して保管してください。
- ・電池の取り扱い方法および使用後の廃棄方法については、お住まいの各自治体が定める廃棄方法に従ってください。
- ・バックライトや電子コンパスを頻繁に使用すると電池を著しく消費します。
- ・カメラ機能を利用する際はアルカリ電池の使用は推奨されません。

## ニッケル水素バッテリーパックを充電する

- ① 3ページ「電池を装着する」の①～②(a.)の手順で、ニッケル水素バッテリーパックを装着します。
- ② 防水カバー①を外し、USB接続口②に付属のPC接続用USBケーブルを差し込みます。



- ③ PC接続用USBケーブルを電源を入れたPC または 付属のACアダプターのUSBポートに差し込みます。ACアダプターは家庭用コンセントに接続します。
- ④ バッテリーステータス(電池残量)は、バックライト調整ページ(8ページ)で確認します。\* 充電が完了したらUSBケーブルを取り外し、防水カバーを閉めます。  
※PC接続時に大容量記録モードで接続されている場合、USB接続画面以外のページを表示させることはできません。  
電池残量を確認するには、PC接続を切断してからバックライト調整ページで確認してください。  
PC接続については136ページをご覧ください。

## 注意

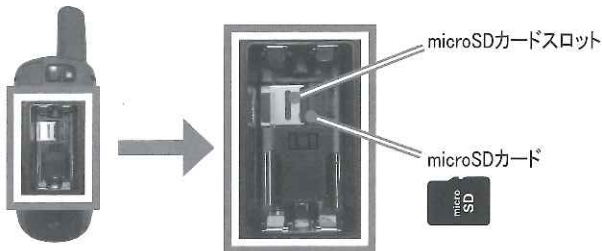
- ・サビの発生を防ぐため、USB接続口や防水カバー周辺が濡れている場合はよく乾かしてから充電やPC接続を行ってください。
- ・本体を使用してガーミン社製ニッケル水素バッテリーパック以外の電池を充電しないでください。デバイスの故障の原因となるおそれがあり、またその場合の故障については保証の適用外となる場合があります。

## microSDカードの着脱方法

GPSMAP 64scJは、microSDカード(別売)を本体に挿入することで、軌跡の保存や地図の読み込みなど、データ管理が可能です。

### microSDカードを挿入する

- ① GPSMAP 64scJの電池カバーを外します。
- ② 電池ボックスに電池が挿入されている場合は、電池を取り外します。
- ③ 電池ボックス上部にあるmicroSDカードスロットのロックを解除します。ロック解除はスロットカバーを本体左方向(←OPEN)にスライドします。これによりmicroSDカードの着脱が可能となります。
- ④ microSDカードは金属端子面を下にして、左右の向きの注意してmicroSDカードスロットにセットします。スロットカバーを閉じて、本体右方向(→LOCK)にスライドしmicroSDカードスロットをロックします。
- ⑤ microSDカードを取り外す際は、microSDカードスロットのロックを解除して(←OPEN方向にスライド)スロットカバーを持ち上げ、microSDカードを取り外します。




### 注意


microSDカードの着脱の際に、microSDカードやmicroSDカードスロットの金属端子部分を傷つけないようご注意ください。

## 電源オン/オフ

### 電源を入れる

本体横電源ボタン  を数秒間押し続けると、スクリーン上に「Garmin」ロゴが表示されGPSMAP 64scJが起動します。「Garmin」ロゴが表示されたら電源ボタンから指を離します。




### 電源を切る

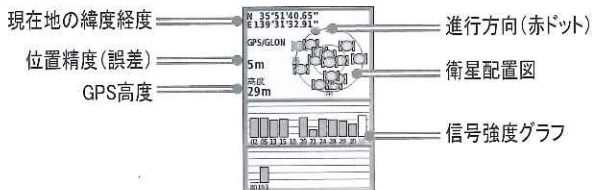
電源ボタン  を数秒間押し続けると、電源がオフとなります。

## 衛星信号の受信

現在地の緯度経度、位置精度、衛星配置図、GPS高度、捕捉しているGPS衛星番号と信号の強度(レベル)を確認できます。また、オプションメニューより衛星受信を停止し(デモモード)、現在地の変更も可能です。衛星情報ページの詳細については、67-68ページをご覧ください。

### 衛星の捕捉状況を確認する

-  /  ボタンを数回押すまたは  ボタンを2回押してメインメニューを選択します。
- [衛星情報] を選択して  ボタンを押します。



※ 衛星受信モードにより表示が異なります。みちびきはNo.193で表示されます。



## バックライト調整



周囲の明るさに合わせてバックライトの輝度を調整します。現在の日時や電池残量、衛星受信状態なども確認できます。


### バックライトレベル(輝度)を調節する

① 電源ボタン  を押してすぐに離します。押し続けると電源がオフになりますのでご注意ください。

② ロッカーキー  または電源ボタン  を押してバックライトレベルを調整します。

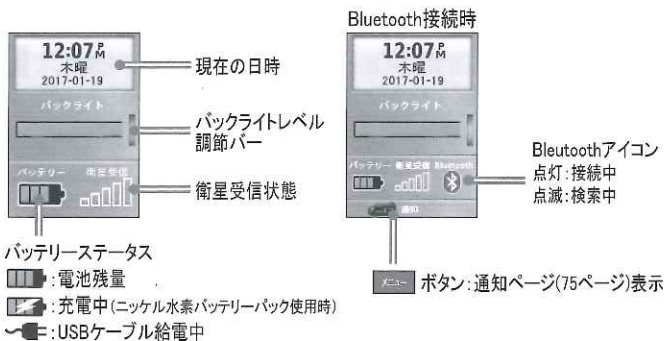
 /  : バックライトが明るくなります。

 /  : バックライトが暗くなります。

電源ボタン  : ボタンを押すごとに輝度を0%→50%→100%の3段階で切り替えます。

■ スクリーンショット機能がオンになっている場合は表示されません。









スクリーンショットの設定については、109ページをご覧ください。



## 地図の切り替え

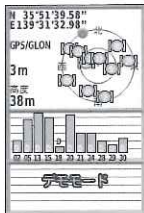
GPSMAP 64scJは、日本詳細地形図2500/25000 (Japan DKG Map)を格納しています。本体または本体に装着しているmicro SDカード版地図ソフト(別売)に格納された詳細地図は、地図情報ページから表示の有効/無効を切り替えて使用します。

### 表示する地図ソフトを選択する

- ①  /  ボタンを数回押す または  ボタンを2回押してメインメニューを表示します。
- ② [設定] を選択して  ボタンを押します。
- ③ [地図] を選択して  ボタンを押します。
- ④ [地図情報] を選択して  ボタンを押します。
- ⑤ 格納されている地図データ名が表示されます。表示する地図情報を選択して  ボタンを押します。
- ⑥ 表示する地図情報には [有効]、非表示にする地図情報には [無効] を選択して  ボタンで決定します。(オプションメニューから地図情報の詳細を確認することができます。)

## デモモード

衛星受信を停止し、現在地の変更や目的地までのシミュレーション(12ページ)を可能にします。日本国内に居ながらにして海外地図を使った海外住所検索を行う場合や、走行シミュレーションを実行する場合は、デモモードに設定の上、現在地を現地に移動する必要があります。現在地変更の方法は、次ページをご覧ください。



### 衛星受信モードをデモモードに変更する(衛星情報ページ)

- ① **ページ** / **戻る** ボタンを数回押す または **メニュー** ボタンを2回押してメインメニューを表示します。
- ② [衛星情報] を選択して **実行** ボタンを押します。
- ③ **メニュー** ボタンを押してオプションから [デモモード] を選択して **実行** ボタンを押します。

基本

### 【デモモード設定中】

### 衛星受信モードをデモモードに変更する(設定ページ)

- ① **ページ** / **戻る** ボタンを数回押すまたは **メニュー** ボタンを2回押してメインメニューを表示します。
- ② [設定] を選択して **実行** ボタンを押します。
- ③ [システム] を選択して **実行** ボタンを押します。
- ④ [衛星受信モード] を選択して **実行** ボタンを押し、[デモモード] を選択して **実行** ボタンを押します。

## 現在地変更

衛星測位で求められた地点と異なる場所を現在地とすることで、実際の現在地とは異なる場所を起  
点とした検索やナビゲーションのシミュレーションが可能です。

日本国内に居ながらにして海外地図を使った海外住所検索を行う場合や、走行シミュレーションを  
実行する場合はデモモードに設定の上、現在地を現地に移動する必要があります。シミュレーション  
の開始方法は次ページをご覧ください。

### 現在地を変更する

- ① 衛星受信モードを [デモモード] に設定します。設定方法は前ページをご覧ください。
- ② 現在地に変更したい地点を検索します。検索方法は76ページからをご覧ください。
- ③ 地図画面に地点が表示されたら、[出発] を選択して **実行** ボタンを押します。
- ④ 確認画面が表示されたら [現在地変更] を選択して **実行** ボタンを押します。



## ナビゲーション

現在地から選択した目的地までの行程を案内するナビゲーション機能を利用することができます。衛星受信モードをデモモードに設定すれば、目的地までの行程をシミュレーションすることもできます。

### ナビゲーションを開始する

- ① 地図ページで目的地を選択または、**検索** ボタンを押して目的地を検索します。検索方法は76ページからをご覧ください。
- ② 地図画面に地点が表示されたら [出発] を選択して **実行** ボタンを押すとナビゲーションが開始されます。

### ナビゲーションを停止する

- ① ナビゲーション実行中に **検索** ボタンを押します。
- ② [ナビゲーション中止] を選択して **実行** ボタンを押すと、ナビゲーションが終了します。


### シミュレーションをする

- ① 衛星受信モードを [デモモード] に設定します。設定方法は10ページをご覧ください。
  - ② ナビゲーションの開始地点を実際の現在地とは異なる地点に設定する場合は、前ページの現在地変更を行います。
  - ③ シミュレーションを行う目的地を選択します。検索方法は76ページからをご覧ください。
  - ④ 地図画面に地点が表示されたら [出発] を選択して **実行** ボタンを押します。
  - ⑤ 確認画面が表示されたら [はい] を選択して **実行** ボタンを押すとシミュレーションが開始されます。
- シミュレーションを停止する場合は、上記の「ナビゲーションを停止する」と同様の操作を行ってください。

## 現在地登録

登録 ボタンを利用して現在地をポイントとして登録します。

### 現在地をポイント登録する

- 1 登録 ボタンを押してポイント登録画面を表示します。
- 2 登録する内容を確認します。  
 »そのまま登録する場合は「5」へ  
 »内容を変更する場合は「3」へ
- 3 変更(編集)する項目を選択して 実行 ボタンを押します。
  - 項目の選択はロッカーキー  で行います。
  - 「ポイント名」や「メモ」を変更する場合の文字入力方法は179ページからをご覧ください。

#### 【シンボル】

ポイントのシンボルを選択します。

#### 【位置】

位置情報が表示されます  
変更する場合は数値を入力します

#### 【高度】

高度データが表示されます  
変更する場合は数値を入力します

#### 【地図】

ポイントを地図上で確認します



#### 【ポイント詳細画面】

#### 【ポイント名】

ポイント名を変更します

#### 【メモ】

メモを編集します

#### 【深度】

深度データの入力ができます

#### 【現在地からの距離】

現在地からの方角と距離が表示されます

#### 【OK】

ポイント登録を確定します

- 4 **メニュー** ボタンを押してオプションメニューを表示後、項目を選択します。  
 オプションメニューの詳細については次ページ「ポイント登録画面のオプションメニュー」をご覧ください。
- 5 [OK] を選択して **実行** ボタンを押すとポイントが登録されます。

## ポイント登録のオプションメニュー

**【写真の割り当て】**

内蔵メモリーやmicroSDカードの画像データをポイント情報に割り当てます。<sup>※</sup>

**【ポイント投影】**

登録したポイントを基に、方角と距離を入力して、新たなポイントを作成します。ポイント投影の詳細は36ページの「ポイントを投影する」をご覧ください。

**【平均位置測定】**

平均位置を測定してより正確な位置情報を登録します。平均位置測定の方法については59ページをご覧ください。

**【近接アラート】**

登録するポイントを近接ポイントとして設定します。近接ポイントの設定方法については38ページをご覧ください。

**【ポイント移動】**

登録するポイントを地図ページから選択した異なる位置に移動できます。「戻る」ボタンで編集画面へ戻ります。

**【ルートに追加】**

ポイントをルートに追加します。ルートの作成・編集方法については41ページをご覧ください。

**【近隣検索】**

登録ポイント周辺の検索を行います。近隣検索の詳細は103-104ページをご覧ください。

- ※ 割り当てた写真にジオタグデータが埋め込まれていても、その情報はポイントの位置情報に適用されません。microSDカード内の画像データを割り当てた場合、そのmicroSDカードを本体で読み込んでいないと割り当てた画像は表示されません。

## 各ページの利用方法

メインメニューから使用する機能のアイコンを選択し、各ページを表示します。  
よく使用する機能をショートカットに登録(120ページ)することで、各ページに素早くアクセスすることができます。  
メインメニューは「ページ」または「戻る」ボタンを数回押してショートカットから選択するか、または「メニュー」ボタンを2回続けて押すことで表示されます。



ショートカットメニューが表示されたら切り替えたいページのアイコンを画面中央に合わせてボタンを離す※  
【ショートカット】

初期設定でショートカットに登録済みの機能ページ



【メインメニュー】

地図

20-22ページ

コンパス

23-25ページ

トリップ  
コンピューター

26-27ページ

高度グラフ

28-31ページ

※ショートカット設定(120ページ)を[オフ]に設定している場合は、ショートカットメニューは表示されません。  
戻る / ページ ボタンを押す度にショートカット登録順にページが遷移します。



## 《各種機能ページ》

メインメニューまたはショートカットからアイコンを選択して表示



カメラ  
32ページ



ポイント  
マネージャー  
33-38ページ



フォトビューアー  
39-40ページ



ルート作成  
41-44ページ



設定  
105-133ページ



軌跡管理  
45-48ページ



ジオキャッシュ  
49-51ページ



実行ルート  
52ページ



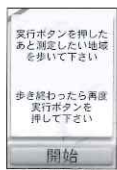
近接アラート  
53-54ページ



サイトナビ  
55ページ



ワイヤレス通信  
56-57ページ



面積計算  
58ページ



平均位置測定  
59ページ



カレンダー  
60ページ



プロフィール  
61ページ



太陽と月  
62ページ



計算機  
63ページ



狩猟と釣  
64ページ

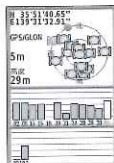
各ページの  
利用方法



アラーム  
65ページ



ストップウォッチ  
66ページ



衛星情報  
67-68ページ



アドベンチャー  
69-71ページ



VIRB  
72-73ページ



フラッシュライト  
74ページ



通知  
75ページ

## 表示項目選択

メインメニューと設定ページの各機能アイコンの表示/非表示と表示順をカスタマイズすることができます。

### 表示項目を移動・挿入・削除する



① 表示項目を変更するページ(メインメニュー または 設定ページ)を表示します。


■メインメニューを表示する

- ・  または  ボタンを  
数回押してショートカットから表示
- ・  を2回押して表示



■設定ページを表示する

メインメニューから  →  を選択

②  → [表示項目選択] → 

③ 移動・挿入・削除する項目を選択 → 

④ 以下のオプションを選択 → 

- [移動] : 選択した項目を   を使用して移動します。
- [挿入] : 選択した項目の上段に項目 (ページ) を追加します。(非表示の項目がある場合のみ表示されます。)
- [削除] : 選択した項目をリストから削除(非表示)します。



## 表示項目(ページ)を追加する

① 前ページ「①～②」の操作を行います

② [ページ追加] → **実行**

■ [ページ追加]は、非表示状態のページがある場合に表示されます。

③ 追加するページを選択 → **実行**

■ 非表示状態のページ一覧から表示するページを選択します。



## 表示項目を最少化・最多化・初期化する

① 前ページ「①～②」の操作を行います


② **メニュー** → 以下のオプションを選択 → **実行**

■ [最少表示] : メインメニューでは「設定」、設定ページでは「ショートカット」以外の項目(ページ)が全て非表示になります。(メインメニューから「設定」をショートカットに移動している場合は、メニューが全て非表示になります。)

■ [最多表示] : 表示可能な項目(ページ)が全て表示されます。(メインメニューではショートカットに移動している項目以外を全て表示)

■ [規定値セット] : 初期設定の表示項目にリセットします。

## 地図

ショートカット  から「地図」を選択します。

地図ページでは現在地の確認や地図上の任意の地点の登録や距離の計測などを行うことができます。

### 【現在地画面】



### 【スクロール画面】



- 地図を確認(スクロール・ズームイン / アウト)
- 現在地を確認
- 現在地を変更
- 地図上の任意の地点をポイント登録
- 地図上の任意の地点へナビゲーションを開始
- 距離計測機能
- 地図設定を変更
- ジオキャッシュの絞り込み検索
- 地図設定を初期化
- データ項目変更

- ① 地図方位マーク： 地図上の北の方位を示します。地図の表示方法(ノースアップ/トラックアップ/自動車モード)を変更する場合は、114ページをご覧ください。
- ② 地図の縮尺： 地図の縮尺を表示します。縮尺を変更する場合は次ページをご覧ください。
- ③ 現在地アイコン： 現在地と方向が確認できます。現在地を変更する場合は11ページをご覧ください。
- ④ 地点詳細： マップポインターが指す位置の名称、または緯度経度、現在地からの距離と方角を表示します。
- ⑤ ポイント： 登録済みのポイントが表示されます。ポイント等の表示設定については115ページをご覧ください。
- ⑥ マップポインター： 地図をスクロールすると表示されます。

## 地図をスクロールする

ロッカーキー  で地図をスクロールします。

- 地図スクロール中はマップポインターが表示されます。

## 地図の縮尺を変更する

**イン** / **アウト** で地図の縮尺を変更します。

- 変更可能な縮尺

800km・500km・300km・200km・120km・80km・50km・30km・20km・12km・8km・5km・3km・  
2km・1.2km・800m・500m・300m・200m・120m・80m・50m・30m・20m・12m・8m・5m

## 現在地を変更する(地図上で選択)

- 現在地を変更する場合には、衛星受信モードを[デモモード]に設定する必要がある。衛星受信モードの変更方法は、106ページをご覧ください。

変更したい地点へマップポインターを移動 → **実行** → [出発] → **実行**  
→ [現在地変更] → **実行**



マップポインター  
詳細ページ

## マップポインターで選択した場所へナビゲーションする

ナビゲーションを行いたい位置にマップポインターを合わせて

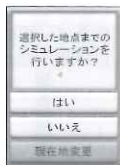
**実行** → [出発] → **実行**

## マップポインターで選択した場所をポイントとして登録する

ポイント登録を行いたい位置にポインターを合わせて

**実行** → **メニュー** → [ポイント保存] → **実行**

- 自動的に名前が割り当てられ、ポイントとして登録されます。



## 地図の設定を変更する

地図ページで **メニュー** → [地図設定] → **実行**

■ 地図設定については114-115ページをご覧ください。

## ジオキャッシュの条件を指定して絞り込み検索をする

地図ページで **メニュー** → [絞り込み検索] → **実行**

■ 絞り込み検索の設定方法は、128ページをご覧ください。

## 地図の設定を初期化する

地図ページで **メニュー** → [規定値セット] → **実行**



地図ページ  
オプションメニュー

## 距離計測機能を利用する

計測を開始したい地点にマップポインターを合わせます

**メニュー** → [距離計測] → **実行**

マップポインターを動かした位置までの距離が画面右下に表示されます

**実行** を押すとマップポインターが指す地点で方向転換します

■ 現在地からの計測を行う場合には、始めにマップポインターを移動させずに上記の操作を行います。

■ 計測を完了する場合、**メニュー** → [計測停止] → **実行** で終了します。

## データ項目を変更する

地図ページで **メニュー** → [データ項目変更] → **実行** →

変更する項目を選択 → **実行** → データ項目選択 → **実行**

■ データ項目の表示方法は、114ページをご覧ください。


■ データ項目の詳細は、166ページからご覧ください。

■ データ項目変更を終了する場合には、**戻る** ボタンを押してください。

■ このオプションは地図ページにデータ項目が表示されている場合のみ表示されます。



## コンパス

ショートカット  から「コンパス」を選択します。

方角を表すコンパスリングとダッシュボードに設定された情報が表示されます。目的地を指し示す矢印(方位ポインター)はナビゲーション中のみ表示されます。

- 方位を確認
- 目的地や転換点までの方位を確認
- データ項目を変更
- ダッシュボードを変更
- サイトナビを利用
- 方位基準設定を変更
- コンパス校正
- コンパスの設定を初期化

### 【通常画面】



### 【ナビゲーション中】



- ① **ダッシュボード** : ダッシュボードには初期設定で[データ項目 小]が設定されています。データ項目の変更方法とダッシュボードの変更方法は次ページをご覧ください。
- ② **コンパスリング** : 現在地における方位を表示します。正しい方位が表示されない場合は、コンパス校正(25ページ)を行ってください。
- ③ **方位ポインター** : ナビゲーション中のみ目的地や経由地、転換地点への方角を矢印で表示します。矢印の表示方法を変更することができます。(124ページ)



## データ項目を変更する

コンパスページで **メニュー** → [データ項目変更] → **実行** →変更する項目を選択 → **実行** → データ項目選択 → **実行**■変更を終了する場合は **戻る** ボタンを押して終了します。

データ項目については166ページをご覧ください。

## ダッシュボードを変更する

コンパスページで **メニュー** → [ダッシュボード変更] → **実行** →ダッシュボードを選択 → **実行**

■ダッシュボードについては、171ページをご覧ください。

ダッシュボード変更時  
(ストップウォッチ)

## サイトナビ機能を利用する

コンパスページで **メニュー** → [サイトナビ] → **実行**

■サイトナビ機能は設定した方向へのナビゲーションを行う機能です。

サイトナビについては55ページをご覧ください。

コンパスページ  
オプションメニュー

## コンパスの設定を変更する

コンパスページで **メニュー** → [方位基準設定] → **実行**

■方位基準設定については124-125ページをご覧ください。

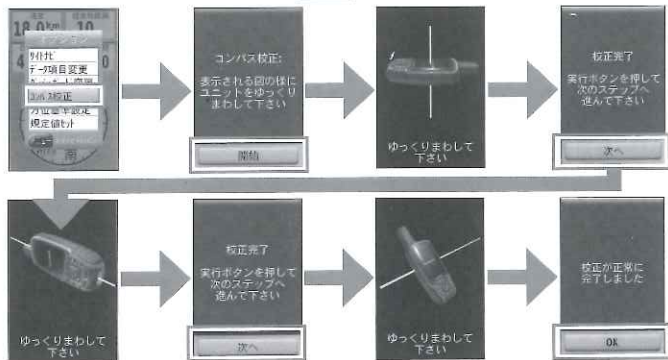
## コンパスの設定を初期化する

コンパスページで **メニュー** → [規定値セット] → **実行**

■変更したコンパス設定を初期(工場出荷)状態に戻します。

## コンパスを校正する

- ① コンパスページで **メニュー** → [コンパス校正] → **実行**
- ② [開始] → **実行**
- ③ 画面上に表示される図のようにデバイス本体を回す
- ④ [校正完了] の場合 → [OK] → **実行**  
[校正失敗] の場合 → [リトライ] または [OK] → **実行** (②からやり直し)
- ⑤ 「③～④」の手順を繰り返し、校正を完了する(下図参照)
- ⑥ すべての校正が完了したら [OK] → **実行**



- コンパス校正は、周辺に磁気を帯びた機器の無い所で実施してください。パソコンの近くやマグネットが張り付く机などの上では、成功しない場合があります。電子機器が近くに無い場所や、可能であれば登山口などで実施することをお勧めします。

## トリップコンピュータ

ショートカット  から「トリップコンピュータ」を選択します。





トリップコンピュータページでは、行程に関するデータを種類別に確認できます。事前にリセットを行うことで、行動開始時からのデータを表示・記録することが可能です

①	
高度 69	Max (移動距離) 1.00k
②	
総距離 1.8km	最高速度 4.6km/h
平均移動時間 48:04	移動平均速 2.6km/h
停止時間 1:44	平均速度 2.1km/h

- トリップ情報を確認
- データ項目を変更
- データ項目表示数を変更
- 利用に応じたダッシュボードに変更
- トリップデータを削除(リセット)
- トリップコンピュータの設定を初期化

- ① **ダッシュボード** : 用途に応じたダッシュボードを表示します。  
ダッシュボードの変更方法は次ページをご覧ください。
- ② **データ項目** : トリップ情報をデータ項目別に確認できます。  
表示項目数と表示するデータ項目の変更方法は、次ページをご覧ください。

### トリップデータをリセットする

トリップコンピュータページで  → [リセット] →  → リセットする項目を選択 →  → [はい] → 

- リセットしたデータは復旧することができませんのでご注意ください。

## ダッシュボードを変更する

トリップコンピュータページで **メニュー** → [ダッシュボード変更] → **実行**  
 → ダッシュボード選択 → **実行**

■ ダッシュボードについては、171ページをご覧ください。

## データ項目表示数を切り替える

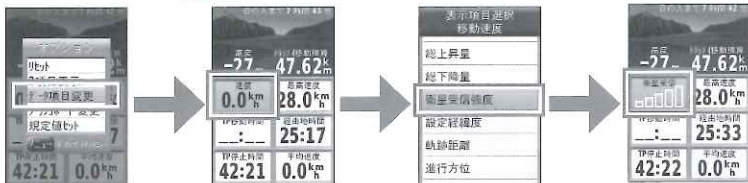
トリップコンピュータページで **メニュー** → [2項目表示] / [6項目表示] → **実行**

■ データ項目は、6項目と2項目で切り替えが可能です。

## データ項目を変更する

トリップコンピュータページで **メニュー** → [データ項目変更] → **実行** → **実行**  
 → データ項目選択 → **実行**

■ 変更を終了するには **戻る** ボタンを押します。データ項目については166ページをご覧ください。



## トリップコンピュータの設定を初期化する

トリップコンピュータページで **メニュー** → [規定値セット] → **実行**

■ トリップコンピュータ設定を初期(工場出荷)状態に戻します。



## 高度グラフ

ショートカット  から「高度グラフ」を選択します。

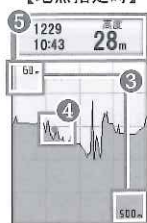
### 【高度グラフ画面】





高度ページでは、軌跡記録時に取得した高度または気圧情報をグラフで確認できます。また、指定した地点の高度/気圧や日時などが確認できます。



- 保存軌跡の高度/気圧情報をグラフで確認
- 指定した地点の高度/気圧を確認
- 高度/気圧情報をリセット(軌跡削除)
- グラフの縮尺(ズーム倍率)を変更
- 高度ページのデータ項目を変更
- 高度グラフまたは気圧グラフ(プロットタイプ)変更
- 高度を校正する
- 高度ページの設定を初期化

### 【地点指定時】



- ① データ項目：データ項目を2項目表示します。  
データ項目については166ページ、データ項目を変更する場合は30ページをご覧ください。
- ② グラフ：「高度」または「気圧」をグラフで表示します。グラフから過去の地点情報も確認できます。次ページ「過去地点を表示する」をご覧ください。
- ③ ズーム倍率：チャートのズーム倍率を表示します。ズーム倍率を変更する場合は次ページ「ズーム倍率を変更する」をご覧ください。
- ④ ● (赤ドット)：  /  ボタンを押すと地点を指定する赤いドットが表示されます。  /  で位置を移動します。
- ⑤ 指定地点詳細：赤ドットで指定した地点の日時や高度または気圧の情報を表示します。



## ナビゲーション中の高度グラフページ

青色の高度グラフが表示されます

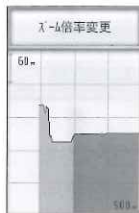
■ナビゲーションのルートの高さ情報は青色のグラフで表示されます。

## ズーム倍率を変更する

高度グラフページで **メニュー** → [ズーム倍率変更] → **実行**

または高度グラフページで **▲** / **▼** ボタンを押す

- **▲** / **▼** ボタンで左上に表示される垂直距離軸/垂直気圧軸を変更  
1200m・1000m・600m・400m・280m・200m・120m・80m・60m・40m・20m
- **◀** / **▶** ボタンで右下に表示される水平時間軸/水平距離軸を変更  
25km・15km・10km・5km・4km・3km・1.5km・1000m・500m・250m・100m  
12時間・9時間・6時間・4時間・3時間・2時間・60分・30分・15分・10分・5分
- あらかじめグラフ上の地点を指定している場合、その地点を中心にズームイン/ズームアウトします。



ズーム倍率  
変更画面

## グラフ上の地点を指定して高度情報を表示する

高度グラフページで **◀** / **▶** ボタンで赤ドットを移動して地点を指定

- 緑グラフ上の地点は、軌跡データ上の高度/気圧データとデータ記録日時が表示されます。  
青グラフ上の地点は、地図データ上の高度が表示されます。
- **実行** ボタンを押すと指定した地点を地図上で確認できます。

## 高度 / 気圧データをリセットする

高度ページで **メニュー** → **[リセット]** → **実行** → **[現在の軌跡消去]** → **実行** → **[はい]** → **実行**

- 過去の高度/気圧情報を削除するには、そのデータが記録されている軌跡データを削除する必要があります。削除したデータは復元できませんのでご注意ください。

## データ項目を変更する

高度ページで **メニュー** → **[データ項目変更]** → **実行** → 変更する項目を選択 → **実行**  
→ データ項目選択 → **実行**

- 変更を終了する場合は **戻る** ボタンで終了します。データ項目については166ページをご覧ください。



## 高度の設定(変更)を初期化する

高度ページで **メニュー** → **[規定値セット]** → **実行**

- 変更した高度設定を初期(工場出荷)状態に戻します。

## プロットタイプを変更する



プロットタイプ選択

高度ページで **メニュー** → [プロットタイプ変更] → **実行** →  
プロットタイプを選択 → **実行**

■ 高度グラフの表示方法(プロットタイプ)を選択します。

[高度/時間] : 時間による高度の変化を表示

[高度/距離] : 距離による高度の変化を表示

[校正気圧] : 高度校正時に入力した気圧の数値を基に気圧変化を表示

[大気圧] : 現在の気圧を基に気圧変化を表示

## 高度を校正する

① 高度ページで **メニュー** → [高度校正] → **実行**

② [正確な高度がわかりますか?]

わかる場合 → [はい] → **実行** → 高度の入力 → 完了

わからない場合 → [いいえ] → **実行** → ③へ

■ 高度は、紙地図や標高碑などを元になるべく正確な値を入力してください。

③ [正確な基準気圧がわかりますか?]

わかる場合 → [はい] → **実行** → 基準気圧の入力 → 完了

わからない場合 → [いいえ] → **実行** → ④へ

④ [現在のGPS高度を利用しますか?]

[はい] → **実行**



高度校正画面



## カメラ

メインメニューまたはショートカット  から「カメラ」を選択します。

本体背面のカメラで写真撮影ができます。衛星を捕捉している状態であれば撮影場所の緯度経度情報(ジオタグ)が書き込まれ、写真を撮影した場所を地図ページ上で確認、ナビゲーションが可能です。

### 【通常画面】



### 【オートフォーカス】



- 写真の撮影
- 写真の確認(画像/位置情報/詳細情報)
- 撮影した写真を削除
- 写真を撮影した場所へナビゲーションを開始

- ① カメラアイコン：カメラアイコンを選択した状態で **実行** を押すと写真が撮影できます。
- ② 撮影済み画像：ロッカーキーで選択し **実行** を押すと、保存済み画像を表示します。画像表示後の操作方法については、39ページ フォトビューアーの操作方法をご覧ください。
- ③ オートフォーカス：カメラアイコンを選択した状態で **実行** ボタンを長押しすると画面にフォーカス枠が表示されます。ボタンを離すと撮影します。

### 写真を撮影する

カメラページからカメラボタンを選択 → **実行**


- **イン** / **アウト** でズーム倍率を変更します。
- 撮影した写真は本体メモリー内「DCIM」フォルダに保存されます。PC 接続については 136 ページをご覧ください。
- 本体を横に倒すと、自動的に横画面表示になります。

### 写真をフォーカス撮影する

カメラページからカメラボタンを選択 → **実行** 長押し → 離す

- フォーカスが合うと、画面上のフォーカス枠が白から緑に変わります。

## ポイントマネージャー

メインメニューまたはショートカット  から「ポイントマネージャー」を選択します。

ポイントマネージャーページでは、登録済みのポイントを一覧で確認できます。

### 【ポイント一覧】



▼ 006 (木曜)	座標	10m	東京
▼ 018 (木曜)	座標	10m	西
○ BirdsEye Demo	座標	13m	南東
▼ 座標	座標	14m	南東
▼ 001 (2014-09-17)	座標	360m	西
▼ 001 (2014-09-17)	座標		

- 登録済みのポイントの詳細な位置情報を確認
- 地図上で位置を確認
- 目的地としてナビゲーションを開始
- 登録済みのポイントを編集(名前・シンボル・メモ・高度・緯度経度等)
- 登録済みのポイントを消去(一括・個別)
- 平均位置を測定
- ポイントを投影
- ポイントを移動
- 近接アラートに設定
- ルートに追加
- 現在地に位置を変更
- 写真の割り当て
- 選択したポイントから近い施設情報を検索

### 登録済みポイントの表示順を変更する



ポイント一覧画面で **メニュー** → [並べ替え] → **実行** → [近隣順] / [名前順] → **実行**

- [近隣順]: 現在地から近い順にポイントを表示します。
- [名前順]: [名前順]で並べ替えをしている場合は、登録済みポイント一覧を表示すると最初に絞り込みウィンドウが表示されます。絞り込みを行わない場合は **戻る** ボタンを押してください。

絞り込み: 登録済みポイント名から名前検索を行います。  
文字入力方法は179-187ページをご覧ください。  
※半角文字の検索には対応していません。

## 登録済みポイントを検索する

ポイント一覧画面で **メニュー** → 下記のいずれかのオプションを選択 → **実行**

- [名前検索]/[絞り込み]: 登録済みポイント名から名前検索を行います。文字入力方法は179-187ページをご覧ください。※半角文字の検索には対応していません。  
(並べ替えが[近隣順]の場合は[名前検索]、[名前順]の場合は[絞り込み]がオプションに表示されます。)
- [近隣検索]: 登録済みポイントを指定した地点に近い順に並べ替えます。(次項参照)  
(並べ替えが[名前順]の場合は表示されません。)
- [記号検索]: シンボルから登録済みポイントを検索します。

## 登録済みポイントを指定した地点に近い順に並べ替える

ポイント一覧画面で **メニュー** → [近隣検索] → **実行** → 下記のいずれかのオプションで地点を選択

- [検索履歴]: 検索履歴から地点を選択します。
- [ポイント]: 登録済みポイント一覧から地点を選択します。
- [現在地周辺]: 現在地を選択します。
- [地図上で選択]: 地図上で地点を選択します。マップポインターで指定したい地点を指し、**実行** を押します。

## ポイントを全て消去する

ポイント一覧画面で **メニュー** → [全て消去] → **実行** → [はい] → **実行**

- ポイントを個別に消去する場合は次ページをご覧ください。

## ポイントの詳細を確認する

ポイント一覧から詳細を確認するポイントを選択 → 実行

- 詳細を確認したいポイントが見つからない場合は検索方法を変更します。前ページ「登録済みポイントを検索する」をご覧ください。
- 内容を編集する場合、地図上で確認する場合やナビゲーションを開始する場合には、次ページ「ポイントの登録内容を変更する」をご覧ください。



ポイント詳細ページ

## ポイントの登録内容を変更する

一覧から変更(編集)するポイントを選択 → 実行 → 変更する項目を選択 → 実行

- 「ポイント名」や「メモ」を変更する場合の文字入力方法は179ページからをご覧ください。
- 変更する項目の選択は、ロッカーキー  で行います。

### 【シンボル】

ポイントのシンボルを選択します

### 【位置】

位置情報を表示されます  
変更する場合は数値を入力します

### 【高度】

高度データが表示されます  
変更する場合は数値を入力します

### 【地図】

ポイントを地図上で確認します



### 【ポイント詳細画面】

### 【ポイント名】

ポイント名を変更します

### 【メモ】

メモを編集します

### 【深度】

深度データの入力ができます

### 【現在地からの距離】

現在地からの方角と距離が表示されます

### 【出発】

ナビゲーションを開始します



## ポイントを個別に消去する

ポイント詳細ページで **メニュー** → [消去] → **実行** → [はい] → **実行**

■ ポイント詳細ページは、ポイント一覧から **実行** ボタンを押すと表示されます。

## 平均位置を測定する

オプション  
メニュー

ポイント詳細ページで **メニュー** → [平均位置測定] → **実行**

■ ポイント詳細ページは、ポイント一覧から **実行** ボタンを押すと表示されます。

■ 平均位置測定については59ページをご覧ください。

## ポイントを投影する

① 一覧から投影の起点とするポイントを選択 → **メニュー** → [ポイント投影] → **実行**

② 方位角を入力 → [OK] → **実行**

③ 単位を選択 → **実行**

④ 距離を入力 → [OK] → **実行**

⑤ 内容を確認して [保存] → **実行**

※登録するポイントを編集する場合には [保存と編集] を選択します。

ポイントの詳細ページが表示されます。編集方法は前ページをご覧ください。



## ポイントを移動する



選択したポイントを別の位置に移動します

ポイント詳細ページで **メニュー** → [ポイント移動] → **実行** →  
移動する位置にカーソルを移動 → **実行**

■ 移動を終了するには **戻る** ボタンを押してポイント詳細ページに戻ります。

## ポイント周辺を検索する

選択したポイント周辺の施設情報を検索します

ポイント詳細ページで **メニュー** → [近隣検索] → **実行** → [目的地検索]画面が表示されます。

- ポイント詳細ページは、ポイント一覧から **実行** ボタンを押すと表示されます。
- 目的地検索については、76-104ページをご覧ください。
- 近隣検索については103-104ページをご覧ください。

## 写真を割り当てる

選択したポイントに画像データを割り当てます

ポイント詳細ページで **メニュー** → [写真の割り当て] → **実行** → 画像データ選択 → **実行**  
→ [使用] → **実行**

■ 割り当てた画像データはポイント一覧画面、地図ページで確認できます。

## 近接アラートに設定する

ポイント詳細ページで **メニュー** → [近接アラート] → **実行** → 半径を入力 → [OK] → **実行**

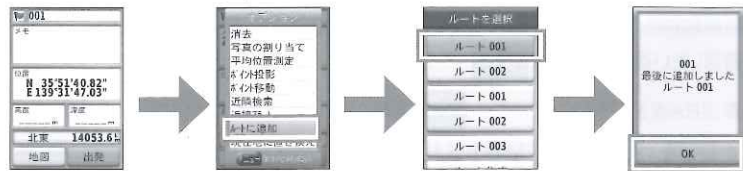
■ 近接アラートについては、53-54ページをご覧ください。

## ルートに追加する

選択したポイントをルートに追加します

ポイント詳細ページで **メニュー** → [ルートに追加] → **実行** → 追加するルートを選択  
→ **実行**

■ ルートの作成・編集については、41-44ページをご覧ください。



## 現在地に位置を変更

選択したポイントの位置情報を現在地に変更します

ポイント詳細ページで **メニュー** → [現在地に置き換え] → **実行**

## フォトビューアー

メインメニューまたはショートカット  から「フォトビューアー」を選択します。

内蔵メモリーやmicroSDカード(別売)に保存された本体カメラで撮影した写真やPCから転送した画像データ(JPEG形式のみ)をフォトビューアーで確認します。


### 【画像データ一覧】



- 画像の確認
- 画像の詳細情報を確認
- 画像を地図上に表示
- ナビゲーションを開始
- 画像の削除
- 画像を検索

### 画像を表示する

確認したい画像を選択 → **実行**

- 選択画像表示中にロッカーキー  を押して前の画像と次の画像に切り替え可能です。
- **イン** / **アウト** ボタンで画像を拡大/縮小します。
- 本体を横に倒すと、横画面表示になります。

### 画像の詳細情報を表示する

確認したい画像を選択 → **実行** → **メニュー** → [詳細情報] → **実行**

- 画像の名称/撮影日時/現在地からの距離<sup>※</sup>/座標(緯度経度)<sup>※</sup>が確認できます。

※ 位置情報(ジオタグ)が埋め込まれた画像の場合のみオプションに表示されます。

画像データ表示中  
オプションメニュー





## 画像を地図上に表示する

確認したい画像を選択 → **実行** → **メニュー** → [地図参照] → **実行**

- 地図ページ上に画像データの位置情報の場所がアイコンで表示されます。
- 位置情報がない画像データの場合、[地図参照] のオプションは表示されません。

## ナビゲーションを開始する

確認したい画像を選択 → **実行** → **メニュー** → [地図参照] → **実行** → [出発] → **実行**

- 位置情報がない画像データの場合、[地図参照] のオプションは表示されません。

## 画像を削除する


削除したい画像を選択 → **実行** → **メニュー** → [消去] → **実行** → [はい] → **実行**

- 一度削除したデータは復元することができませんので、ご注意ください。

## 画像を検索する

フォトビューアーページで **メニュー** → [写真を検索] → **実行**

- [最新]：画像データの撮影日時の新しい順に表示します。
- [近隣]：次のオプションから選択した位置に近い順に表示します。
- [検索履歴]：最近検索した場所を選択
- [ポイント]：登録済みポイントから選択
- [現在地周辺]：現在地を選択
- [地図上で選択]：地図上の地点をマップポインターで選択

[日付指定]：画像データの撮影日時から検索します。年/月/日を選択します。  フォトビューアー画面  
オプションメニュー

## ルート作成





メインメニューまたはショートカット  から「ルート作成」を選択します。

新規ルートの作成や既存ルートの編集等を行います。ルートを作成する事により経由地を順に通過するナビゲーションが可能になります。



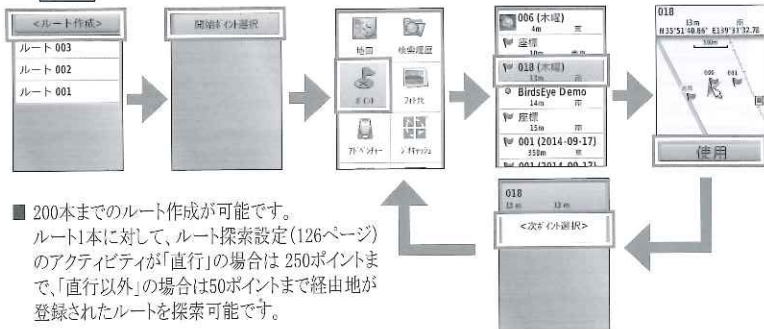
- 新規ルートを作成
- ルートを編集(名前変更・経由地の入れ替え・ルート反転等)
- 地図上で確認
- ルートの高度を確認
- ナビゲーションを開始
- ルートを消去(個別一括)

### 新しいルートを作成する

- ① 「ルート作成」を選択して  を押します。
- ② 「開始ポイント選択」を選択して  を押します。
- ③ 目的地検索ページが表示されたら、始点にする地点を検索します。  
地図上に地点が表示されたら「使用」を選択して  を押します。  
目的地検索については76-104ページをご覧ください。
- ④ 経由地を追加する場合には、「次ポイント選択」を選択して  を押します。  
「③」の検索操作を行います。  
■ 手順③で始点や経由地点を地図から選択する場合は、地図上の地点をマップポインターで選択→実行を押す操作を繰り返すことで連続で地点を登録することができます。  
地図上での地点選択を終了するには、戻るボタンを押します。

⑤ 経由地の順序の入れ替えや削除を行う場合は次ページをご覧ください。

**戻る** で作成を終了します。



- 200本までのルート作成が可能です。ルート1本に対して、ルート探索設定(126ページ)のアクティビティが「直行」の場合は250ポイントまで、「直行以外」の場合は50ポイントまで経由地が登録されたルートを探索可能です。

各ページの  
利用方法

## 作成中のルート編集する

ルート作成中の画面から編集する経由地を選択 → **実行** → 編集する内容を選択



【経由地編集画面】

### 【地図参照】

地図上で経由地を確認します。

### 【上方向へ】

一つ上の経由地と順番を入れ替えます。

### 【下方向へ】

一つ下の経由地と順番を入れ替えます。

### 【挿入】

選択した経由地の前に新たな経由地を追加します。

### 【削除】

経由地を削除します。



## ルートを編集(確認)する

ルート一覧ページから編集(確認)するルートを選択 → **実行** →  
編集(確認)する内容を選択

■ 編集(確認)内容については下記をご覧ください。

### 【ルート編集画面】



#### 【ルート編集】

経由地の入れ替えや削除を行います。  
編集を行う経由地を選択すると編集内容が選択できます。  
前ページ「作成中のルートを編集する」と同じ操作です。



#### 【地図参照】

地図画面にルートを表示します。

[出発]を選択して **実行** を押すと、ナビゲーションを開始します。



#### 【高度グラフ】

作成したルートの高度を表示します。  
高度グラフページの操作方法については、28-31ページをご覧ください。



#### 【名前編集】

ルートの名称を編集します。  
文字入力方法は179-187ページをご覧ください。

### 【ルート反転】

作成したルートとは逆の順番でルート探索を行い、自動で保存します。

### 【ルート消去】

選択したルートを一件消去します。  
全て消去する場合には次ページをご覧ください。

## ルートを全て消去する

ルート一覧画面から **メニュー** → [全て消去] → **実行** → [はい] → **実行**

- 消去したルートは復元できませんので十分に注意して行ってください。
- 個別で消去する場合には前ページをご覧ください。



## ルートを地図上で確認する

ルート編集ページより行います。詳しくは前ページをご覧ください。

## ルートの高度を確認する

ルート編集ページより行います。詳しくは前ページをご覧ください。

## 軌跡管理

メインメニューまたはショートカット  から「軌跡管理」を選択します。

軌跡とは移動履歴であり、位置情報と日時情報を持った点の集まりです。軌跡管理ページでは、軌跡の「保存」「地図ページへの表示 / 非表示」などが行えます。軌跡の記録方法の設定に関しては、118ページをご覧ください。

### 【軌跡管理画面】



#### ■ 現在の軌跡の管理

[軌跡保存] [選択保存] [地図参照(トラックバック)] [高度グラフ]  
[カラー選択] [現在の軌跡消去]

#### ■ 保存済軌跡の管理

[地図参照] [高度グラフ] [地図上に表示] [カラー選択] [名前編集]  
[反転してコピー] [消去] [アーカイブ済へ登録]

#### ■ アーカイブ済軌跡の管理

[地図参照] [高度グラフ] [名前編集] [消去] [保存済へ登録]

#### ■ 軌跡のナビゲーションを開始

#### ■ 軌跡を消去(一括・個別)

#### ① 現在の軌跡

: 現在取得中の軌跡の管理を行います。  
トラックバック機能を利用して、現在の軌跡の始点へのナビゲーションも可能です。

#### ② アーカイブ済軌跡

: アーカイブされた保存済み軌跡の管理を行います。  
アーカイブ済軌跡に登録した軌跡は、目的地検索や地図ページ上には表示されません。表示させたい場合には、保存済軌跡へ登録を行ってください。

#### ③ 保存済軌跡

: 保存された軌跡の管理を行います。  
保存済み軌跡は、軌跡管理画面に一覧で表示されます。

## 現在の軌跡を管理する



軌跡管理画面から [現在の軌跡] を選択 → **実行**

**【軌跡保存】** 現在の軌跡を保存済軌跡として登録します。  
 [軌跡保存] → **実行** → 保存名を入力 → [OK] → **実行** → [はい] (これまでの現在の軌跡を消去する)または [いいえ](消去しない)を選択 → **実行**  
 ■ 保存名はデフォルトで保存時の「西暦-月-日」が入力されています。

**【選択保存】** 現在の軌跡の範囲を選択して保存済軌跡として登録します。  
 [選択保存] → **実行** → 開始地点を選択 → **実行** → 終了地点を選択 → **実行** → 名前を入力 → [OK] → **実行**

**【地図参照】** 現在の軌跡を地図上に表示します。  
 [地図参照] → **実行**  
 ■ [トラックバック]を選択して **実行** を押すと、現在の軌跡の記録開始地点へ戻るナビゲーションを開始します。

**【高度グラフ】** 現在の軌跡の高度グラフを確認します。  
 [高度グラフ] → **実行**  
 ■ 高度グラフページの操作方法は、28-31ページをご覧ください

**【カラー選択】** 地図上に表示される現在の軌跡の色を変更します。  
 [カラー選択] → **実行** → 色を選択 → **実行**

**【現在の軌跡消去】** 現在の軌跡とトリップデータを消去します。  
 [現在の軌跡消去] → **実行** → [はい] → **実行**

## 保存済の軌跡を管理する

12-05-31 16:39:20

軌跡管理画面から保存済の軌跡を選択 → **実行**

地図参照

高度グラフ

地図上に表示

カラー選択

名前編集

**【地図参照】** 保存済みの軌跡を地図上に表示します。

[地図参照] → **実行**

■ [出発] を選択して **実行** ボタンを押すと軌跡のナビゲーションを行います。

**【高度グラフ】** 保存済みの軌跡の高度グラフを確認します。

[高度グラフ] → **実行**

■ 高度グラフページの操作方法は、28-31ページをご覧ください。

**【地図上に表示】** 地図ページに表示するかどうかの切り替えを行います。

[地図上に表示] または [地図上に表示しない] → **実行**

**【カラー選択】** 地図上に表示される保存済みの軌跡の色を変更します。

[カラー選択] → **実行** → 色を選択 → **実行**

**【名前編集】** 選択した軌跡の名称を変更します。

[名前編集] → **実行** → 名前を入力 → [OK] → **実行**

■ 文字入力方法は179-187ページをご覧ください。

**【反転してコピー】** 選択した保存済み軌跡を逆のルートで保存します。

[反転してコピー] → **実行** → 名前を入力 → [OK] → **実行**

**【消去】** 選択した保存済み軌跡を消去します。

[消去] → **実行** → [はい] → **実行**

**【アーカイブ済へ登録】** 選択した保存済み軌跡をアーカイブ済軌跡として登録します。

[アーカイブ済へ登録] → **実行**





## アーカイブ済の軌跡を管理する

軌跡管理画面から [アーカイブ済の軌跡] を選択 → **実行** →  
管理する軌跡を選択 → **実行**

**【地図参照】** アーカイブ済みの軌跡を地図上に表示します。

[地図参照] → **実行**

■ アーカイブ済の軌跡から、ナビゲーションを行うことはできません。  
ナビゲーションを行いたい場合には、**【保存済へ登録】**を行ってください。

**【高度グラフ】** アーカイブ済みの軌跡の高度グラフを確認します。

[高度グラフ] → **実行**

■ 高度グラフページの操作方法は、28-31ページをご覧ください。

**【名前編集】** 選択したアーカイブ済軌跡の名称を変更します。

[名前編集] → **実行** → 名前を入力 → [OK] → **実行**

■ 文字入力方法は179-187ページをご覧ください。

**【消去】** 選択したアーカイブ済軌跡を消去します。

[消去] → **実行** → [はい] → **実行**

**【保存済へ登録】** 選択したアーカイブ済軌跡を保存済軌跡として登録します。

[保存済へ登録] → **実行**

## 全ての保存済み軌跡を消去する

軌跡管理画面から **メニュー** → オプションメニューから [全保存軌跡消去] → **実行**  
確認メッセージ表示後 [はい] を選択 → **実行**

■ アーカイブ済軌跡や現在の軌跡は消去されません。

## ジオキャッシュ

メインメニューまたはショートカット  から「ジオキャッシュ」を選択します。

### 【ジオキャッシュ一覧】

GPSを使った宝探しゲームであるジオキャッシングをプレイする時に使用します。

詳しくは [www.garmin.com/geocaching](http://www.garmin.com/geocaching) にアクセスしてください。

ゲームに関しては当社でのサポート範囲外となります。



2.4M	南
1.9/2.5	676m
Forest of Yatsu	南
2.0/1.5	2.00km
Snake Island	南
2.0/1.5	2.07km
Gongen-Yama	北
1.5/1.0	2.15km
KIRARI	南
1.5/1.0	2.31km
Marionette Cloc	南
1.5/2.0	2.32km
Automa of Dinec	

表示スタイル：  
Traditional

- ジオキャッシュ探索を開始
- ジオキャッシュ探索を中止
- ジオキャッシュを検索
- ジオキャッシュ情報を確認
- ジオキャッシュ探索中のメニュー

### ジオキャッシュ探索を開始する


ジオキャッシュ一覧ページでジオキャッシュ情報を選択 → **実行** →

[出発] → **実行**

- 探索を中止する場合には、51ページをご覧ください。



### 目的地検索からジオキャッシュ探索を開始する

検索 →  を選択 → **実行** → ジオキャッシュ情報を選択 → **実行**

→ [出発] → **実行**

- 探索を中止する場合には、51ページをご覧ください。





## ジオキャッシュを検索する

ジオキャッシュ一覧ページで **メニュー** → 検索方法を選択 → **実行**

■ ポイント詳細画面は、ポイント一覧から **メニュー** ボタンを押すと表示されます。

### 【オプションメニュー】

#### 【名前検索】

名前を入力して検索します。  
文字入力方法は179-187ページをご覧ください。

#### 【近隣検索】

場所を指定して、その近隣のジオキャッシュ情報を一覧で表示します。

#### 【絞り込み検索】

検索するジオキャッシュの条件を指定して絞り込み検索を行います。

#### 【発見済を表示】

発見済みのジオキャッシュ情報が一覧で表示されます。

#### 【ジオキャッシュ設定】

ジオキャッシュ設定を変更します。  
(128-129ページ)

#### 【chirp™の詳細表示】

chirpの詳細ページを表示します。  
※ 129ページ「chirp検索」をオン設定時のみ表示

## ジオキャッシュ情報を確認する

ジオキャッシュ一覧ページでジオキャッシュ情報を選択 → **実行** → **メニュー** →

**【詳細】** → **実行**

- **【出発】**を選択して **実行** ボタンを押すとナビゲーションが開始されます。
- 表示スタイルはジオキャッシュ表示スタイルの設定によって異なります。  
画像は「Traditional」スタイルです。表示スタイルの設定は128ページをご覧ください。
- 詳細画面から、**メニュー** → **【ポイント保存】** → **実行** でポイント保存が可能です。



### 【詳細情報】



## ジオキャッシング探索中メニュー

ジオキャッシング探索開始後にメインメニューまたはショートカットから

「ジオキャッシング」→ **実行**

または地図ページより **メニュー** → [ジオキャッシング表示] → **実行**

### 【探索中画面】

■ この画面はジオキャッシング探索中にもみ表示されます。

#### 【解説参照】

選択したジオキャッシングの詳細情報が表示されます。

#### 【ヒント】

ヒントが表示されます。

「www.geocaching.com」有料プレミアムメンバーのみ表示されます。

#### 【次の場所入力】

入力した座標(緯度経度)地点へのナビゲーションを開始します。

#### 【他を検索】

未発見のジオキャッシングが表示されます。  
探索したいジオキャッシングを選択してください。

#### 【メモ】

「発見」「未発見」「修繕必要」  
「不可(存在無し)」から選択します。  
「修繕必要」は発見済み、「不可(存在無し)」は未発見に分類されます。

#### 【ログ参照】

ダウンロードしたジオキャッシング  
にログ情報がある場合、ログが表示されます。

#### 【発見済を表示】

発見済みのジオキャッシングが表示  
されます。

## ジオキャッシング探索を中止する

**検索** → [ナビゲーション中止] → **実行**



## 実行ルート

メインメニューまたはショートカット  から「実行ルート」を選択します。

ナビゲーション実行中のルートに関する詳細情報を確認できます。「実行ルート」は、経由地を含む直行ルートおよび道に沿ったルートのナビゲーション中にのみ利用できます。

### 【実行ルート画面】



- ナビゲーション中のルート情報の確認
- 次の経由地を変更

### ナビゲーション中のルートを確認する(ルート探索方法「直行」)

【実行ルート】 ページを開くとナビゲーション中のルートを確認できます

- 旗マークは次の経由地を表します。
- 一覧から経由地を選択して **実行** → [出発] → **実行** を行うと選択した場所へのナビゲーションが開始されます。

### ナビゲーション中のルートを確認する(ルート探索方法「直行」以外)

【実行ルート】 ページを開くとナビゲーション中のルートを確認できます

- それぞれの経由地点を選択し、**実行** ボタンを押すと詳細画面が表示されます。

転換方向・転換地点

転換地点までの距離



転換方向・転換地点

データ項目

転換地点地図

## 近接アラート

メインメニューまたはショートカット  から「近接アラート」を選択します。

近接ポイントに接近した場合にアラートでお知らせます。アラートを鳴らす範囲は、任意の半径の距離を入力して設定します。

### 【近接アラート画面】

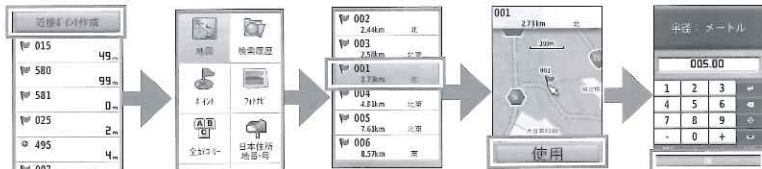
近接ポイント作成	
▼ 015	49m
▼ 580	99m
▼ 581	0m
▼ 025	2m
○ 495	4m
Red 002	

- 近接アラート設定
- 近接ポイント作成
- 近接ポイントの編集・削除
- 近接アラートを全て消去
- 設定を解除
- 距離単位の変更
- アラート音の設定

### 近接ポイントを作成する

近接アラート画面から [近接ポイント作成] を選択 → **実行** → 検索ページからポイント選択 → [使用] → **実行** → アラートを鳴らす範囲を入力 → [OK] → **実行**

- 数字入力方法は186ページをご覧ください。
- 地点の検索方法は、目的地検索(76-104ページ)をご覧ください。
- アラートを鳴らす範囲を入力する際の距離単位は、入力画面上部に記載されています。単位を変更する場合には、次ページの「近接アラートの設定をする」をご覧ください。



## 近接ポイントを編集・削除する



近接アラート画面から編集するポイントを選択 → **実行** → 編集内容選択  
→ **実行**

### ■ 編集内容

[距離設定]：半径距離の変更を行います。数字入力方法は186ページをご覧ください。

[地図参照]：近接ポイントを地図上に表示します。

[消去]：近接ポイントを一件消去します。

## 近接アラートの設定をする

近接アラート画面から **メニュー** → オプションメニューから変更内容を選択 → **実行**



### 【全アラート無効 / 有効】

設定した全ての近接アラートの無効 / 有効を切り替えます。設定が有効の場合には、「全アラート無効」と表示されます。

### 【単位設定】

半径距離を入力する際の距離単位を変更します。

### 【全て消去】

登録した近接ポイントを全て消去します。

### 【アラート音設定】

近接アラート音の設定ページが表示されます。(113ページ)

## サイトナビ

メインメニューまたはショートカット  から「サイトナビ」を選択します。

設定した方向に向かうナビゲーションを行います。日視はできても正確な位置や距離が分からない地点に向かいたい場合に役立つ機能です。

- 方向をロックしてナビゲーションを開始
- ロックした方向にポイントを投影

### 【方向ロック画面】



### 方向をロックしてナビゲーションを開始

方向ロック画面で目的の方角に矢印を合わせる → **実行** → [ナビゲーション開始] → **実行**

- ナビゲーションが開始されると共に、コンパス画面が表示されます。
- コンパスが正確な方向を表示しない場合は、25ページのコンパス校正を行ってください。

### ロックした方向にポイントを投影

- ① 方向ロック画面で方向を合わせて **実行** を押します。
- ② [ポイント投影] を選択して **実行** を押します。
- ③ 単位を選択して **実行** を押します。
- ④ 距離を入力します。入力完了したら [OK] を選択して **実行** を押します。数字入力方法は、186ページをご覧ください。
- ⑤ [保存] または [保存と編集] を選択して **実行** を押します。

- [保存と編集] を選択した場合は、ポイントを保存すると同時に、ポイントの詳細を編集できます。編集方法は35ページをご覧ください。





## ワイヤレス通信

メインメニューまたはショートカット  から「ワイヤレス通信」を選択します。

**【送受信画面】** ワイヤレス通信は、無線通信機能搭載のゲーミンデバイス間でポイントや軌跡などのデータを共有する機能です。一度に送受信できるデータは1データまで、一対一のデバイス間でのみ利用できます。データの送受信を行う際には、双方のデバイスで送信および受信の操作を行う必要があります。



- データの送信
- データの受信

### データをワイヤレス送信する

ワイヤレス通信画面から [送信] を選択 → **実行** → 送信するデータの 카테고리を選択 → データを選択 → **実行** → [送信] → **実行**

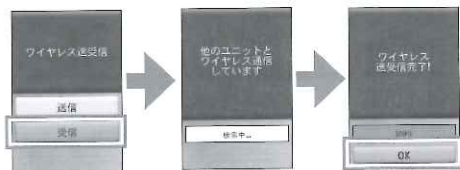
- 送信が完了したら [OK] を選択して **実行** を押すと終了します。
- 受信側のデバイスは、次ページの手順でワイヤレス通信の受信操作を行う必要があります。
- フォトナビとカスタムマップは、Bluetooth機能を利用して送受信します。Bluetooth機能でワイヤレス通信が行えるデバイス間でのみ利用可能です。



## データをワイヤレス受信する

ワイヤレス通信画面から [受信] を選択 → **実行**

■ 受信が完了したら [OK] を選択して **実行** を押すと終了します。



## 面積計算

メインメニューまたはショートカット  から「面積計算」を選択します。

### 【面積計算画面】

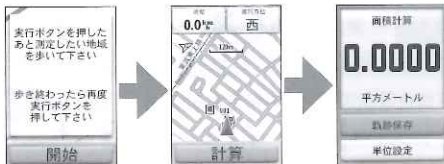


計測したい範囲(エリア)の外周を歩くことにより、その内側の面積を計算します。面積の単位は6種類から選択可能です。面積の単位は計測後に変更可能です。また、面積計算の結果を軌跡として保存できます。保存したデータは、軌跡管理で確認できます。

- 移動した範囲の面積を計算
- 面積計算の移動軌跡を保存
- 面積の単位を変更

### 移動した範囲の面積を計算

- ① 計算を開始する地点で [開始] を選択して **実行** を押します。
  - ② 計算を終了する地点で [計算] を選択して **実行** を押します。
  - ③ 計算された面積が表示されます。
- [軌跡保存]: 面積計算の移動軌跡を保存します。  
[単位設定]: 面積の表示単位を6種類から選択できます。



## 平均位置測定

メインメニューまたはショートカット  から「平均位置測定」を選択します。

### 【測定中画面】

実行ボタンを押すと  
ポイントとして  
登録されます

1 002

2 精度計算中  
33%

3 推定精度 測定時間 4

N 35°31'41.00"  
E 139°31'32.91"

00:10

保存

登録地点で複数回の測定を行い、その測定値を平均して、誤差が少なく精度の高い位置情報を登録できます。  
※ 衛星受信状態が悪い場所では、精度が向上しない場合があります。

- 平均位置を測定してポイントを作成
- 登録済みのポイントの平均位置を測定
- ポイントを全て削除

- 1 ポイント名：ポイントの名称が表示されます。
- 2 パーセンテージ：精度計算完了までをパーセンテージとバーで表します。
- 3 推定精度：現在の平均位置の緯度経度が表示されます。
- 4 測定時間：測定開始からの時間が表示されます。
- 5 測定数：測定を行った回数が表示されます。
- 6 座標：測定後(補正後)の座標が表示されます。
- 7 補正距離：補正を行った距離が表示されます。

### 平均位置を測定してポイントを作成する

平均位置測定画面から [ <ポイント作成> ] を選択 →

**実行** → 測定完了後 **実行**

### 登録済みのポイントの平均位置を測定

平均位置測定画面から測定するポイントを選択 → **実行**

→ [開始] → **実行** → 測定完了後 **実行**

<ポイント作成>		
▼ 020	12m	尚差
▼ 028	12m	尚
▼ 001	17m	尚
▼ 013	17m	尚
▼ 014	17m	尚
▼ 002		

### 【測定結果画面】

ポイントは更新  
されました

019

5 測定数  
1

座標 補正距離

N 35°31'40.00"  
E 139°31'32.01"

8m

OK

- 平均位置測定の精度を向上させるには、測定を4~8回程度繰り返し行ってください。その際に各測定回の間隔を90分以上空けてください。

## カレンダー


メインメニューまたはショートカット  から「カレンダー」を選択します。

カレンダー機能では、日付を確認するだけでなく、その日に登録したポイント、保存した軌跡やジオキャッシュ発見数などを確認できます。また、太陽と月、狩猟と釣の情報も日付別に確認できます。

### 【カレンダー画面】



- カレンダーを確認
- 保存したポイント、軌跡、ジオキャッシュ発見数を確認
- 太陽と月の情報を表示
- 狩猟と釣の情報を表示

- 1 月・西暦：表示されているカレンダーの西暦と月を表示します。
- 2 現在の日付：現在の日付は、□に囲われ表示されます。
- 3 選択した日付：ロッカーキー  を使用すると過去の日付などを選択できます。
- 4 日付の詳細：選択した日付の詳細(登録したポイント数等)を確認できます。

### 保存したポイント、軌跡、ジオキャッシュ発見数を確認する

日付を選択して **実行**

- 保存したポイントや軌跡がある場合にのみ表示されます。
- さらに、ポイントを選択するとポイントの詳細が表示されます。(35ページ)  
軌跡を選択した場合には、地図上に軌跡が表示されます。

2016年 12月 12日	
▼ 002	
▼ 003	
日付:	
▼ 006	
▼ 005	
▼ 007	



### 太陽と月 / 狩猟と釣の情報を確認する

メニュー → [太陽と月] / [狩猟と釣] → **実行**

- 日付の詳細部分に選択した情報が表示されます。
- 太陽と月の操作方法詳細は、62ページをご覧ください。  
狩猟と釣の操作方法詳細は、64ページをご覧ください。
- オプションメニューから「現在日時を使用」を選択すると現在の日付に戻ります。

## プロフィール

メインメニューまたはショートカット  から「プロフィール」を選択します。

### 【プロフィール画面】



用途に合わせた設定の組み合わせを「プロフィール」という単位で管理することが可能です。

メインメニューのレイアウトやアイコンの組み合わせなども設定としてプロフィールに引き継がれます。設定で変更したものは、その際に選択されているプロフィールに記憶されます。

- プロフィールを変更
- プロフィールの作成・編集

### プロフィールを変更する

プロフィール画面から設定するプロフィールを選択 → **実行**

- 初期設定は「レクリエーション」です。  
その他、「ジオキャッシュ」「自動車」「マリン」「フィットネス」「スタンダード」から選択できます。

### プロフィールの作成・編集を行う

プロフィール画面から **メニュー** → [プロフィール設定] → **実行** →  
プロフィール設定画面から作成または編集を行う

- プロフィール作成、編集方法については、132ページをご覧ください。

## 太陽と月


メインメニューまたはショートカット  から「太陽と月」を選択します。

### 【太陽と月画面】





指定した地点・日付・時刻での、[日の出]/[日の入]/[月の出]/[月の入]/[月の位相]/[太陽と月の位置関係]を確認できます。

- 日付別に太陽と月情報を確認
- 太陽と月の位置関係を確認
- 確認する位置(場所)を変更

- ① 月・西暦 : 表示されているカレンダーの西暦と月を表示します。
- ② 現在の日付 : 現在の日付は、□に囲われ表示されます。
- ③ 選択した日付 : ロッカーキー  を使用すると過去や未来の日付を選択できます。
- ④ 太陽と月情報 : 日の出/日の入、月の出/月の入を確認できます。

### 太陽と月の位置関係を確認する

確認する日付を選択して  → [天空図表示] → 

-  /  で日付と時間を変更できます。



### 【オプションメニュー】



### 確認する位置(場所)を変更する

確認する日付を選択して  → [新位置設定] →   
→ 次のオプションから新位置を選択 → 

- [検索履歴] : 検索履歴から選択します。
- [ポイント] : 登録済みのポイントから選択します。
- [現在地周辺] : 現在地を選択します。
- [地図上で選択] : 地図上の地点をマップポインターで選択します。



## 計算機

メインメニューまたはショートカット  から「計算機」を選択します。

計算機(電卓)機能がご利用できます。

### 【計算機画面】



- 計算機(電卓)機能を利用
- 関数電卓に切り替え
- ラジアンと度を切り替え

### 計算機(電卓)機能を利用する

計算機画面からロッカーキー  を使って数値を選択 → **実行**

- 計算には上記の過程を繰り返して行います。

### 関数電卓に切り替える

計算機画面から **メニュー** → [関数] → **実行**

- 通常の計算機に戻す場合には、再び **メニュー** ボタンを押して [標準] を選択して **実行** ボタンを押します。



### ラジアンと度を切り替える

計算機画面から **メニュー** → [ラジアン]/[度] → **実行**

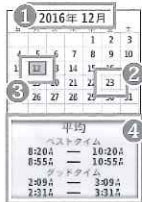





## 狩猟と釣

メインメニューまたはショートカット  から「狩猟と釣」を選択します。

【狩猟と釣画面】 指定した地点・日付で、狩猟や釣に適した時間を確認できます。



- 日付別に狩猟と釣に適した時間を確認
- 確認する位置(場所)を変更

- 1 月・西暦 : 表示されているカレンダーの西暦と月を表示します。
- 2 現在の日付 : 現在の日付が□の中に表示されます。
- 3 選択した日付 : ロッカーキー  を使用すると過去や未来の日付を選択できます。
- 4 狩猟と釣情報 : 狩猟と釣に適した時間の情報が表示されます。




狩猟と釣に適した時間を確認する

確認する日付を選択すると表示されます

- ロッカーキー  で日付を変更できます。



確認する位置(場所)を変更する

【オプションメニュー】 確認する日付を選択して  → [新位置設定] →  → 次のオプションから新位置を選択 → 



- [検索履歴] : 検索履歴から選択します。
- [ポイント] : 登録済みのポイントから選択します。
- [現在地周辺] : 現在地を選択します。
- [地図上で選択] : 地図上の地点をマップポインターで選択します。



## アラーム

メインメニューまたはショートカット  から「アラーム」を選択します。

### 【アラーム画面】



設定した時刻にアラームが鳴るように設定できます。

設定した時間に電源が入るようにすることも可能です。また、アラームが鳴った後のスヌーズ設定も可能です。スヌーズの間隔は10分間隔です。

- アラームを設定
- スヌーズ機能を利用

### アラームを鳴らす時刻を設定する

アラーム画面から時刻表示部を選択して **実行** → 時刻を入力 → [OK] → **実行**

■ 時刻を入力するには、変更したい部分を  /  で選択してロッカーキー  で数字を選択して **実行** ボタンを押します。この操作を繰り返し行います。

■ AM / PMの切替は  /  で切り替えます。(12時間表示のみ)



### アラームを有効(オン)にする

アラーム画面から [アラーム オン] → **実行** → アラームをセットして電源を切る場合 [はい] → **実行**

■ アラームが有効(オン)になっている場合には、[アラーム オフ] と表示されます。アラームを無効(オフ)にする場合には、[アラーム オフ] を選択して **実行** を押します。

### スヌーズ機能を利用する

アラームが鳴った際の画面から [スヌーズ] → **実行**

■ スヌーズ機能は、アラームが鳴った後に設定できます。スヌーズの間隔は10分間隔です。

## ストップウォッチ

メインメニューまたはショートカット  から「ストップウォッチ」を選択します。

ストップウォッチ機能とラップタイム取得機能が利用できます。ラップタイムはストップウォッチスタート後に[ラップ]を選択することで取得できます。

- ストップウォッチの開始・停止
- 距離を基準にラップタイムを取得
- ストップウォッチをリセット

【ストップウォッチ画面】



### ストップウォッチを開始・停止する

ストップウォッチ画面から [開始] または [停止] を選択して **実行**

- ストップウォッチを開始すると、[開始] 項目が [停止] に切り替わります。ストップウォッチを停止する場合には [停止] を選択してください。
- ラップ機能を利用するには、ストップウォッチを開始後、[ラップ] 項目で **実行** ボタンを押します。

### 距離を基準にラップタイムを取得する

ストップウォッチ画面から **メニュー** → [距離によるラップ] → **実行**

- 距離を設定する場合は、もう一度 **メニュー** ボタンを押して [ラップ距離設定] を選択して **実行** ボタンを押します。距離単位を選択して距離を入力します。
- ボタンによるラップに切り替える場合には、ストップウォッチ画面から **メニュー** ボタンを押して [ボタンによるラップ] を選択して **実行** ボタンを押します。

### ストップウォッチをリセットする

ストップウォッチ停止後 [リセット] → **実行**

- [リセット] はストップウォッチでタイムを計測中には表示されません。



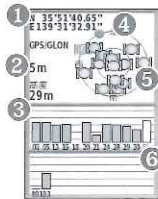
## 衛星情報

メインメニューまたはショートカット  から「衛星情報」を選択します。

現在地の緯度経度、位置精度、衛星配置図、GPS高度、  
捕捉しているGPS衛星番号と強度を確認できます。

- 衛星受信をデモモード(オフ)に設定
- 衛星配置図表示の切り替え
- 衛星配置図色の切り替え
- 現在地を変更

### 【衛星情報画面】



衛星受信モード:  
GPS/GLONASS

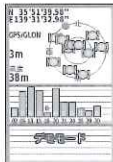
- ① 緯度経度：現在地の緯度と経度を表示します。
- ② 位置精度：GPS位置精度の誤差を半径で表します。
- ③ GPS高度：GPSで測位している高度を表示します。
- ④ 進行方向：コンパスリング上の赤ドットで進行方向を示します。
- ⑤ 衛星配置図：捕捉している衛星とその番号を天空図で確認できます。
- ⑥ 強度グラフ：衛星信号の受信強度をグラフで表示します。

※ 衛星受信モードにより表示が異なります。みちびきはNo. 193で表示されます。

## 衛星受信をデモモード(オフ)にする

衛星情報画面から **メニュー** → [デモモード] → **実行**

- 衛星受信をデモモードに設定すると、現在地を変更することができます。(11ページ)
- 地図上から地点を変更する場合は、デモモードに設定後、衛星情報ページからメニューボタンを押して[現在地変更]を選択すると、地図上のマップポインターで指定した地点を現在地として設定することができます。地図ページが表示されたら、地点を変更する位置にマップポインターを合わせて[使用] → **実行** ボタンを押します。
- 衛星受信を再開する場合は、**メニュー** → [衛星受信] → **実行**



## 衛星配置図表示を切り替える

衛星情報画面から **メニュー** → [ノースアップ] / [トラックアップ] → **実行**

- [ノースアップ]と[トラックアップ]については114ページをご覧ください。

## 衛星配置図の色を切り替える

衛星情報画面から **メニュー** → [シングルカラー] / [マルチカラー] → **実行**



## アドベンチャー

メインメニューまたはショートカット  から「アドベンチャー」を選択します。

Garmin社が運営するアクティビティ(山行記録)共有サイト「アドベンチャー」を利用する際に使用します。「アドベンチャー」のデータはベースキャンプ(BaseCamp)経由でデバイスに転送する必要があります。

### 【アドベンチャー一覧】



- アドベンチャーを開始
- アドベンチャー情報、詳細を確認
- アドベンチャーを評価

- ① アイコン：アドベンチャーのアクティビティをアイコンで表示します。また実行したアドベンチャーのアイコンにはマークがつき、評価(入力した場合)が表示されます。
- ② アドベンチャー名：アドベンチャーの名称、合計距離(作成者の移動距離)、時間(作成者の要した時間)が表示されます。

### アドベンチャーを開始する

開始したいアドベンチャーを選択して **実行** → **[開始]** → **実行**

- アドベンチャーを開始すると、開始したアドベンチャーが地図上にルートとして表示されますが、現在地からアドベンチャー開始地点までの案内やアドベンチャー開始地点からのルート案内は行われません。



## アドベンチャーの詳細を確認する



詳細を確認したいアドベンチャーを選択して **メニュー** → **[詳細]** → **実行**

- 詳細では、アドベンチャーの軌跡/ポイント/フォトナビ/ジオキャッシュの確認が可能です。項目によっては、データがない場合は表示されません。軌跡/ポイント/フォトナビ/ジオキャッシュの各データは軌跡管理/ポイントマネージャー/フォトビューアー/ジオキャッシュページでも確認できます。

## アドベンチャー情報を確認する

アドベンチャー情報を確認したいアドベンチャーを選択して **メニュー** → **[アドベンチャー情報]** → **実行**

- アドベンチャー情報では、アドベンチャー名/解説/アドベンチャーの合計距離、時間、上昇量、下降量の確認が可能です。
- **[開始]** を選択すると、アドベンチャーを開始します。



## アドベンチャーを消去する

消去したいアドベンチャーを選択して **メニュー** → **[消去]** → **実行**

- 消去したアドベンチャーは復旧できませんので十分に注意して行ってください。

## ナビゲーションを再開する

アドベンチャーを選択して **メニュー** → **[ナビ再開]** → **実行**

- ナビゲーションを再開します。ナビゲーションを停止した際に表示されます。

## 地図設定を変更する

アドベンチャーを選択して **メニュー** → [地図設定] → **実行**

■ 地図設定画面を表示します。地図設定については114-115ページをご覧ください。

## 初期化する

アドベンチャーを選択して **メニュー** → [規定値セット] → **実行**

■ 変更した地図設定を初期(工場出荷)状態に戻します。

## アドベンチャーを終了する

アドベンチャー実行中、メインメニュー → [アドベンチャー] → **実行**  
→ [アドベンチャー停止] → **実行** → [アドベンチャー終了] → **実行**

■ アドベンチャー終了時には、実行したアドベンチャーの評価とコメントの入力が可能です。

アドベンチャー評価： ◀ / ▶ ボタンでアドベンチャーを5段階で評価します。

コメント： アドベンチャーにコメントを入力します。  
文字入力方法は179-187ページをご覧ください。





## VIRB

メインメニューまたはショートカット  から「VIRB」を選択します。  
ガーミン社製のアクションカメラVIRBをワイヤレスで遠隔操作することができます。

### 【VIRB画面】



- VIRBと接続
- 動画の撮影
- 写真の撮影

- 1 REC：録画の開始・停止が可能です。
- 2 写真撮影：静止画が記録されます。
- 3 接続情報：GPSMAP 64scJとVIRBの接続状況が表示されます。静止画取得時には「撮影中」と表示されます。録画中は、録画時間が表示されます。
- 4 録画状況：録画中は赤点滅表示になります。写真撮影時には、緑色に点灯します。

### VIRBと接続をする



VIRBページを開くと、自動的に接続可能なVIRBの検索を開始します

- あらかじめVIRB本体のワイヤレスリモート設定を有効に設定する必要があります。設定方法はVIRBシリーズにより異なります。詳しくはお使いの製品の操作マニュアルをご参照ください。

### 他のアクションカメラを検索する

VIRB画面から  → [スキャン] → 

- 接続可能なVIRBの検索が開始されます。



## 写真を撮影する



[写真撮影]を選択 → 実行

- 撮影した写真は VIRB に保存され、本機での確認はできません。

## 録画を開始する



RECを選択 → 実行

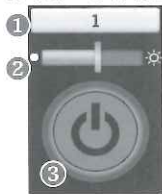
- 録画中に同操作を行うと停止します。
- 録画中に [写真撮影] を選択することで写真を撮影することができます。
- 撮影したデータは VIRB に保存され、本機での確認はできません。




## フラッシュライト

メインメニューまたはショートカットフラッシュライト  から「フラッシュライト」を選択します。  
カメラ用のフラッシュを活用し、ライトとして利用したりSOSパターンや任意の間隔で点滅させたりします。

- フラッシュパターンの選択
- 明るさの調節
- フラッシュライト点灯/消灯

### 【フラッシュライト画面】



- 1 フラッシュパターン: ライトの点滅パターンを選択します。数字(0~9)は、1秒間の点滅回数です。SOSを選択すると救助信号の点滅パターンで点滅します。
- 2 明るさ調節:  /  ボタンでライトの明るさを調節します。
- 3 点灯/消灯:  ボタンを押す度に、点灯/消灯を切り替えます。フラッシュライトは、オンにしたまま他の画面に戻っても点灯状態が継続します。

### フラッシュライトを点灯する


### 【フラッシュライト点灯画面】



フラッシュライトページで  アイコンを選択 → 

- 点滅方法を変更する場合は、フラッシュパターンを選択し  ボタンを押してください。

## 通知

メインメニューまたはショートカット  から「通知」を選択します。

ペアリング中のスマートフォンの着信や受信したメッセージの通知を確認できます。

通知機能の利用には、予めガーミンコネクトモバイル (159ページ) をインストールした Bluetooth Smart機能搭載のスマートフォンとペアリングを行う必要があります。

### 【通知画面】



### 【通知詳細】



### ■ 通知の確認

### 通知を確認する

確認する通知を選択 → **実行**
















- ・一部アプリの通知は表示されない場合があります。
- ・スマートフォンで確認済みの通知は表示されません。
- ・通知受信直後には、画面上にポップアップウィンドウが表示されます。ポップアップウィンドウ表示中に [実行] ボタンを押すと、通知詳細が開きます。

## 目的地検索





目的地を検索してナビゲーションを開始します。

### ■ 目的地検索項目

 検索履歴	検索履歴から検索	P.101
 ポイント	保存済みポイントから検索	P.78
 フォトナビ	ジオタグ付き画像データから検索	P.79
 軌跡	現在の軌跡のトラックバックまたは保存済み軌跡を辿るナビゲーションを開始	P.80
 ルート	保存済みルートを選択してナビゲーションを開始	P.81
 アドベンチャー	アドベンチャーデータから検索	P.69
 POI	カスタムPOIデータから検索	P.82
 ジオキャッシュ	ジオキャッシュデータから検索	P.49
 座標	指定座標へのナビゲーションを開始	P.83
 全カテゴリー	検索可能な全カテゴリーから検索	P.84
 カテゴリー別項目	カテゴリー別項目から検索	P.84
 日本住所 丁目	丁目レベルの日本国内住所を検索	P.87
 都市	地図に登録されている都市を検索	P.89

## ■ 別売地図データ対応目的地検索項目

CityNavigatorやTOPOなどの別売の地図データを格納した場合に表示されます。

 日本住所 地番・号	地番号までの日本国内住所を検索	P.91
 電話番号	電話番号を入力して施設情報を検索	P.93
 海外住所	海外地図データの住所を検索	P.95
 交差点	海外地図データの交差点を検索	P.98



- ・表示される検索項目は、利用する地図製品により異なります。
- ・[検索履歴] は、履歴が一件以上ある場合のみ表示されます。
- ・[ポイント]、[フォトナビ]、[ルート]、[アドベンチャー]、[PO]、[ジオキャッシュ] は該当するデータがデバイスの内蔵メモリまたはmicroSDカード(別売)に保存されている場合のみ表示されます。
- ・検索結果は現在地に近い順に表示されます。現在地とは異なる場所を起点に検索を行う場合は、[近隣検索]機能を利用します。近隣検索については次ページをご覧ください。

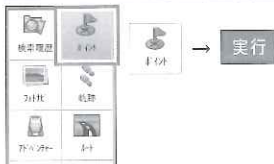
# ポイント検索

登録済みポイントから目的地を検索します。

## 1 目的地検索画面を表示

検索 → 目的地検索画面

- どの画面からでも **検索** ボタンを押せば目的地検索画面が表示されます。



## 3 検索するポイント選択

▼ 004 (10:01 AM)
4m 10:01
▼ 001 (9:57 AM)
6m 10:01
▼ 003 (10:00 AM)
1m 10:01
▼ 005 (10:02 AM)
3m 10:01
▼ 006 (10:06 AM)
1:12:00
▼ UUZ (10:56 AM)
310km 10:56

ポイントを選択 → **実行**

- ポイントの並べ替え、名前検索（絞り込み）、記号検索の方法はポイントマネージャー（33-34ページ）の操作方法をご覧ください。

## 4 地図上で位置を確認して出発



地図上に選択したポイントの位置情報が表示されます

「出発」 → **実行** でポイントへのナビゲーションを開始

## フォトナビ検索

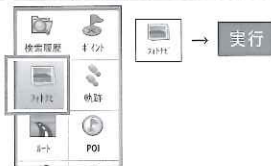
位置情報(ジオタグ)を含む画像から目的地を検索します。

### 1 目的地検索画面を表示

検索 → 目的地検索画面

- どの画面からでも **検索** ボタンを押せば目的地検索画面が表示されます。

### 2 「フォトナビ」を選択



### 3 画像データを選択



画像データを選択 → **実行**

目的地検索

### 4 地図上で位置を確認して出発



地図上に選択した画像データの位置情報が表示されます

「出発」 → **実行** でナビゲーションを開始



## 軌跡検索

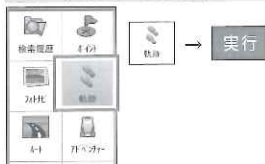
現在の軌跡のトラックバック、または保存済み軌跡を辿るナビゲーションを開始します。

### 1 目的地検索画面を表示

検索 → 目的地検索画面

- どの画面からでも **検索** ボタンを押せば目的地検索画面が表示されます。

### 2 「軌跡」を選択



### 3 軌跡を選択



「現在の軌跡」または「保存済み軌跡名」を選択 → **実行**

### 4 地図上で軌跡を確認して出発



地図上に軌跡が表示されます

- 現在の軌跡を選択した場合  
「トラックバック」 → **実行** で現在の軌跡の開始地点へ戻るナビゲーションを開始
- 保存済み軌跡を選択した場合  
「出発」 → **実行** で保存済み軌跡を辿るナビゲーションを開始

## ルート検索

保存済みルートを利用してナビゲーションを開始します。

### 1 目的地検索画面を表示

**検索** → 目的地検索画面

- どの画面からでも **検索** ボタンを押せば目的地検索画面が表示されます。

### 2 「ルート」を選択



### 3 探索するルートを選択



探索するルートを選択 → **実行**

目的地検索

### 5 地図上でルートを確認して出発



地図上にルートが表示されます

「出発」 → **実行** でルートのナビゲーションを開始

- 現在地がルートの開始地点と離れている場合は、現在地から開始地点までのナビゲーションも含めてルート案内されます。

## POI 検索

カスタムPOI データから目的地を検索します。

### 1 目的地検索画面を表示

**検索** → 目的地検索画面

- どの画面からでも **検索** ボタンを押せば目的地検索画面が表示されます。

### 2 「POI」を選択



### 3 POIを選択

POIを選択 → **実行**

- POIデータが複数保存されている場合は、初めに検索するPOIの 카테고리を選択します。

### 4 地図上で位置を確認して出発

地図上に位置情報が表示されます

「出発」 → **実行** でPOIへのナビゲーションを開始



## 座標検索

座標を入力して検索します。

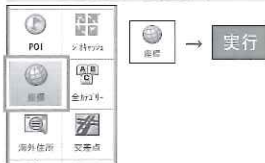
### 《座標を入力して検索》

#### 1 目的地検索画面を表示

**検索** → 目的地検索画面

- どの画面からでも **検索** ボタンを押せば目的地検索画面が表示されます。

#### 2 「座標」を選択



#### 3 座標を入力

緯度経度入力

座標 (緯度経度) 入力 → 「OK」 → **実行**

- 「S/N」「W/E」の切替は  /  を選択して **実行** ボタンを押します。
- 入力する場所を変更するには  /  を押します。
- 数字入力方法は186ページをご覧ください。

#### 4 地図上で位置を確認して出発



地図上に入力した座標の位置情報が表示されます

「出発」 → **実行** で座標へのナビゲーションを開始

## 全カテゴリー/カテゴリー別検索

施設情報をカテゴリー別に検索します。

カテゴリー	サブカテゴリー
全カテゴリー	
ショッピング	デパート、スーパー/食料雑貨、コンビニ など
フード/ドリンク	ファミリーレストラン、ラーメン/中華、イタリアン など
ガソリンスタンド	
宿泊施設	ビジネスホテル、旅館/簡易ホテル など
娯楽	映画館/劇場、カラオケボックス など
レクリエーション	ゴルフ場/練習場、ボーリング場、スイミングプール など
一般施設	博物館/美術館、公園、名所 など
交通	レンタカー、空港/飛行場、タクシー乗り場 など
自動車関連	カー用品、カーディーラー、駐車場 など
公共施設	図書館/資料館、学校、役所 など
病院	
ジオポイント	人造施設、水域関連、陸地関連（山頂や山小屋）、三角点
その他	その他、放送/通信関連
駐輪場	



- ・検索可能なカテゴリーは、利用する地図製品により異なります。
- ・各カテゴリーの収録内容は利用する地図製品により異なります。
- ・施設の移転または閉店等により、収録内容と実際の状況が異なる場合があります。

## 1 目的地検索画面を表示

検索 → 目的地検索画面

- どの画面からでも **検索** ボタンを押せば目的地検索画面が表示されます。

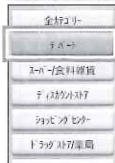
## 2 検索したいカテゴリーを選択



カテゴリーを選択 → **実行**

全てのカテゴリーから検索する場合は **全カテ** → **実行**

## 3 サブカテゴリーを選択



サブカテゴリーを選択 → **実行**

- サブカテゴリーがない場合は **4** へ
- 「全カテゴリー」を選択した場合はカテゴリー内の全ての施設が表示されます。

## 4 施設情報を選択

施設情報を選択 → **実行** ( **6** へ )

- 名称を入力して検索する場合は **5** をご覧ください。



## 5 名前検索で検索結果を絞り込む



メニュー → 「名前検索」 → 実行 → 施設名称入力 → 「OK」 → 実行  
→ 施設情報選択 → 実行

■ 文字入力方法は179-187ページをご覧ください。

## 6 地図上で位置を確認して出発

地図上に選択した施設の位置情報が表示されます

「出発」 → 実行 で検索した場所へのナビゲーションを開始

# 日本住所検索(丁目)

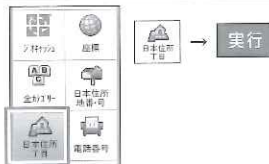
丁目までの日本住所を検索します。

## 1 目的地検索画面を表示

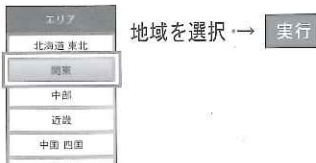
検索 → 目的地検索画面

- どの画面からでも **検索** ボタンを押せば目的地検索画面が表示されます。

## 2 「日本住所丁目」を選択



## 3 検索する地域を選択

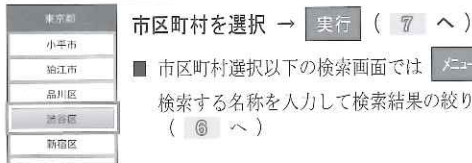


## 4 検索する都道府県を選択



目的地検索

## 5 市区町村を選択



- 市区町村選択以下の検索画面では **メニュー** → 「名前検索」 → **実行** で、検索する名称を入力して検索結果の絞り込みを行うことができます。  
( 6 )



## 6 名前検索で検索結果を絞り込む



名称を入力 → 「OK」 → **実行** → 地域を選択 → **実行**

- 文字入力方法は179ページをご覧ください。

## 7 丁目(町名/地域名)を選択



丁目(町名/地域名)を選択 → **実行**

- 検索する丁目(町名/地域名)が表示されない場合は名前検索による絞り込みを行ってください。( 6 へ )

## 8 地図上で位置を確認して出発



地図上に位置情報が表示されます

「出発」 → **実行** で検索した場所へのナビゲーションを開始

## 都市検索

日本国内の都市を検索します。  
海外版地図ソフトを格納している場合は、海外の都市検索できます。

### 1 目的地検索画面を表示

検索 → 目的地検索画面

- どの画面からでも **検索** ボタンを押せば目的地検索画面が表示されます。

### 2 「都市」を選択



### 3 検索する都市を選択

都市を選択 → **実行** ( 5 ^ )

- 都市名を入力して検索する場合は **4** をご覧ください。



### 4 都市名を入力して検索

メニュー → 「名前検索」 → **実行** → 都市名入力 → 「OK」 → **実行**  
→ 都市選択 → **実行** ( 5 ^ )



- 文字入力方法は179-187ページをご覧ください。
- 「地図選択」は詳細地図が複数格納されている場合のみ表示されます。検索対象にする地図を選択することができます。

## 5 地図上で位置を確認して出発



地図上に位置情報が表示されます

「出発」→ **実行** で検索した場所へのナビゲーションを開始



- ・表示される都市の場所は、主に県庁所在地や市町村役場の付近、または都市のおおよその中心部の位置となります。
- ・海外の都市を検索する場合には、衛星受信モードをデモモードに変更して現在地を検索する都市付近に設定していただく必要があります。  
現在地の変更方法は、11ページをご覧ください。

# 日本住所検索(地番・号)

地番・号までの日本住所を検索します。

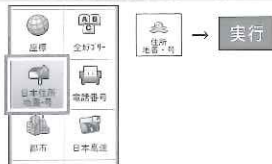
この項目は、日本道路詳細地図製品(別売)が格納されている場合のみ表示されます。

## 1 目的地検索画面を表示

検索 → 目的地検索画面

- どの画面からでも **検索** ボタンを押せば目的地検索画面が表示されます。

## 2 「日本住所地番・号」アイコンを選択



## 3 丁目までを選択

丁目までを選択

87-88ページ ③ ~ ⑦ の操作を行います

## 4 番地を選択



地番を選択 → **実行**

- 号の無い住所は ⑥へ進んでください。

## 5 号を選択

号を選択 → **実行**

- 枝番のある住所の場合は号・枝番と表示されます。

## 6 地図上で位置を確認して出発



地図上に位置情報が表示されます

「出発」→ **実行** で検索した場所へのナビゲーションを開始

# 電話番号検索

日本全国の施設情報を電話番号で検索します。

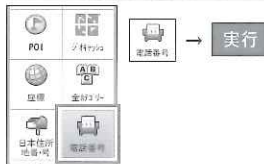
この項目は、日本道路詳細地図製品(別売)が格納されている場合のみ表示されます。

## 1 目的地検索画面を表示

**検索** → 目的地検索画面

- どの画面からでも **検索** ボタンを押せば目的地検索画面が表示されます。

## 2 「電話番号」アイコンを選択



## 3 電話番号を入力



電話番号入力 → 「OK」 → **実行**

- ハイフン(-)は入力しないでください。
- 数字入力方法は186ページをご覧ください。

## 4 検索結果を選択

検索結果が表示されます

施設情報選択 → **実行**

## 5 地図上で位置を確認して出発



地図上に位置情報が表示されます

「出発」→ **実行** で検索した場所へのナビゲーションを開始



- ・個人宅の電話番号は登録されていません。
- ・一部の施設には検索可能な電話番号が登録されていない場合があります。
- ・ポイントデータ等に手で登録した電話番号は検索対象外です。

# 海外住所検索

海外住所を検索します。

この項目は、Garmin社製海外地図製品(別売)が格納されている場合のみ表示されます。



海外住所を検索する際は、現在地を検索する都市周辺に変更する必要があります。  
(現在地変更:11ページ)

## 1 目的地検索画面を表示

検索 → 目的地検索画面

- どの画面からでも **検索** ボタンを押せば目的地検索画面が表示されます。

## 2 「海外住所」アイコンを選択



 → **実行**

- 海外地図ソフトの地図データが格納(転送)されている場合のみ表示されます。

## 3 検索する州/地域を選択

「州/地域を入力」を選択 → **実行** ( 4 )

「直近で検索した州/地域名」を選択 → **実行** ( 5 )

目的地検索



## 4 州/地域を入力して検索



州/地域名称を入力 → **実行**

- 文字入力方法は179-187ページをご覧ください。



## 5 都市を検索



「都市/郵便番号 入力」 → 都市名 または 郵便番号入力 →

「OK」 → **実行** → 都市 または 郵便番号 を選択 → **実行**

または、「現在の地域で探索」 → **実行**

■ 文字入力方法は179-187ページをご覧ください。

## 6 ストリート名を入力して検索



ストリート名入力 → 「OK」 → **実行**

→ ストリートを選択 → **実行**

## 7 番地を入力して検索



番地入力 → 「OK」 → **実行**

## 8 地図上で位置を確認して出発



地図上に位置情報が表示されます

「出発」 → **実行** で検索した場所へのナビゲーションを開始

## 交差点検索

海外の交差点を検索します。

この項目は、Garmin社製海外地図製品(別売)が格納されている場合のみ表示されます。



・海外の交差点を検索する際は、現在地を検索する都市周辺に変更する必要があります。  
(現在地変更:11ページ)

### 1 目的地検索画面を表示

検索 → 目的地検索画面

- どの画面からでも **検索** ボタンを押せば目的地検索画面が表示されます。

### 2 「交差点」アイコンを選択



 → **実行**

- 海外地図ソフトの地図データが格納(転送)されている場合のみ表示されます。

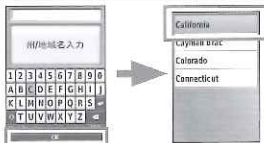
### 3 検索する州/地域を選択



「州/地域を入力」を選択 → **実行** ( 4 )

「直近で検索した州/地域名」を選択 → **実行** ( 5 )

### 4 州/地域を入力して検索



州/地域名称を入力 → **実行**

- 文字入力方法は179-184ページをご覧ください。

## 5 都市を検索



「都市/郵便番号 入力」 → 都市名 または 郵便番号入力 →

「OK」 → **実行** → 都市 または 郵便番号 を選択 → **実行**

または、「現在の地域で探索」 → **実行**

■ 文字入力方法は179-187ページをご覧ください。

## 6 ストリート 1・ストリート 2 を検索



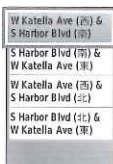
交差する道路(ストリート)を検索します

ストリート名入力 → 「OK」 → **実行** → ストリートを選択 →

**実行**

■ ストリート 1 選択後、ストリート 2 も同様に検索します。

## 7 交差点を選択



検索したストリート 1 とストリート 2 が交わる交差点を選択します

交差点を選択 → **実行**

## 8 地図上で位置を確認して出発



地図上に選択した交差点が表示されます

「出発」 → **実行** で検索した場所へのナビゲーションを開始

## 検索履歴

検索履歴から目的地を検索します。

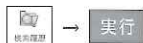
### 1 検索画面を表示

検索 → 目的地検索画面

または **検索** を2回押す ( **3** ) ( **へ** )

- どの画面からでも **検索** ボタンを押せば目的地検索画面が表示されます。

### 2 「検索履歴」を選択



### 3 地点を選択

東京都 渋谷区 渋谷	22.49km	徒歩
東京都 渋谷区 恵比寿	22.49km	徒歩
東京都 新宿区 新宿	23.80km	徒歩
東京都 新宿区 神楽坂	24.29km	徒歩
出入口 新大塚(上りin)	4.50km	バス
出入口 新大塚(下りout)	4.20km	バス

目的地に設定する地点を選択 → **実行**

- 最近検索した場所が最大50件まで表示されます。

### 4 地図上で位置を確認して出発



地図上に選択した地点の位置情報が表示されます

「出発」 → **実行** で検索した場所へのナビゲーションを開始

## 5 検索履歴を全て消去する



検索履歴を全て消去します。

メニュー → 「履歴消去」 → 実行 → 「はい」 → 実行

または、目的地検索画面 → メニュー → 「検索履歴消去」 → 実行 → 「はい」 → 実行

## 近隣検索

目的の検索では現在地を起点にして周辺の位置情報を検索しますが、近隣検索機能を利用すれば、任意で指定した地点を起点とした検索が可能になります。

### 1 目的の検索画面を表示

検索 → 目的の検索画面

- どの画面からでも **検索** ボタンを押せば目的の検索画面が表示されます。

### 2 「近隣検索」を選択



メニュー → 「近隣検索」 →

実行

### 3 検索の起点となる地点を選択

近隣検索

検索履歴

ポイント

現在地周辺

地図上で選択

起点となる地点を選択

「検索履歴」/「ポイント」：検索履歴またはポイント一覧から地点を選択 ( 5 ) ( へ )

「現在地周辺」：現在地を選択 (現在地とは異なる地点を起点として設定後、再度起点を現在地に戻す場合に選択します。) ( 6 ) ( へ )

「地図上で選択」：地図上の地点をマップポインターで選択 ( 4 ) ( へ )

### 4 地点を地図上で選択



「地図上で選択」 → **実行**

地図画面が表示され、任意の位置にマップポインターを移動して

「使用」 → **実行** ( 5 ) ( へ )



## 5 地点を選択



「検索履歴」または「ポイント」→ **実行**

一覧から任意の地点を選択

## 6 選択した起点周辺の位置情報を検索



起点の選択が完了すると、再度目的地検索画面が表示されます

- 検索の起点となる地点を選択すると、再び目的地検索画面が表示されますので、76ページからの各検索項目の検索方法を参考に目的地を検索します。

## 設定

GPSMAP 64scJの各種設定を変更します。

システム	「衛星受信モード」「MSAS/WAAS」「言語」「インターフェース」「電池タイプ」	P.106
ディスプレイ	「バックライト点灯」「節電」「表示モード」「メニュー表示スタイル」「スクリーンショット」	P.108
Bleutooth	「接続」「通知」「ペアリング」	P.110
トーン	「キー音」「メッセージ音」「キー操作音」「転換点警告音」「近接アラート」	P.112
地図	「地図表示」「案内テキスト」「データ項目表示」「詳細設定」「地図情報」	P.114
カメラ	「写真解像度」「保存先選択」「操作方法」	P.116
リセット	「TPデータ消去」「全ポイント消去」「現在の軌跡消去」 「軌跡とトリップデータを消去」「全設定リセット」	P.117
軌跡	「軌跡ログ」「記録方法」「記録間隔」「自動保存」「色」	P.118
ユニット	「距離/スピード」「高度(昇降速度)」「深度」「気温」「気圧」	P.119
ショートカット	ショートカットの表示設定	P.120
位置フォーマット	「位置」「測地系」「スフェロイド」	P.121
時刻	「時間表示」「タイムゾーン」「サマータイム」	P.122
高度	「自動校正」「大気圧モード」「気圧推移記録」「プロットタイプ」「高度校正」	P.123
方位基準	「移動方向」「方位基準」「コンパス表示」「電子コンパス」「コンパス校正」	P.124
ルート探索	「アクティビティ」「ルート探索方法」「マップマッチ」「次ポイント」「回避」「ルート再計算」	P.126
ジオキャッシング	「表示設定」「ジオキャッシング発見数」「絞り込み設定」「スタートページ」「chirp®設定」	P.128
ANTセンサー	「心拍計」「スピードセンサー」「ケイデンスセンサー」 「スピード/ケイデンスセンサー」「温度計」	P.130
マリン	「マリンモード」「表示設定」「マリンアラーム設定」	P.131
プロフィール	プロフィールの編集と作成	P.132
その他	デバイスに関する情報(ソフトウェアバージョン・ユニットID等)	P.133

### ●各項目の設定を初期化する

各設定ページ内で **メニュー** → [規定値セット] → **実行**

変更した各項目の設定を初期(工場出荷時)の設定に戻します。



「設定」



「システム」



システム設定画面

● GPSモードを変更する

【衛星受信モード】

【標準】：GPSとみちびきを受信します。

【GPS/GLONASS】：GPS、GLONASS、みちびきを受信します。

【デモモード】：GPS受信を無効にします。

シミュレーションを行う場合に使用します。

衛星信号については134-135ページをご覧ください。

● MSAS/WAASを変更する

【MSAS/WAAS】

【オン】：MSAS/WAASの衛星信号の受信を有効にします。

【オフ】：MSAS/WAASの衛星信号の受信を無効にします。

MSAS/WAASについては135ページをご覧ください。

● 言語を変更する

【言語】

【日本語】または【English(英語)】を選択します。

● データ出力フォーマットを変更する

【インターフェース】

【Garmin Spanner】：仮想シリアルポート接続によるNMEA 0183準拠プログラム用。(USBバスパワー給電で使用可能)

【Garmin シリアル】：PCとのデータ(ポイント・軌跡・ルート)交換用。

【NMEA】：NMEA 0183 データ交換用。

【テキスト出力】：ASCIIテキスト出力用。

【MTP】：メディアデバイス出力用。

## システム設定

メインメニュー画面 → 「設定」 → 「システム」


### ●電池の種類を変更する

#### 【電池タイプ】

使用する電池の種類を選択します。

[アルカリ] [リチウム] [ニッケル水素] [ニッケル水素バッテリーパック]

※ 使用する電池と本設定が異なる場合、電池残量表示に誤差が生じます。

 ニッケル水素バッテリーパックを使用している場合は電池タイプが自動認識されるため、この項目は表示されません。



「システム」



システム設定画面



電池タイプ  
設定画面



「設定」



「ディスプレイ」



ディスプレイ  
設定画面

● バックライト点灯時間を設定する

【バックライト点灯】

[常時オン]: 常に点灯します。

[15秒][30秒][1分][2分]: 最後のボタン操作から選択した時間が経過すると消灯します。

● 節電モードを設定する

【節電】

[オン]: 電池の消費を防ぐため、最後のボタン操作からバックライト点灯時間で設定した時間が経過すると画面が消えます。ボタン操作を行うと再び画面が表示されます。

[オフ]: 節電モードが無効になります。

● 背景の配色を設定する

【表示モード】

[表示モード]: 表示モードを変更できます。

昼間と夜間で画面の背景の色や、項目を選択した時の色を切り替えます。

[自動]: 自動で [昼間] と [夜間] の設定の切り替えを行います。日の出・日の入の時刻に合わせて切り替わります。

[昼間]: [昼間配色] で設定した背景色で24時間表示します。

[夜間]: [夜間配色] で設定した背景色で24時間表示します。

[昼間配色]: 表示モードが [昼間] の場合の背景色を設定します。

[昼間ハイライト]: 表示モードが [昼間] の場合の選択色を設定します。

[夜間配色]: 表示モードが [夜間] の場合の背景色を設定します。

[夜間ハイライト]: 表示モードが [夜間] の場合の選択色を設定します。

# ディスプレイ設定

メインメニュー画面 → 「設定」 → 「ディスプレイ」

## ●メニューの表示スタイルを変更する

### 【メニュー表示スタイル】

メイン画面・設定画面・検索画面のメニューアイコン表示を変更できます。


[12項目表示] : メニューアイコンを12分割で表示します。

[6項目表示] : メニューアイコンを6分割で表示します。

[7項目リスト表示] : メニューアイコンを一画面に7行のリストで表示します。

## ●スクリーンショットを利用する

### 【スクリーンショット】

[オン] を選択後、 電源ボタンを押すとスクリーンショットを取得します。

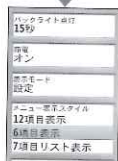
取得したデータは、デバイスの内蔵メモリ [Garmin]>[scrn]フォルダ内に保存されます。



「ディスプレイ」



ディスプレイ  
設定画面



メニュー表示  
スタイル設定画面



「設定」



「Bluetooth」



Bluetooth  
設定画面

**i** 初めてBluetooth接続を行う場合は、Bluetooth設定を開くとすぐにペアリングモードになります。[OK]を選択するとペアリングを開始します。

## ●Bluetoothを有効/無効にする

### 【接続】

- [オン]：Bluetooth 接続を有効にします。
- [オフ]：Bluetooth の接続を無効にします。

## ●通知機能を有効/無効にする

### 【通知】

- ペアリングしたスマートフォンに着信やメッセージがあった際に本機で通知を確認することができます。通知の確認方法は 75 ページをご覧ください。
- [表示]：通知を表示します。
  - [非表示]：通知を非表示にします。

## ●スマートフォンとペアリングする

### 【ペアリング】

接続可能なスマートフォンとのペアリングを開始します。

- GPSMAP 64scJ と対応するスマートフォンのペアリングには、Garmin Connect™ Mobile アプリが必要です。(159 ページ)

## Bluetooth設定

メインメニュー画面 → 「設定」 → 「Bluetooth」

### ● LiveTrack を停止する

#### 【LiveTrack 停止】

実行中の LiveTrack を終了します。

-  この項目は、Garmin Connect™ Mobile (159ページ) で LiveTrack を実行中のみ表示されます。



「設定」



「Bluetooth」



LiveTrack





「設定」



「トーン」



トーン設定画面

●音を出す/消す

【キー音】

- [オン] : 本体から操作音やアラーム等、設定した全ての音が鳴ります。
- [オフ] : 全ての音が無効(消音)になります。

●メッセージ音を設定する

【メッセージ音】

- メッセージ表示時の確認音を設定できます。
- [トーン1]～[トーン19] : お好みのメッセージ音を選択できます。
- [オフ] : 全てのメッセージ音が無効(消音)になります。

●ボタン操作音を設定する

【キー操作音】

- ボタン操作音の設定ができます。
- [トーン1]～[トーン7] : お好みのボタン操作音を選択できます。
- [オフ] : 全てのボタン操作音が無効(消音)になります。

●転換点通知音を設定する

【転換点警告音】

- 転換点に近づいた際に鳴る通知音の設定ができます。
- [初期転換点警告] : 転換点に近づいた際のお知らせ音を選択します。
- [最終転換点警告] : 転換点に到着した際のお知らせ音を選択します。
- [トーン1]～[トーン19] または [オフ] から選択します。

## トーン設定

メインメニュー画面 → 「設定」 → 「トーン」

### ● 近接アラートを設定する

#### 【近接アラート】

近接アラートに関する設定ができます。

[近接アラート] : 設定した全ての近接アラートが鳴ります。

[オン] または [オフ] から選択します。

[近接ポイント警告音] : ポイントに近づいた際の音を選択します。\*

[近接ポイント到着音] : ポイントに到着した際の音を選択します。\*

[近接ポイント離脱音] : ポイントを離れる際の音を選択します。\*

[スピードアラート音] : スピードアラートの警告音を選択します。\*

※ [トーン1]～[トーン19] または [オフ] から選択します。



「トーン」



トーン設定画面



近接アラート  
設定画面



「設定」



「地図」



地図設定画面

● 地図の表示方法を設定する

【地図表示】

地図画面の表示方法を変更できます。

[ノースアップ] : 地図画面上方が常に北になるよう表示されます。

[トラックアップ] : 進行方向が常に地図画面上方になるよう表示されます。設定縮尺よりもズームアウトした場合、自動的にノースアップに切り替わります。[オフ]の場合は常にトラックアップ表示になります。

[自動車モード] : 進行方向が常に地図画面上方になり、車両を中心として少し上空から見たような図で表示されます。

● 地図画面に表示する情報量を変更する

【案内テキスト】

地図ページに表示される文字案内の設定を変更できます。

[表示しない] : 文字案内は表示されません。

[ナビ中のみ表示] : 文字案内がナビゲーション中のみ表示されます。

[常に表示] : 文字案内が常に表示されます。

● 地図画面のデータ項目表示を設定する

【データ項目表示】

地図画面上部にデータ項目(トリップ情報)を表示できます。

[0] : データ項目は表示されません。

[1項目(大)] [2項目(小)] [4項目(小)] : 選択した数のデータ項目が表示されます。

[ダッシュボード] : ダッシュボードを表示します。

[レクリエーション] [自動車] [ストップウォッチ] [コンパス]

[ジオキャッシュ] [ジオキャッシュ 詳細] [高度]

[カスタム] : [ナビ中以外の表示]と[ナビ中のみ表示]で、表示パターンを分けて設定することができます。

## 地図設定

メインメニュー画面 → 「設定」 → 「地図」

### ● 地図表示に関する詳細設定をする

#### 【詳細設定】

**【自動ズーム】** : ナビゲーション時にカーブで縮尺を自動変更する機能です。

[オン][オフ] で切り替えます。

**【ズームレベル】\*** : 地図画面に表示される位置情報や道路等の情報を項目別に設定した縮尺以下から表示するよう設定します。

[オフ][自動][5m]~[800km] から選択します。

**【文字サイズ】\*** : 地図画面に表示される文字の大きさを項目別に設定します。

[なし][小][中][大] から選択します。

**【詳細度】** : 地図上に表示される情報量を変更できます。

[最高][高][標準][低][最低] から選択します。

※情報量が増えると地図描画に時間がかかったり、画面が見づらくなる場合があります。また、バッテリー消費が増加します。

**【地形陰影】** : 地図の陰影表示を設定します。

[可能な場合表示][表示しない][自動] から選択します。

(※) 設定可能項目 [位置情報] : 地図情報に格納されている位置情報。

[ポイント] : ユーザーが登録したウェイポイント。

[ジオキャッシュ] : ジオキャッシュ情報。(「ズームレベル」でのみ表示される項目です)

[道路名称] : 国道や県道などの道路名称。

[ランドカバー] : 地図情報に格納されているアイコン位置情報。

[コースタイム] : 右方向・左方向へのコースの参考所要時間。

(「文字サイズ」でのみ表示される項目です)

※ [コースタイム] は、日本登山地形図 TOPO10MPlus V3に格納されているデータです。



「地図」



地図設定画面



詳細地図  
設定画面

### ● 地図情報を切り替える

#### 【地図情報】

デバイスが認識している地図の名称が表示されます。

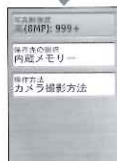
[有効][無効] を切り替えて表示する地図を選択します。



「設定」



「カメラ」



カメラ設定画面

● 写真解像度を設定する

【写真解像度】

[ 8MP ] : 高解像度(8メガピクセル)で撮影します。

[ 5MP ] : 標準(5メガピクセル)で撮影します。

[ 3MP ] : 低解像度(3メガピクセル)で撮影します。

※解像度の横には、撮影可能枚数が表示されます。空き容量により表示枚数が異なります。

● 写真の保存先を選択する

【保存先の選択】

[内蔵メモリー] : 撮影した写真を内蔵メモリーに保存します。

[microSDカード] : 撮影した写真をmicroSDカードに保存します。

microSDカードが格納されていない時は、内蔵メモリーに保存されます。

● カメラの操作方法を確認する

【操作方法】

写真撮影の操作方法が表示されます。

# リセット

メインメニュー画面 → 「設定」 → 「リセット」

## ●トリップデータを消去する

### 【TPデータ消去】

すべてのトリップデータを消去します。  
確認画面表示後【はい】を選択します。

## ●全てのポイントを消去する

### 【全ポイント消去】

登録したポイントのメモリー使用量がパーセンテージで表示されます。  
登録した全てのポイントを消去するには、確認画面表示後【はい】を選択します。

## ●現在の軌跡を消去する

### 【現在の軌跡消去】

記録された軌跡のメモリー使用量がパーセンテージで表示されます。  
軌跡を削除するには、確認画面表示後【はい】を選択します。

## ●軌跡とトリップデータを消去する


### 【軌跡とトリップデータを消去】

現在の軌跡とトリップデータを一括で消去します。  
確認画面表示後【はい】を選択します。

## ●全ての設定をリセットする

### 【全設定リセット】

すべての設定を初期化(工場出荷状態)に戻します。  
確認画面表示後【はい】を選択します。

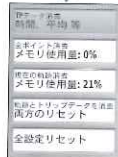
 消去したデータを復元することはできませんのでご注意ください。



「設定」



「リセット」



リセット画面



「設定」



「軌跡」



軌跡設定画面

● 軌跡を表示/非表示に設定する

【軌跡ログ】

【記録しない】：軌跡の記録を行いません。

【記録して表示しない】：地図上に表示せず記録します。

【記録して表示する】：軌跡を記録して地図上に表示します。

● 軌跡の記録方法を設定する

【記録方法】

【距離】：記録する間隔を距離で設定します。

【時間】：記録する間隔を時間で設定します。

【自動】：間隔を自動調整して記録します。※アルゴリズム非公開

● 軌跡記録間隔を設定する

【記録間隔】

【記録方法】で選択した単位に合わせて記録間隔を設定します。

【距離】または【時間】に設定している場合は数値を入力します。

【自動】に設定している場合は【最高】[高]【標準】[低]【最低】から選択。

● 軌跡を自動で保存するタイミングを設定する

【自動保存】

現在の軌跡を自動で保存する方法を設定します。

【容量満了時】[毎日]【週】から選択します。

● 軌跡の色を設定する

【色】

地図上に表示される現在の軌跡のラインの色を選択します。

## ユニット設定

メインメニュー画面 → 「設定」 → 「ユニット」

### ● 距離とスピードの単位を変更する

#### 【距離/スピード】

距離とスピードの単位を設定します。

[海里 (nm, kt, ft)] [海里 (nm, kt, m)] [マイル/フィート] [メートル] [ヤード] から選択します。

### ● 高度と昇降速度の単位を変更する

#### 【高度(昇降速度)】

高度と昇降速度の単位を設定します。

[フィート (ft/min)] [フィート (ft/hr)] [メートル (m/min)] [メートル (m/sec)] [メートル (m/hr)] から選択します。

### ● 深度の単位を変更する

#### 【深度】

深度の単位を設定します。

[フィート] [ファゾム] [メートル] から選択します。

### ● 温度の単位を変更する

#### 【気温】

温度の単位を設定します。

[摂氏] [華氏] から選択します。

### ● 気圧の単位を変更する

#### 【気圧】

気圧の単位を設定します。

[インチ (Hg)] [ミリメートル (Hg)] [ミリバール] [ヘクトパスカル] から選択します。



「設定」



「ユニット」



ユニット設定画面





「設定」



「ショートカット」



設定画面

### ● ショートカットページを一括設定する

ショートカットに登録するページを一括で設定します。

メニュー → [最少表示] / [最多表示] → 実行

### ● ショートカット機能をオフまたは表示速度を変更する

ショートカットを非表示の設定または利用時に、ショートカットメニューから登録済みのページを選択してから、そのページが表示されるまでの速度を設定します。

メニュー → [ショートカット設定] → 実行 → [オフ] / [ゆっくり] / [速い] → 実行



※ [オフ] に設定すると、ショートカット切り替え時にショートカットメニュー(左枠参照)は表示されません。

戻る / [ページ] ボタンを押す度にショートカット登録順にページが遷移します。

### ● ショートカットにページを追加する

ショートカットに表示するページを追加します。

[ページ追加] → 実行 → 追加するページ選択 → 実行

### ● ページを移動する

ショートカットに表示されるページの順序を入れ替えます。

移動するページを選択 → 実行 → [移動] → 実行 → 移動先を選択 → 実行

### 《その他の項目》

[挿入] : 選択したページの前にページを追加します。

[削除] : 選択したページをショートカットから削除します。

## 位置フォーマット設定

メインメニュー画面 → 「設定」 → 「位置フォーマット」

### ● 位置フォーマットを変更する

#### 【位置】

位置フォーマットを設定します。

日本における一般的な位置フォーマットは [hddd°mm'ss.ss"] です。(初期設定)  
変更する場合は40種類以上の位置フォーマットから選択可能です。

### ● 測地系を変更する

#### 【測地系】

測地系(地球上の緯度経度を表すための基準)を設定します。

初期設定は日本の測量法により使用が定められている[WGS 84(世界測地系)]  
です。

変更する場合は100種類以上の測地系から選択可能です。

[User] を選択した場合は、選択後にグリッド設計を行うことができます。

[None] [User] を選択した場合は、スフェロイド設定を行うことができます。

### ● スフェロイドを変更する

#### 【スフェロイド】

スフェロイドは測地系同様に、地球上の位置を表すための基準です。

【測地系】設定を [None] または [User] を選択した場合に設定が可能です。



「設定」



「位置フォーマット」



位置フォーマット  
設定画面



「設定」



「時刻」



時刻設定画面

●時間の表示方法を変更する

【時間表示】

時間の表示方法を設定します。

[12時間]：AM(午前)/PM(午後)を用いた12時間制で表示します。

[24時間]：24時間制で表示します。

●タイムゾーンを変更する

【タイムゾーン】

タイムゾーンを変更します。[自動]を選択した場合は、GPSの捕捉によって現在地の国を特定し自動的に時間が表示されます。(初期設定)

●サマータイムを設定する

【サマータイム】

【タイムゾーン】で[自動]以外を設定している場合に表示されます。

サマータイムを時間が導入されている地域でご使用になる場合は、[はい]か[自動]を選択してください。

※[自動]は、選択したタイムゾーンによっては表示されない場合があります。

## 高度設定

メインメニュー画面 → 「設定」 → 「高度」



「設定」



「高度」



高度設定画面

### ● 高度の自動校正設定をする

#### 【自動校正】

高度の自動校正をオンに設定すると、GPSにより求められた高度によって不定期に校正されます。[オン] [オフ] から選択します。

### ● 気圧モードを設定する

#### 【大気圧モード】

気圧データの表示モード設定を行います。

[可変]：気圧高度計により、高度が算出されます。(移動時に推奨)

[固定]：衛星測位結果を基に高度が算出されます。(静止時に推奨)

### ● 気圧記録方法を設定する

#### 【気圧推移記録】

気圧データの記録方法を設定します。

[起動時に記録]：電源オンの状態のときのみ記録されます。

[常時記録]：電源オフの状態でも常時記録します。

### ● 高度データの表示方法を設定する

#### 【プロットタイプ】

高度ページに表示されるデータタイプを選択します。

[高度/時間]：時間毎の高度変化を表示します。

[高度/距離]：距離毎の高度変化を表示します。

[校正気圧]：時間毎の校正気圧の変化を表示します。

[大気圧]：時間毎の大気圧の変化を表示します。

### ● 正しい高度を表示する

#### 【高度校正】

正確な高度を表示させるために、高度校正を行います。

校正方法は31ページをご覧ください。



「設定」



「方位基準」



方位基準設定画面

## ● 方位の表示方法を変更する

### 【移動方向】

移動方向の表示方法を設定します。

[文字方位] : 東西南北で示します。

[度] : 0-359度で示します。(北0° 東90° 南180° 西270°)

[ミル] : 軍用角度です。角度の単位ラジアンの約1/1000です。  
(360度は2πラジアン)

## ● 方位基準を変更する

### 【方位基準】

方位の選択をします。

[真北] : 北極点の方向を北として指し示します。

[磁北] : 磁針が指し示す方向を本機の北と定めます。磁北偏差を考慮していますので、関東地方では西に約7度偏差します。

[グリッド] : 北極圏付近を飛行する際に用いられるグリッド航法で使用されるグリッドノースを基準とします。

[ユーザー] : 磁針偏差を人力して北の方向を手動で設定します。

## ● コンパスの表示方法を変更する

### 【コンパス表示】

コンパスページに表示されるコンパスの表示方法を変更します。

[方位(大)(小)] : 進むべき方位を示す矢印の大きさを選択できます。

[コース] : コースラインを利用する際に選択します。コースポインターに関しては、164ページをご覧ください。

## 方位基準設定

メインメニュー画面 → 「設定」 → 「方位基準」

### ●電子コンパスの切り替え設定をする

#### 【電子コンパス】

[自動]：電子コンパスとGPS方位を以下の設定で自動で切り替えます。

[電子コンパス復帰速度]：復帰速度を入力します。

[復帰速度持続時間]：復帰速度以下での移動が本設定の時間を経過した場合、GPS方位から電子コンパス方位に切り替わります。

[オフ]：電子コンパスを利用しません。



「方位基準」



「コンパス校正」



コンパス校正画面

### ●正しい方位を表示する

#### 【コンパス校正】

電子コンパス使用時に正確な方位を表示させるために、コンパス校正を行います。校正方法は25ページをご覧ください。

● アクティビティを選択する

【アクティビティ】

用途に合わせたアクティビティを選択します。

[直行] [自動車] [バイク] [自転車] [サイクリングツアー] [徒歩] [ATV/オフロード] [登山]

[毎回選択] を選択した場合、ナビゲーション開始の度に上記アクティビティから選択します。

● ルート探索方法を選択する

【ルート探索方法】

[時間優先]：目的地までの行程を到着時間を優先してルート探索します。

[距離優先]：目的地までの行程の距離が短いルートを探します。

[一般道優先]：一般道を優先としたルートを探します。

[有料道優先]：有料道路(高速道路)を優先としたルートを探します。

[標高差優先]：高度上昇を最小に抑えたルートを探します。(現在、一部海外地図データでのみ対応する機能となります。)

[毎回選択]：ナビゲーション開始の際に上記ルート探索方法から選択します。

【アクティビティ】：選択したアクティビティに設定されているルート探索方法に準じます。この項目は【アクティビティ】を[毎回選択]に設定した時のみ表示されます。

※選択したアクティビティによって表示される項目は異なります。

アクティビティで[直行] 選択時は、【ルート探索方法】項目は表示されません。

● 位置情報を道路に合わせる

【マップマッチ】

[はい] を選択すると、地図上の至近道路に現在地を位置づけます。



「設定」



「ルート探索」



ルート設定画面

設定

## ルート探索設定

メインメニュー画面 → 「設定」 → 「ルート探索」



ルート設定画面



「回避」



回避設定画面

### ●次ポイントへ移行(案内)する方法を選択する

#### 【次ポイント】

直行ナビゲーション時、経由地に着いた際に次ポイントへ移行する方法を選択します。

【自動】：自動的に次のポイントへ切り替えます。

【手動】：手動(利用者の指示)により、ポイント切り替えを行います。

【距離】：距離単位と半径を設定します。設定した半径内に入ると次のポイントへ切り替えます。

※この項目は【アクティビティ】で「直行」選択時のみ表示される項目です。

### ●回避したい道路を設定する

#### 【回避】

ルート探索時に回避したい道路や走行条件を設定します。

【Uターン】[有料道路][高速/有料道路][国道][未舗装道路][カーブール(US)]

【フェリー】[狭い山道]

上記項目を選択すると、✓が付きます。チェックした項目が回避されます。

(一部項目は海外地図のみ対応)

※表示される項目は【アクティビティ】で選択したアクティビティによって異なります。

### ●ルート再計算を設定する

#### 【ルート再計算】

ナビゲーション実行中、ルートから外れた場合、外れた地点から目的地までのルートを再計算する設定をします。

【毎回選択】：ルートから外れた際に再計算をするかの確認画面が表示されます。

【自動】：ルートから外れた際に自動で再計算します。

【オフ】：再計算を行いません。

※この項目は【アクティビティ】が「直行」の場合は表示されません。



## ● ジョキャッシングの表示方法を設定する

### 【表示設定】

ジオキャッシング機能使用時の表示方法を設定します。

[リスト]：ジオキャッシング一覧の表示方法を [名前表示] [コード表示] から選択します。

[スタイル]：ジオキャッシングデータの表示スタイルを選択します。

[自動]：OpenCaching.com様式と従来のジオキャッシング様式のいずれかが取得したデータ元を基準に自動で表示されます。

[OpenCaching.com]：OpenCaching.com様式で表示されます。

[Traditional]：従来のジオキャッシング様式で表示されます。

## ● 発見したジオキャッシングの数を確認する

### 【ジオキャッシング発見数】

発見したジオキャッシング数が表示されます。ジオキャッシング発見数は手動で変更することができます。

## ● 絞り込み検索の設定をする

### 【絞り込み設定】

絞り込み検索で素早く検索できるように、予め条件を選択して保存することができます。

[条件選択]：新規の絞り込み条件を作成します。

[検索条件]：既に保存された絞り込み条件が一覧で表示されます。

選択すると検索条件の編集が行えます。

[条件編集]：絞り込み条件を変更します。

[名前編集]：検索条件名を編集します。

[上方向へ][下方向へ]：複数作成している場合、並び替えができます。

[消去]：検索条件を一件消去します。



「設定」



「ジオキャッシング」



ジオキャッシング  
設定画面

## ジオキャッシュ設定

メインメニュー画面 → 「設定」 → 「ジオキャッシュ」



「ジオキャッシュ」



ジオキャッシュ  
設定画面



chirp™設定画面

### ● ジオキャッシュのスタートページを設定する

#### 【スタートページ】

ジオキャッシュ検索を開始した際に、最初に表示するページを[地図]または[コンパス]から選択します。

### ● chirp™検索をオンにする

#### 【chirp™設定】

[chirp™検索]を[オン]に設定するとchirp™検索が開始されます。chirp™情報を取得すると[chirp™プログラム](下記参照)からchirp™の詳細が確認できます。

### ● 検索したchirp™情報を確認/編集する

#### 【chirp™設定】

[chirp™プログラム]を選択すると、近くのchirp™との通信が確立後、取得したchirp™名が表示されます。chirp™オーナーの場合には、詳細情報や位置情報の確認、chirp™情報の編集などが可能です。

[chirp™の詳細表示]: 取得したchirp™情報の詳細を確認します。

[ウェイポイント送信]: 登録済みポイントの位置情報をchirp™に転送します。

[ジオキャッシュ送信]: 登録済みジオキャッシュの位置情報をchirp™に転送します。

[名前編集]: chirp™名を編集します。(日本語人力不可)

[メッセージ編集]: chirp™情報を編集します。ヒントなどのコメントが入力可能です。

[消去]: chirp™情報を消去します。

※他のデバイスでプログラムされたchirp™プログラムの編集をするには、オーナーユニットIDの下5桁を入力する必要があります。



「設定」



「ANTセンサー」



ANTセンサー  
設定画面

各センサーを検索中には[検索中]と表示され、検索終了後接続が完了すると[接続中]と表示されます。

### ●心拍計を接続する

#### 【心拍計】

心拍計の接続設定を行います。

[オン]：ペアリング済みの心拍計に自動で接続します。[オフ]：接続しません。

[スキャン]：他の心拍計を検索します。

### ●スピードセンサーを接続する

#### 【スピードセンサー】

センサーの接続設定を行います。[オン][オフ][スキャン]から選択します。

[ホイールサイズ]を[自動][手動]から選択します。ppページをご覧ください。

### ●ケイデンスセンサーを接続する

#### 【ケイデンスセンサー】

センサーの接続設定を行います。[オン][オフ][スキャン]から選択します。

### ●スピード/ケイデンスセンサーを接続する

#### 【スピード/ケイデンスセンサー】

センサーの接続設定を行います。[オン][オフ][スキャン]から選択します。

[ホイールサイズ]を[自動][手動]から選択します。ppページをご覧ください。

### ●温度計を接続する

#### 【温度計】

温度計の接続設定を行います。[オン][オフ][スキャン]から選択します。



・センサー検索中は、ペアリングするセンサーとデバイスを3m以内に近づけ、他のセンサーとデバイスは10m以上離してください。

・センサーを接続(検索)しない場合は、設定を[オフ]にしてください。設定が[オン]のままだと、バッテリーの消費が早まる場合があります。

**i** マリン機能のご利用には、海域情報が収録された別売の地図製品が必要です。

### ●海の表示色を変更する

#### 【マリンモード】

地図上の海の表示色を [オフ] [航海] [釣り] から選択します。

### ●航海時の地図の設定をする

#### 【表示設定】

[地点測深値] : 海上に地点測深値情報を表示します。

[オン] [オフ] から選択。

[ライトセクター] : 灯台が灯りを照らす範囲を円で表示します。

[オン] [オフ] [自動] から選択。

[記号設定] : 選択した方法でBlue Chartの記号情報が表示されます。

[NOAA] [インターナショナル] から選択。

[セーフティシェーディング] : 方位を手動で設定する場合に選択します。

[自動] [手動] から選択。

### ●マリンアラームを設定する

#### 【マリンアラーム設定】

[アンカー移動アラーム] : ドリフト距離の入力を行い、設定した距離を超えるとアラームが鳴ります。[オン] [オフ] から選択。

[オフコース] : コース圏内距離の入力を行い、設定した距離以上離れるとアラームが鳴ります。[オン] [オフ] から選択。

[深水] : 深水の入力を行い、設定した水深(深度)を超えるとアラームが鳴ります。

[浅水] : 浅水の入力を行い、設定した水深(深度)以下になるとアラームが鳴ります。

※ [深水] [浅水] アラームの利用には、NMEA 0183対応デバイスに接続して水深データを取得する必要があります。



「設定」



「マリン」



マリン設定画面

●プロフィールを作成する

【プロフィール作成】

[プロフィール作成] を選択すると、現在使用している設定をプロフィールとして保存します。

●プロフィールの表示順を変更する

一覧で表示されるプロフィールの順番を変更できます。

順序を変更したいプロフィールを選択します。

[上方向へ] [下方向へ] から選択して順序を入れ替えます。

●プロフィール名を変更する

プロフィールの名称を変更します。

名称を変更したいプロフィールを選択します。

[名前編集] を選択するとプロフィールの名称を変更できます。

文字入力方法はページをご覧ください。

●プロフィールを削除する

一覧からプロフィールを削除します。

削除したいプロフィールを選択します。

[消去] を選択するとプロフィールが消去されます。



「設定」



「プロフィール」



プロフィール  
設定画面

## その他

メインメニュー画面 → 「設定」 → 「その他」

### ●ソフトウェアバージョンを確認する

「その他」画面では以下の内容をご確認いただけます。  
[ソフトウェアバージョン] [ユニットID] [技適マーク] 等



「設定」



「その他」



その他画面

技適マーク



ソフトウェアバージョン

※画面は開発中のものです。

## 衛星信号について

### GPS

GPSとは、Global Positioning System (グローバルポジショニングシステム) の略です。24機(以上)の衛星群(高度約20,000km、地球を1日2周)で構成されています。

GPSは、アメリカ国防総省で開発・運用されているシステムで、人工衛星から発信されている電波を受信することにより、世界中の何処にいても現在地を測定できるシステムです。基本的に軍事目的のシステムですが、民間へも開放されています。

現在地の測位は、衛星から送られてくる軌道情報や、原子時計による正確な時刻データを受信して衛星の電波が受信機に届くまでの時間を計ることによって行われます。

位置精度は、天気によって左右されませんが、衛星の配置状態や受信状態、周囲の状況(地形や障害物等)により異なります。良好であれば、水平方向でおよそ10m未満の誤差で測位ができます。

GPSの衛星信号は、上空が開けていない場所(森林の中やビル街)では測位できないか、測位しても大きな誤差を生じることがございます。

現在地を示して、ナビゲーションを開始するには、最低4個以上の衛星を捕捉している必要があります。

いかに早く衛星を捕捉できるかについては、上空の視界が大きく影響します。

GPS信号は、岩石、建物、人間、金属、厚い木板(屋根や遮断物)を通りませんので、障害物のない視界の良い環境にてご使用ください。

初めてご使用になる場合は、現在地の測位に15分以上かかることがあります。2回目以降は数分で測位が完了します。しかし、前回使用した地点から離れた場所で起動した場合は、測位が完了するまで15分以上かかることがあります。

## GLONASS

GLONASSは、Global Navigation Satellite System(グローバルナビゲーションサテライトシステム)の略です。

GPSと同じく、24機(以上)の衛星群(高度約20,000km、地球を約11時間15分で1周)によって運営されています。

現在はGPSと併用して使用することで、より正確な位置情報が確認できます。

GLONASSはソビエト連邦の際に開発され、現在はロシアが開発及び運用を行っているもので、人口衛星から発信されている電波を受信する事により、世界中の何処にいても現在地を測定できるシステムです。

GPSMAP 64scJ はGPS信号と併せ、このGLONASSの信号を補完として受信する機能を備えているため、溪谷やビル街でも測位し易くなり、測位に必要な時間も約20%早くなります。しかしながら、GLONASSを受信する事により、GPS単独使用時に比べバッテリーの消費が増えますので、その点注意が必要です。

## みちびき

みちびきとは、GPSを補強・補完する目的で日本が整備している日本版のGPSです。準天頂衛星システム(Quasi-Zenith Satellite System, QZSS)とも呼ばれ、主に日本地域向けに利用可能とする地域航法衛星システムです。2019年内に4機体制による運用が整備される事が閣議決定されています。

## MSAS/WAAS

専用の静止衛星からの補正データを利用した高精度の測位システムです。WAASとは、Wide Area Augmentation System (広域補強システム)の略です。MSASとは、Multi-Functional Transport Satellite (衛星補強システム)の略です。GPS単独測位に比べて精度が向上します。

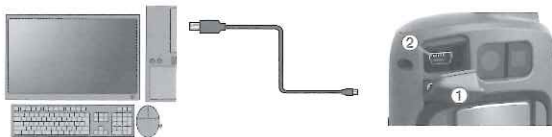


## GPSMAP 64scJ と PC の接続

付属の USB 接続ケーブルを使用することで、PC との接続が可能です。  
PC と接続することによって、GPSMAP 64scJ 内のデータ「ポイント」「ルート」「軌跡ログ」「画像」の各データを送受信できます。

### GPSMAP 64scJ と PC を付属の USB ケーブルで接続する

- 1 GPSMAP 64scJ 背面上部の防水カバー①を開きます。
- 2 付属の USB ケーブルの miniUSB 側を、GPSMAP 64scJ の USB 接続口②へ差し込みます。
- 3 PC の USB 接続口へ、付属の USB ケーブルをもう一方の先端を差し込みます。



- 4 GPSMAP 64scJ 本体の画面が大容量記録モード(下記右図)になっているかを確認します。  
GPSMAP 64scJ 本体のインターフェースが「Garmin Spanner」の場合は、確認メッセージ表示後に「はい」を選択して、大容量モードに設定してください。(下記左図)



インターフェース設定 106 ページ参照

インターフェースが「Garmin Spanner」の場合のみ確認メッセージ(左図)が表示されます。その他インターフェースの場合は、自動で大容量記憶モードに移行します。

【大容量記録モード】



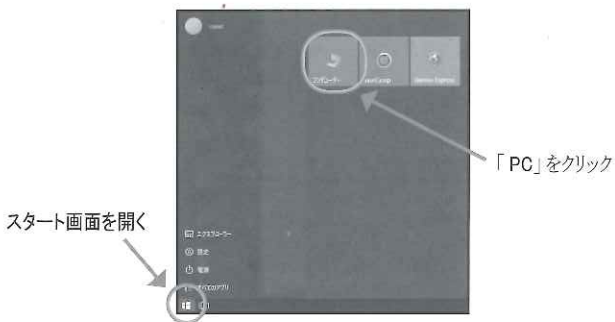
## データ管理

GPSMAP 64scJ は、PC と接続する事により本体内部データの管理ができます。

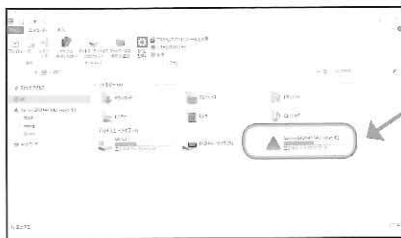
- ① 本項の説明は、Windows10を使用して作成しています。ご使用のOSにより操作が異なる場合があります。
- ② GPSMAP64scJは、Windows® 95, 98, Me, Windows NT® とMac® OS 10.3 以前のバージョンには対応していません。

### GPSMAP 64scJ 内蔵メモリ内データを PC で確認

- ① GPSMAP 64scJ 本体と PC を付属の USB ケーブルを使って接続し、大容量記録モードにします。(前ページ参照)
- ② PC 上の「スタート画面」等から、「コンピューター」または「PC」をクリックします。

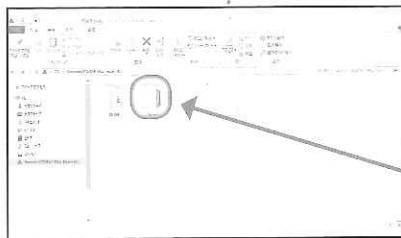


③ 「Garmin GPSMAP 64scJ」ドライブを開きます。



④ 「GARMIN」フォルダを開きます。

「GARMIN」フォルダ内部のデータ詳細については次ページをご覧ください。



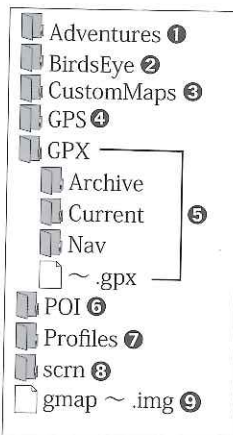
「DCIM」フォルダには、カメラ機能で撮影した画像データが格納されています。

## Garmin フォルダ内部データ

「Garmin」フォルダには、GPSMAP 64scJ 本体に登録したウェイポイントや軌跡などのユーザーデータや、地図データなどが格納されています。

### 注意

デバイスのメモリー内には、重要なシステムファイルが保存されています。それらのファイルを消去してしまった場合、デバイスが起動できなくなるおそれがあります。



- ① アドベンチャーデータを格納 (BaseCamp から転送している場合)
- ② BirdsEye データを格納 (BaseCamp から転送している場合)
- ③ ユーザー作成のデータ (カスタムマップやアイコン)などを格納
- ④ GPS の衛星の位置に関する情報を格納
- ⑤ 軌跡・ポイント・ルートなど登録または取得したデータを格納  
「Current」には現在の軌跡を格納  
「Archive」にはアーカイブ済の軌跡を格納  
「Nav」には自身で作成したデータを格納
- ⑥ カスタム POI データを格納 (POI データを転送している場合)
- ⑦ GPSMAP 64scJ 本体で設定したプロフィールデータを格納
- ⑧ スクリーンショットを保存
- ⑨ 各種地図データ  
GPSMAP 64scJ に格納 (転送) 済み地図データ

※地図データを削除すると、GPSMAP 64scJ 本体で地図が表示されなくなりますのでご注意ください。

※フォルダ構成はバージョンやロットにより一部異なる場合があります。

## ベースキャンプ（BaseCamp）

ベースキャンプ（BaseCamp）はポイント、ルート、軌跡などのデータを管理、表示、作成する事ができ、GPS デバイスとの間でそれらのデータの送受信をするためのソフトウェアです。

### ベースキャンプをダウンロード

Garmin社の日本向けウェブサイト(<http://www.garmin.co.jp/>)にて無料で公開されているBaseCampをダウンロード・インストールすることができます。  
詳しくは当ウェブサイトのサポート>ソフトウェアダウンロードページをご覧ください。

### 動作環境

- ・ Windows Vista SP2 以降
- ・ .NET framework 4.6 以上必須
- ・ Windows Media Player Ver.11 以上
- ・ メモリー： 1GB 以上
- ・ HDD： 5GB 以上の空き容量
- ・ モニター： カラー24 ビット以上、1024 x 768 ドット以上
- ・ インターネット接続環境(一部機能において必要)

ソフトウェア更新等により動作環境の要件が変更となる場合があります。

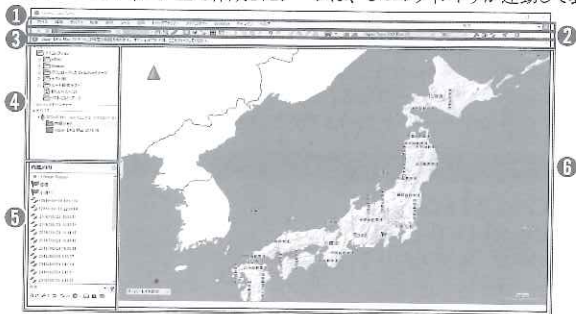
### ベースキャンプでの名称

GPSMAP 64scJ で表示される名称と、ベースキャンプソフトウェア及び本マニュアルで記述されている名称が異なるものがあります。記述の違いに関しましては以下の対比表をご参照ください。

GPSMAP 64scJ	ベースキャンプ
ポイント	ウェイポイント
軌跡	トラック

## ベースキャンプ画面

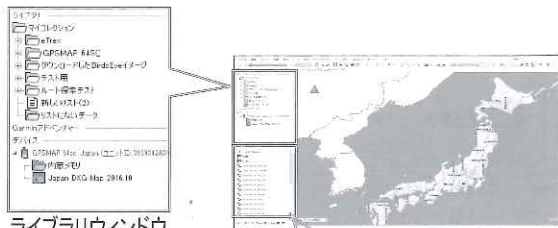
ベースキャンプは、メニューとツールバーで主な操作を行います。また、GPSMAP 64scJに登録されているデータやベースキャンプ上で作成したデータは、3つのウィンドウが連動して表示します。



- ① **メニュー**：12のメニューでベースキャンプの操作を行います。
- ② **ツールバー**：メニューで主に使用するツールをアイコンで表示します。各ツールバーは「表示」メニューの「ツールバー」を選択し、サブカテゴリから表示または非表示にするツールバーをクリックすることで切り替えが可能です。
- ③ **メッセージ**：ベースキャンプからのお知らせが表示されます。(ある場合のみ)
- ④ **ライブラリウィンドウ**：ベースキャンプで作成したデータフォルダや接続したGPSMAP 64scJのデータフォルダを画面左上に表示します。(次ページ)
- ⑤ **データ表示ウィンドウ**：ライブラリウィンドウで選択したフォルダまたはリストのデータを、ライブラリウィンドウ下部に一覧表示します。(次ページ)
- ⑥ **地図表示ウィンドウ**：詳細地図を表示します。(145ページ)

## ライブラリとデータ表示ウィンドウ

ベースキャンプで作成したデータフォルダや接続した GPSMAP 64scJ のデータフォルダを表示します。フォルダ内には、様々なデータ（ウェイポイント、ルート、トラック）をリスト別に作成、保存することが可能です。選択したフォルダやリストに保存されるデータは、データ表示ウィンドウに一覧で表示されます。



ライブラリウィンドウ

ライブラリウィンドウで選択したフォルダやリストのデータはデータ表示ウィンドウに一覧で表示されます。




データ表示ウィンドウ


## <ライブラリウィンドウ詳細>


ライブラリウィンドウには、「ライブラリ」「Garmin アドベンチャー」「デバイス」「クラウド記憶域」項目が表示されます。各項目に表示されるデータフォルダを選択すると、保存されているデータがデータ表示ウィンドウに表示されます。表示されるデータは選択したフォルダによって異なります。




「ライブラリ」項目には、ベースキャンプで作成または保存したフォルダやリストが表示されます。


「 マイコレクション」：ベースキャンプ上でマイコレクションへ直接保存したデータ、またはマイコレクション内のフォルダに保存される全てのデータを表示します。

「 フォルダ」：フォルダ内のリストに作成されたデータを全て表示します。

「 リスト」：リストに作成されたデータを全て表示します。


「Garmin アドベンチャー」項目には、作成またはダウンロードしたアドベンチャーが表示されます。


「 説明」：アドベンチャーを検索または作成します。


「 アドベンチャー」：アドベンチャーに含まれるウェイポイント、トラック、写真がデータ表示ウィンドウに表示されます。

「デバイス」項目には、接続している GPS デバイスのデータフォルダが表示されます。

「 GPS デバイス名」：PC に接続している GPSMAP 64scj のユニット ID が表示されます。

「 メモリーカード」：GPSMAP 64scj に別売りの microSD カードが格納されている場合、microSD カードのデータを表示します。

「 内蔵メモリ」：GPSMAP 64scj に格納されているデータ（ポイント・ルート・軌跡）を表示します。

「 ユーザーデータ」：接続しているメモリーカードのデータを表示します。

「 地図製品」：格納している地図製品名が表示されます。

「クラウド記憶域」項目には、クラウドに保存したデータが表示されます。複数のデバイスからベースキャンプ上にデータを保存して管理できます。「サインイン」メニューの「my Garmin™ へのサインイン」を選択し、myGarmin ID とパスワードを入力して「ログイン」をクリックすると表示されます。




## <データ表示ウィンドウ詳細>



データ表示ウィンドウは、データ一覧とデータを検索するための検索機能が利用できます。

データの種類の一覧表示する場合には、データ表示ウィンドウの最下部に表示される「データフィルタ」で表示させたいデータの種別をアイコンから選択します。

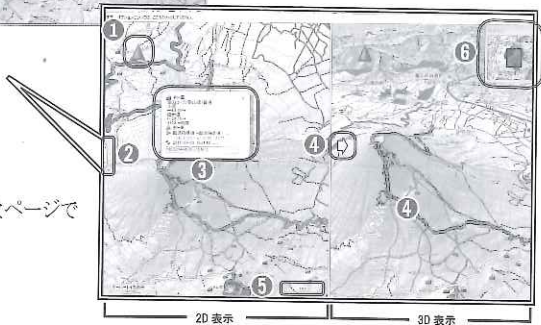
「データフィルタ」が表示されていない場合には、「検索」部分の右にある  (データフィルタを表示) をクリックします。

### データ表示ウィンドウのアイコン

	選択したフォルダまたはリストにある全てのデータ		ジオキャッシュ
	ウェイポイント		BirdsEye イメージ
	ルート		Garmin カスタム地図
	トラック (GPSMAP 64sc] の場合は軌跡)		geotag 付きの画像

## 地図表示ウィンドウ

地図表示 ウィンドウでは、インストールした地図データや GPS デバイスにインストールされている地図データを読み込んで表示します。また、地図データに格納された位置情報や、ベースキャンプや GPSMAP 64scJ に保存したデータの検索や詳細情報の確認も可能です。



地図表示の詳細は次ページで  
ご確認ください。

※ 2D/3D の表示は、「表示ツールバー」から切り替えが可能です。

## <地図表示ウィンドウ詳細>

- ① 地図方位マーク：地図上の「北」を地図表示ウィンドウ左上に矢印で表します。  
また、ポインターを合わせると地図コントロールが表示され、地図の方位を変更できます。

### 【地図コントロール】

① ピッチライダー

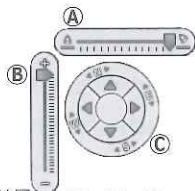
3D表示時の角度（視点）を調整します。

② ズームライダー

地図の縮尺を調整します。

③ 地図スクローラー

リング内側の矢印をクリックすると矢印の方向へ地図をスクロールします。  
リング外側の方位マーク（N/E/W/S）をクリックすると選択した方位を地図上の「上」に設定します。また、外側のリングをクリックしたまま回転すると同時に地図も回転します。



- ② 表示切り替え：地図表示ウィンドウ左枠中央にある◀▶をクリックして、地図表示ウィンドウとデータ表示ウィンドウの表示を切り替えます。
- ③ 情報バルーン：地図にポインターを合わせると施設情報や登録されているデータなどが表示されます。名称が複数ある場合には一覧で表示され、各名称をクリックすると詳細情報やウェイポイントやルートの作成、現在のルートに追加、印刷が選択できます。
- ④ 移動ポインター：ポインターを地図の枠に近づけると表示され、クリックすると矢印の方向へ地図をスクロールします。
- ⑤ 縮尺：地図の縮尺が表示されます。
- ⑥ 概要地図：地図の視点が表示されます。

## データの送受信

GPSMAP 64scJ で取得したデータをベースキャンプ上で表示したり、ベースキャンプで作成したデータを GPSMAP 64scJ へ送信して確認できます。

### < GPSMAP 64scJ のデータを表示 >

ベースキャンプ上で GPSMAP 64scJ 内のデータまたは、GPSMAP 64scJ に挿入されている microSD カードなどのメモリーカード内データを確認します。

- 1 GPSMAP 64scJ と PC を接続します。
- 2 ライブラリウィンドウの「デバイス」項目でフォルダをクリックします。  
GPSMAP 64scJ 本体内のデータは「内蔵メモリ」、メモリーカード内のデータは「ユーザーデータ」フォルダをクリックします。
- 3 データ表示ウィンドウでデータを確認します。  
選択したフォルダ内に格納されるデータは、データ表示ウィンドウに一覧で表示されます。  
GPSMAP 64scJ 内のデータをベースキャンプに保存するには次ページをご覧ください。



2 フォルダをクリック

3 データ表示ウィンドウで確認

ライブラリウィンドウの詳細は 143 ページをご覧ください。  
データ表示ウィンドウの詳細は 145 ページをご覧ください。

## <データを転送>

GPSMAP 64scJ 内のデータをベースキャンプへ移動します。また、ベースキャンプで作成したデータを GPSMAP 64scJ へ送信します。

- 1 GPSMAP 64scJ と PC を接続します。  
GPSMAP 64scJ と PC の接続方法は 136 ページでご確認ください。
- 2 ライブラリウィンドウから移動させたいデータがあるフォルダをクリックします。  
GPSMAP 64scJ 内データは「デバイス」項目の「内蔵メモリ」、メモリーカード内のデータは「ユーザーデータ」フォルダをクリックします。  
ベースキャンプで作成したデータは「マイコレクション」項目のフォルダまたはリストをクリックします。
- 3 データ表示ウィンドウから移動させたいフォルダへデータをドラッグします。  
移動させたいデータをクリックしたまま、移動先のフォルダへポインターを動かしてクリックを離します。

- 4 データの転送が始まります。  
転送が始されると、移動先のフォルダ下部に緑色のバーが表示されます。バーが消えると転送が完了します。



GPSMAP 64scJ では、データ名称の表示可能文字数に制限があります。  
制限を超えた文字は GPSMAP 64scJ で表示されません。

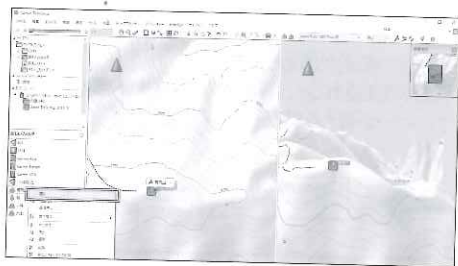
## データの詳細情報

各データ（ウェイポイント、ルート、トラック）の詳細の確認や編集が可能です。  
以下の方法から詳細情報を確認できます。

### <詳細情報の確認>

データ表示ウィンドウから各データを選択して詳細情報を確認します。

- ① ライブラリウィンドウからデータが保存されているフォルダまたはリストを選択します。
- ② データ表示ウィンドウから各データを選択して右クリックします。
- ③ 「開く」をクリックします。  
データの詳細情報が表示されます。  
表示内容については、各データの「編集」からご確認ください。




## ウェイポイントの作成

ベースキャンプ上でウェイポイントを作成します。以下の方法からウェイポイントを作成できます。

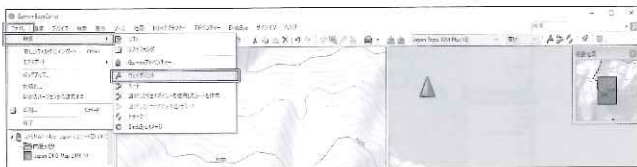
### <ウェイポイントを作成>

地図上で地点を選択してウェイポイントの作成を行います。ウェイポイントを地図上で作成するには、地図の任意の地点や施設情報を選択します。

- ① ウェイポイントを作成するリストをライブラリウィンドウから選択します。
- ② ウェイポイントを作成したい地点を地図上に表示します。  
地図表示ウィンドウを操作して、ポイントを作成したい地点を表示します。  
地図表示ウィンドウ操作の詳細は 146 ページをご覧ください。
- ③ 「描画ツールバー」から「 新しいウェイポイント」を選択します。




データ表示ツールバーが表示されていない場合には、  
「ファイル」メニュー > 「新規」 > 「ウェイポイント」を選択してください。



(次ページ)

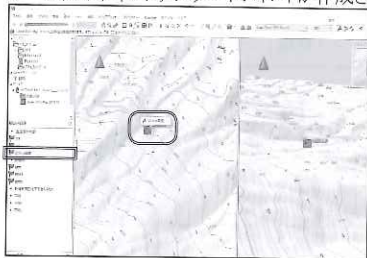
- ④ ウェイポイントを作成したい地図上の位置にポインターを合わせてクリックします。  
地図上にポインターを合わせると、情報バルーンが表示され、施設名称などが表示されます。



情報バルーンに施設情報が複数表示される場合には、登録したい施設情報の右に表示されるアイコン「」アイコンをクリックしてウェイポイント作成アイコンをクリックします。



- ⑤ ウェイポイントが追加されます。  
地図表示ウィンドウ、データ表示ウィンドウにウェイポイントが作成されます。






## ルート作成

ベースキャンプ上でルートを作成します。

### <詳細情報の確認>

地図上で地点を選択してルートを作成します。

ルートを地図上で作成するには、地図の任意の地点や施設情報を選択します。

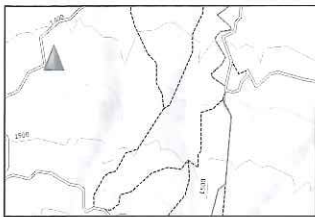
- ① ルートを作成するリストを「ライブラリ」ウィンドウから選択します。
- ② ルートを作成したい地点を地図上に表示します。  
地図表示ウィンドウを操作して、地図上に地点を表示します。  
地図表示ウィンドウについては 146 ページでご確認ください。
- ③ 「ツールバー」から「 新しいルート」を選択します。



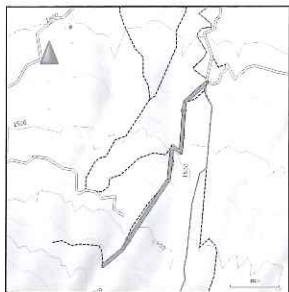
データ表示ツールバーが表示されていない場合には、  
「ファイル」メニュー > 「新規」 > 「ルート」を選択してください。



- ④ 地図上でルートの開始地点にポインターを合わせてクリックします。



- ⑤ 経由地や目的地まで、地図上の地点をクリックしてルートを作成します。



- ⑥ 右クリックでルート作成を終了します。  
作成されたルートは「開始地点名～終了地点名」で表示されます。

## バックアップ

ライブラリウインドウで作成したフォルダやリストをそのままの状態で作成し、その状態を保持したまま開くことができます。

### <バックアップ>

- ① 「ファイル」メニューから「バックアップ」をクリックします。



- ② バックアップ先を指定して「OK」をクリックします。

### <バックアップを開く>

- ① 「ファイル」メニューから「初期化」をクリックします。



- ② バックアップしたデータを選択して「開く」をクリックします。  
バックアップしたデータを開くと、現在開かれているデータは削除されます。必ず保存またはバックアップを行ってから、バックアップデータを開いてください。

## 印刷

地図表示ウィンドウに表示されている地図を印刷できます。また、データを選択して印刷を行うと、地図の他にデータの詳細情報も印刷が可能です。

### <地図を印刷>

地図表示ウィンドウに表示されている地図を印刷します。

- ① 地図表示ウィンドウを操作して印刷したい地図範囲を表示します。  
地図の操作方法は 146 ページでご確認ください。
- ② 「ファイル」メニューから「印刷」をクリックします。



- ③ 印刷画面が表示されます。
- ④ 「印刷」をクリックすると印刷を開始します。  
印刷設定画面の詳細な操作方法は、次ページからをご覧ください。

### <データを印刷>

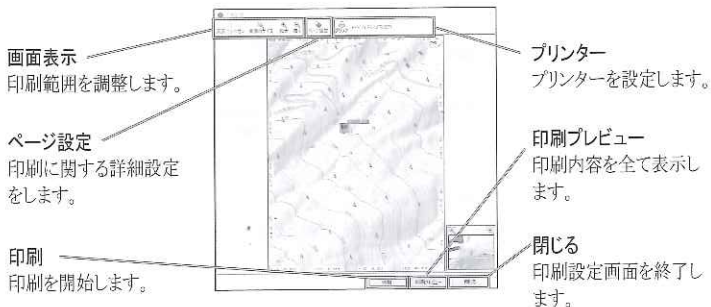
データを選択してデータの詳細を印刷します。

- ① データ表示ウィンドウから、印刷するデータをダブルクリックします。
- ② 「印刷」をクリックすると印刷設定画面が表示されます。  
印刷設定画面の詳細な操作方法は次ページからをご覧ください。

## <印刷設定>

印刷するページのレイアウトに関する設定を行います。

- ① 各操作方法から印刷したいデータを選択して印刷設定を表示します。  
印刷設定画面の表示方法は前ページからをご覧ください。



- ② 「ページ設定」をクリックします。



③ ページ設定画面が表示され、各項目を設定します。

ページレイアウト：印刷設定画面に表示される地図を分割して印刷します。

余白単位：余白の単位を選択します。

ページのオーバーラップ幅：ページレイアウトで分割を設定した際に選択可能です。地図が隣り合う部分の余白を設定します。

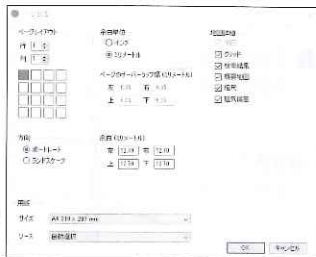
地図詳細：印刷する地図に表示する詳細情報を選択します。

方向：印刷の「縦（ポートレート）」または「横（ランドスケープ）」を設定します。

余白：印刷する地図の余白部分の幅を設定します。

ルート詳細：選択したデータの地図以外の詳細情報を印刷する場合にチェックを入れます。

用紙：用紙のサイズと給紙トレイを選択します。



④ 設定が完了したら「OK」をクリックします。



- ⑤ 印刷設定画面で「印刷プレビュー」をクリックすると印刷範囲を確認できます。



- ⑥ 印刷範囲を確認します。

「前ページ / 次ページ」アイコンをクリックして、印刷ページを確認します。

※ 印刷ページが 1 ページ（印刷範囲が地図のみ）の場合には表示されません。



- ⑦ 「印刷」をクリックすると印刷を開始します。

## ガーミンコネクトモバイル (Garmin Connect™ Mobile)

Garmin Connect™ Mobile は、スマートフォンなどのモバイル端末専用アプリです。アプリをインストールしたモバイル端末とデバイスを Bluetooth 接続※でペアリングすることで、通知機能や LiveTrack 等のアプリ連携機能が利用可能になります。

### ■ Garmin Connect Mobile™

お使いのスマートフォンなどのモバイルデバイスに対応するアプリストアでアプリのダウンロードを行ってください。使用開始方法やデバイスとのペアリング方法はインストール後のアプリの表示に従ってください。

#### 【アプリ連携機能】

・通知機能 (75 ページ)

・LiveTrack

スマートフォンなどのモバイル端末のネットワークを利用して、実行中のアクティビティデータをリアルタイムで他のユーザーに共有します。

※ペアリングするスマートフォンなどのモバイル端末が Bluetooth Smart (Bluetooth Low Energy) に対応している必要があります。



Garmin Connect™ Mobileの一部機能はGPSMAP 64scJには対応していません。



## 付属アクセサリ カラビナの装着方法

ザックなどへ簡単に取り付けられるカラビナクリップが付属しています。

### カラビナクリップを装着する:

- ① カラビナクリップを、GPSMAP 64scJ電池カバーのマウントアングル中央から、上方へスライドさせます。
- ② 「カチッ」と音がしてマウントアングルに固定されるまで上方方向にスライドさせます。
- ③ カラビナクリップを取り外す場合は、カラビナクリップの下部を持ち上げてから、下方へスライドさせてください。カラビナクリップの下部が、凹部分と噛合しているのでカラビナクリップの下部を持ち上げずにスライドしても、取り外すことはできません。



## 仕様

本体	: 全密閉ケース/耐衝撃性プラスチック、 日常生活防水(IEC 60529 IPX7 <sup>*1</sup> )
寸法	: 約16.0(高) x 6.1(幅) x 3.6(奥行) cm
重量	: 約230g (ニッケル水素バッテリーパック含む)
ディスプレイ	: 2.6インチ/65K 半透過型カラー TFT TFT方式 (160 x 240 ピクセル)
衛星測位	: 高感度チップ(GPS / GLONASS / みちびき対応)
アンテナ	: 内蔵式クアド・ヘリックス・アンテナ
コンパス	: 3Dコンパス
高度	: 気圧高度計
カメラ	: 8メガピクセル、オートフォーカス、オートジオタギング
動作温度範囲	: -20 ~ 45°C <sup>*2</sup>
充電温度範囲	: 0 ~ 40°C
転送周波数/プロトコル	: 2.4Ghz ANT+, Bluetooth4.0 (EDRおよびBLEを含む)
コンパス安全距離	: 17cm (7 in.)

\*1. 水深1mに30分間の水没に耐える。

防水性能について詳しくは[www.garmin.com/waterrating](http://www.garmin.com/waterrating)をご参照ください。

\*2. 動作温度範囲内で使用できない電池もあります。

アルカリ電池は、高温で破裂する可能性があります。

## 性能

- データ記憶寿命 : 無期限: 電源を必要としない
- 地図データ領域 : 内蔵メモリの空き容量 または microSDカード(別売)の容量に依存  
※地図情報の合計が4GB以内で、選択エリア数が 2025 以内

## 電力

- 電源 : 単3型乾電池2本 (アルカリ/ニッケル水素/リチウム/ニッケル水素  
バッテリーパック)
- 電池寿命 : 最大16時間(ニッケル水素バッテリーパック 通常使用時)

## 機能

- ポイント : 約5,000ポイント
- ルート : 200ルート (経由地 直行:250、ルート探索:50)
- 軌跡ログ : 10,000ポイント / 200本保存可能

本製品の仕様は予告なく変更される場合があります。

## POI Loader

Garmin POI Loaderを使用して、CSV(Comma Separated Value)ファイルから、カスタムPOI情報をGPSMAP 64scJ に転送できます。

データ作成時に、速度や距離等の情報を付加すると、その情報に近づいた際にアラームで知らせてくれます。データ作成方法、情報の付加方法に関しては、POI Loaderのヘルプファイルでご確認ください。「カスタムPOI」情報は、目的地検索ページで確認できます。

POI Loaderソフトウェアは、Garmin社HP(Garmin.co.jp)からダウンロードしていただくことが可能です。但し、Garmin POI Loaderはフリーソフトとして無償提供しているソフトウェアですので、その使用方法に関しまして一切のサポートを致しかねます。

カスタムPOI情報をGPSMAP 64scJ 内から削除するには、付属のUSBケーブルを使用してPCと接続し、内蔵メモリ内「Garmin\POI」フォルダー内のカスタムPOIデータを削除してください。データを削除する際は、十分にご注意ください。GPSMAP 64scJの内蔵メモリには、システムデータや地図データも格納されており、それらのデータを削除するとGPSMAP 64scJ が正常に動作しなくなったり、地図を表示できなくなります。

## 救助ナビ(MOB)

海上などの周囲に現在地を特定する目印がない場所をポイント登録すると同時に、その場所へ戻るためのナビゲーションを即座に開始する機能です。この機能は、航行中の船舶からクルーが落水した場合のレスキュー等に使用します。

電源投入後、全てのページから **検索** 長押し → [開始] → **実行** でポイント登録し、ナビゲーションを開始します。

## 電子コンパス

GPSMAP 64scJ は、電子コンパス機能が装備されています。停止している場合の衛星測位情報では方位が特定できませんが、電子コンパスを併用することにより、それが可能になります。また、紙の地図と併せて使用すれば、より効果的なナビゲーションを行うことができます。電子コンパス機能を有効にするには、125ページをご覧ください。

## コースポインター



コンパス表示を「コース」に設定した場合、コンパスリング上には出発地点と目的地または転換地点までの方位(コースライン)と、そのコースラインから外れた場合のおおよそのずれを表示します。青い三角は目的地または転換地点への方位を表します。コースラインは赤い矢印で表示され、コースラインから外れた場合には、矢印の線部分が左右にずれて表示されます。コースラインから外れたおおよその距離はコンパスリング上に表示されるドットでご確認ください。

コンパスリング右上の数値がおおよそのドット間の距離を示します。(コンパスリングに表示される点の距離基準は、目的地または経由地への距離によって変わります。)

コンパス表示の設定方法については、124ページをご覧ください。

※この機能は、ヨットレースなどで用いられます。

## 初期(工場出荷時)の設定状態に戻す

GPSMAP 64scJの設定を初期(工場出荷時)の設定に戻します。

### 全ての設定を初期(工場出荷)状態に戻す

- ① メインメニューを表示後、「設定」を選択して **実行** を押します。
- ② 「リセット」を選択して **実行** を押します。
- ③ 「全設定リセット」を選択して **実行** を押します。
- ④ 確認メッセージが表示されたら「はい」を選択して **実行** を押します。


全設定リセットを行った場合、軌跡ログ、ポイント、マップなどのデータが消去されることはありません。

GPSMAP 64scJ内部では複雑なプログラムが動作しておりますので、使用中に動作が不安定になる場合があります。動作が不安定になった場合は、上記リセットを行い、GPSMAP 64scJ を工場出荷時の状態に戻してください。

## マスターリセット

GPSMAP 64scJの設定やデータを、初期状態(工場出荷時)に戻します。

### マスターリセットする

- ① GPSMAP 64scJ の電源を切ります。
- ②  と **実行** を押しながら電源を入れます。
- ③ 電源が投入後すぐに電源ボタンのみを離します
- ④ 「全ユーザーデータを消去しますか？」と確認メッセージが表示されたら、「はい」を選択して **実行** を押します。

## データ項目

一覧表示名、[ ]内は項目表示名を表します。

**GPS 方位 [GPS 方位]** : 現在の移動方位を表示します。(GPSを使用)

**GPS 高度 [GPS 高度]** : 現在地の GPS 高度を表示します。

**位置精度 [位置精度]** : GPS の位置精度が表示されます。

**制限速度 [制限速度]** : 走行中の道路の制限速度が表示されます。(一部海外地図データでのみ対応する機能となります。)

**前回ラップタイム [前回ラップタイム]** : 前回のラップタイムを表示します。

**勾配 [勾配]** : 勾配を%で表示します。(水平方向 100m に対して垂直方向 1m の上昇が 1%の坂)

**大気圧 [大気圧]** : 校正していない現在の気圧が表示されます。

**対地高度 [対地高度]** : 地表からの高度を表示します。

**対目的地昇降速度 [昇降目的地]** : 目的地に対する土昇降高度(時間単位)が表示されます。

**対目的地滑空比 [滑空目的地]** : 現在地(高度)からの目的地に対する滑空比が表示されます。

**対経由地への角度差 [経由地角度差]** : 次の方向転換地点方向の角度を表示します。

**平均上昇率 [平均上昇率]** : 垂直方向の平均上昇率が表示されます。

**平均下降率 [平均下降率]** : 垂直方向の平均下降率が表示されます。

**平均速度 [平均速度]** : 移動中と停止中を含めた平均速度が表示されます。

**平均ラップタイム [平均ラップタイム]** : ラップの平均タイムを表示します。

**心拍 [心拍]** : 心拍数が表示されます。※要 心拍計(別売)

**日の入時刻 [日の入]** : 現在地(当日)の日の入時間が表示されます。

**日の出時刻 [日の出]** : 現在地(当日)の日の出時間が表示されます。

**日付 [日付]** : 現在地(当日)の日付

**昇降距離 [昇降距離]** : 土昇降距離が表示されます。

**昇降速度 [昇降速度]** : 土昇降速度(時間単位)が表示されます。

**時刻 [時刻]** : 現在の時刻が表示されます。衛星を捕捉していないと正しい時刻は表示されません。  
衛星を捕捉しているにもかかわらず、正しい時刻を表示しない場合は、タイムゾーンやサマータイムの設定をご確認ください。

**最低気温 [最低気温]** : 過去 24 時間以内の最低気温を表示します。※要 温度計(別売)

**最低高度 [最低高度]** : データリセット後の最低高度が表示されます。

**最大上昇率 [最大上昇率]** : 最高上昇率(距離 / 1 分間)が表示されます。

**最大下降率 [最大下降率]** : 最高下降率(距離 / 1 分間)が表示されます。

**最高気温 [最高気温]** : 過去 24 時間以内の最高気温を表示します。※要 温度計(別売)

**最高速度 [最高速度]** : データリセット後の最高速度が表示されます。

**最高高度 [最高高度]** : データリセット後の最高高度が表示されます。

**校正気圧 [校正気圧]** : 校正された現在の気圧が表示されます。

**気温 [気温]** : 現在の気温を表示します。(要 別売 温度計)

**水温 [水温]** : 水温を表示します。※要 計測用外部機器(別売)

**深度 [深度]** : 深度を表示します。※要 別売ソナー(NMEA 入力)

**滑空比 [滑空比]** : 現在の滑空比が表示されます。

**目的地への所要時間 [目的地時間]** : 目的地へ到着するまでにかかる予想時間を表示します。  
現在の速度を基に計算されるので、速度が変わると到着所要時間も変わります。

**目的地への方位 [目的地方位]** : 現在地から目的地への方向を表示します。



**目的地までの距離 [目的地距離]** : 目的地までの距離が表示されます。ルートナビを実行している場合は、現在地から目的地までの直線距離ではなく、現在地から目的地までのルート距離となります。

**目的地到着時刻 [目的地時刻]** : 目的地に到着する予定時刻が表示されます。現在の速度を基に計算されるので、速度が変わると到着時刻も変わります。

**目的地名称 [目的地名称]** : 最終目的地の名称が表示されます。

**目的地座標 [目的地座標]** : 最終目的地の緯度・経度が表示されます。

**移動平均速度 [移動平均速]** : 移動中の平均速度が表示されます。

**移動速度 [速度]** : 現在の移動速度が表示されます。表示速度の単位は、速度 (距離 / スピード) 設定に準拠します。

**積算距離 [積算距離]** : 総移動距離が表示されます。

**経路地の方位 [経路地方位]** : 次の経路地の方位を表示します。

**経路地への所要時間 [経路地時間]** : ルート上の次の転換点へ到着するまでにかかる予想時間を表示します。現在の速度を基に計算されるので、速度が変わると所要時間も変わります。最終目的地までの間に転換点が無い場合は、目的地の所要時間が表示されます。

**経路地への矢印 [方位ポインター]** : 次の目的地の方向を矢印で指し示します。

**経路地までの距離 [経路地距離]** : ルートナビを実行している場合、ルート上の次の転換点までの距離が表示されます。

**経路地到着時刻 [経路地時刻]** : 次の転換点に到着する予定時刻が表示されます。現在の速度を基に計算されるので、速度が変わると到着時刻も変わります。最終目的地までの間に転換点が無い場合は、目的地の到着時刻が表示されます。

**経由地名称 [ 経由地名称 ]** : 次の方向転換地点名が表示されます。

**経由地標高差 [ 経由地標高差 ]** : 次の経由地に対する土昇降差が表示されます。(m)

**経緯度 [ 経緯度 ]** : 現在地の緯度・経度が表示されます。

「位置」 : hddd° mm'ss.ss”

「測地系」 : WGA84 (世界測地系)

**総上昇量 [ 総上昇量 ]** : 合計の上昇率が表示されます。

**総下降量 [ 総下降量 ]** : 合計の下降率が表示されます。

**総ラップタイム [ 総ラップタイム ]** : ラップの合計時間を表示します。

**衛星受信強度 [ 衛星受信 ]** : 衛星信号の受信状態をアイコンで表示します。

**設定経緯度 [ 設定経緯度 ]** : 位置フォーマットで設定した形式で表示します。(121 ページ)

**軌跡距離 [ 軌跡距離 ]** : 現在の軌跡の合計距離が表示されます。

**進行方位 [ 進行方位 ]** : 現在移動している方向が表示されます。

表示方法は [ 設定 ] → [ 方位基準 ] の [ 移動方向 ] に準拠 (124 ページ)

**高度 [ 高度 ]** : 現在の高度 (海拔) が表示されます。

**ケイデンス [ ケイデンス ]** : クランクアームの毎分の回転数を表示します。

※要 別売ケイデンスセンサー

**コース有効速度 (VMG) [ コース有効速度 ]** : コースに沿って目的地に近づいている維持速度を表示します。

**コース目的地への方位 [ コース目的地方位 ]** : 出発地点から目的地までの方向が表示されます。

**コース逸脱距離 [ オフコース ]** : 予定のコース (右もしくは左に) を外れている場合、コースから外れている距離を表示します。

**コースラインへの方位 [コース方位]** : コースから外れていると、予定のコースに戻るために進むべき方向を表示します。

**コンパス方位 [コンパス方位]** : コンパスが示している移動方向が表示されます。

**ストップウォッチタイマー [ストップウォッチ]** : ストップウォッチが表示されます。

**トリップ (停止積算時間) [TP 停止時間]** : 累計停止時間が表示されます。本機の電源がオンで、衛星を捕捉した状態で、停止していた時間の積算です。データのリセットを行うと、リセット後からの積算結果となります。

**トリップ (移動積算時間) [TP 移動時間]** : 累計移動時間が表示されます。データのリセットを行うと、リセット後からの積算結果となります。

**トリップ (移動積算距離) [TP 積算距離]** : 累計積算距離が表示されます。データのリセットを行うと、リセット後からの積算結果となります。

**トリップ (経過時間) [TP 合計時間]** : 衛星を捕捉している状態での移動、停止を含めた行程の累計時間を表示します。(タイマー停止時間は含まれません。)

**バッテリー残量 [バッテリー]** : 電池残量が表示されます。

**ラップ数 [ラップ数]** : 現在のラップ数を表示します。

**ラップ距離 [ラップ距離]** : 現在のラップの走行距離が表示されます。

**ラップタイム [ラップタイム]** : 現在のラップタイムが表示されます。

## ダッシュボード

- レクリエーション** : 日の入りまでの時間、高度、TP 積算距離を表示します。
- 自動車** : 移動速度、進行方位、目的地までの距離、TP 積算距離を表示します。
- ストップウォッチ** : ストップウォッチ機能が利用可能です。
- データ項目小\*** : データ項目を4項目表示します。
- データ項目大\*** : 電池残量、現在時刻、衛星受信強度、データ項目を1項目表示します。
- コンパス** : コンパスを表示します。
- ジオキャッシュ** : 近隣のジオキャッシュデータ詳細、コンパスを表示します。  
(ダウンロード済みの場合)
- ジオキャッシュ 詳細** : ジオキャッシュデータ、コンパスを表示します。(ダウンロード済みの場合)
- 高度** : 高度グラフを表示します。



レクリエーション



自動車



ストップウォッチ



データ項目小



データ項目大



コンパス



ジオキャッシュ



ジオキャッシュ 詳細



高度

\*地図設定のデータ項目表示設定内〔ダッシュボード〕の一覧には表示されません。


## トラブルシューティング(USB接続)

質問	回答
PCとの接続方法がわかりません	「GPSMAP64sc」とPCの接続」(136ページ)をご覧ください。
PCがデバイスを認識しません	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付属のUSBケーブルと本機がPCに接続されているか確認してください。</li> <li>・USBハブに接続していませんか？ USBケーブルはPCのUSBポートに直接接続してください。</li> <li>・PC上のドライブが全て使用されていませんか？ PC上の別の機器で使用されているドライブを、一旦停止するか、切断してください。</li> <li>・PCの他のUSBポートへの接続をお試しください。</li> </ul>
本機に挿入しているmicroSDカードにデータを転送できません	<p>本機に挿入されているmicroSDカード(別売)がPC上でドライブとして認識されていない場合は、上記「PCがデバイスを認識しません」をご確認ください。</p> <p>空き容量が不足している可能性があります。 空き容量が不足している場合は、microSDカード内の不要なデータを消去するか、別のドライブ等へ移動してください。</p>
USBケーブルをPCから取外す際に手順はありますか？	<p>次の手順に従いPCで安全な取り外しの操作を行ってください。</p> <p>1. 次の手順を完了させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows の場合： システムトレイの「ハードウェアの安全な取外し」アイコンを選択 &gt; デバイスを選択</li> <li>・ Mac の場合： デバイスのボリュームアイコンをゴミ箱にドラッグ</li> </ul> <p>2 USBケーブルをPC のUSB 接続口から取り外します。</p>

## トラブルシューティング(ユニット)

質問	回答
正しい時刻を表示しません	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛星の捕捉が完了するまでお待ちください。</li> <li>・時刻設定が正しく設定されているかご確認ください。(122 ページ)</li> </ul>
現在地を表示しません	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛星受信モードが「デモモード」になっていませんか？ システム設定内の衛星受信モードを「標準」もしくは「GPS/GLONASS」に設定してください。(106 ページ)</li> <li>・室内、もしくは、上空に遮る物がある場所で使用していませんか？ 上空が開けていて、周囲に高い建物がない場所に移動してください。</li> </ul> <p>衛星信号の受信状況を確認するには、衛星情報ページ(67-68 ページ)をご覧ください。</p>
移動しているのに地図が動きません	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記を「現在地を表示しません」をご確認ください。</li> <li>・地図上にマップポインターが表示されている場合は、<b>戻る</b> ボタンを押して現在地周辺の地図画面に戻ってください。</li> </ul>
電源が入りません	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電池の残量がない可能性があります。新品の電池と交換（付属のニッケル水素バッテリーパックをご使用の場合は充電）してから再度お試しください。</li> <li>・電池を交換しても電源が入らない場合は故障の可能性があります。当社修理サービス窓口までお問い合わせください。</li> </ul>

## トラブルシューティング(ユニット)

質問	回答
動作が不安定になることがあります	<p>マスターリセットをお試ください。 設定は初期化されますので電源投入後は再び設定を行っていただく必要があります。登録した情報は一部消去されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源投入時に、<b>実行</b> と  を押しながら電源を投入します。</li> <li>2. 電源が投入後すぐに電源ボタンのみを離します。</li> <li>3. 「全てのユーザーデータを削除しますか？」と表示されたら、「はい」を選択して <b>実行</b> を押します。</li> </ol> <p>注意：設定は初期化され、登録した情報も一部消去されます。</p>
詳細な地図情報が表示されません (等高線・詳細道路など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図情報設定で表示したい詳細地図を有効に設定してください。(9, 115 ページ)</li> </ul>
画面が自動的に切れます	<p>節電モードが「オン」に設定されていませんか？ 節電モードに設定されている場合には、バックライト点灯時間経過後、自動的に画面が非表示になります。 常時画面を表示したい場合には、節電モードを「オフ」に設定してください。(108 ページ参照)</p>

## トラブルシューティング(ユニット)

質問	回答
<p>電子コンパスが示す方向が目的地の方向と異なっています</p>	<p>コンパスの校正を行ってください。(25 ページ参照)                      長時間使用していない場合や、電池交換を行った時には、コンパスが正常に機能しない場合があります。                      コンパス機能をご利用になる前には、コンパス校正を行うことでより正確な方位をご確認いただけます。</p>
<p>デバイスに表示される緯度経度と紙地図の緯度経度が異なっています</p>	<p>位置フォーマットと測地系を紙地図と同じ規格に切り替えてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. メインメニューから「設定」を選択して <b>実行</b> を押します</li> <li>2. 「位置フォーマット」を選択して <b>実行</b> を押します</li> <li>3. 「位置」または「測地系」を選択します</li> </ol> <p>なお、デバイスの初期設定は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・位置：hddd° mm' ss.ss"</li> <li>・測地系：WGA84 (世界測地系)</li> </ul>
<p>ANT + アクセサリー (心拍計 / スピードケイデンスセンサー / 温度センサー等) がペアリングできません</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ペアリング中は、他の ANT センサーから最低 10 m 以上離れていることを確認してください。</li> <li>2. ペアリング中はデバイスとの距離が 3 m 以内にあるか確認してください。</li> <li>3. 上記「1. ～ 2.」を行ってもペアリングができない場合は、心拍計 / ケイデンスセンサーの電池残量がない可能性があります。電池交換を行ってから再度お試しください。</li> </ol>



## デバイスのメンテナンス

### 注意

- ・化学洗剤や溶剤、防虫剤はデバイスのプラスチック部や塗装を傷めるおそれがあるため使用しないでください。
- ・高温になるおそれがある場所でデバイスを長期間保管しないでください。デバイスの故障の原因となる可能性があります。
- ・このデバイスは、IEC Standard 60529 IPX7防水に対応しています。(水深1mに30分間の水没に耐える。)防水性能を超える使い方をした場合、デバイスが故障するおそれがあります。デバイスが水没・水濡れした場合には、デバイスを使用または充電、ケーブルに接続する前に、必ずデバイスに付着した水分をよく拭き取り、完全に乾かしてください。

## クリーニング方法

### 注意

- ・サビや腐食の原因となりますので、本体およびUSBケーブルの端子やその周辺に付着した汚れや水分は、充電またはPC接続の前に必ずクリーニングしてください。

- ① 薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布でデバイスを優しく拭きます。
- ② 乾いた布で水分を拭き取ります。その後デバイスを完全に乾かしてください。

## 日本国内限定保証規定

本保証規定記載内容でGPS本体の無償修理をお約束するものです。

保証書に記載された「お買上日」より「保証期間」の間、操作マニュアル、その他添付資料、注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本規定内容に基づき無償で修理をおこないます。

1. 保証期間内であっても次の場合には有償修理となります。
  - a. 使用上の誤りや、改造、分解による損傷。
  - b. 所定以外の場所への取り付けや、落下などによる損傷。
  - c. 火災・地震・水害・落雷・塩害・天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による損傷。
  - d. 業務用の長時間使用。
  - e. 保証書の提示が無い場合。
  - f. 保証書に販売店印とお買い上げ日の記入がない場合、または記載された字句が書き換えられている場合。
  - g. 消耗品（ヒューズ等）

2. 本保証規定は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

3. 保証の対象物はGPS本体のみになり、次のものは含まれません。

- a. お客様の手により加えられた外装等の変更（ステッカーや保護フィルム等）
- b. ストラップ、クリップ、ケーブル類、取付金具等の付属品

4. 記録されているデータの扱い

GPS内部に記録されているデータは個人情報が含まれる場合がありますので、必ず消去の上修理をご依頼ください。また、記録されているデータを修理交換品にコピーするなど、お客様の情報を当社で操作する事はできません。

5. 次に定める初期不良以外は保証期間内の修理に際する送料はお客様負担となります。
  - a.保証書記載の買い上げ日から7日間以内の保証修理
6. 保証期間終了後の故障は、修理または交換対応となり当該製品のハードウェアサポート終了日まで有償にて承ります。弊社サービスセンターにて製品をお預かりし対応いたします。
7. 保証書の再発行は致しませんので紛失にお気をつけください。
8. 本データ(地図、交通規制、検索結果など)は、必ずしもお客様の使用目的または、要求を満たすものではなく、全て正確かつ安全ではありません。それに伴う本データの交換・修補・代金返還の保証は致しません。
9. 本機器の不具合から生じる機器脱着などの工賃は補償の対象外です。

## ■修理依頼の方法

当社ウェブサイトにて「修理・点検のご案内」としてご依頼手順を記載させていただいております。そちらで案内させていただいている手順にてご依頼ください。

インターネット環境のないお客様に関しましては、お電話にてお問い合わせください。

## ■お問い合わせ先

〒354-0036 埼玉県富士見市ふじみ野東1丁目7番地6  
Tel 049-267-9114 Fax 049-267-9124  
(株)いいよねっと

## 文字入力と文字変換方法

文字入力は以下の6種類あります。

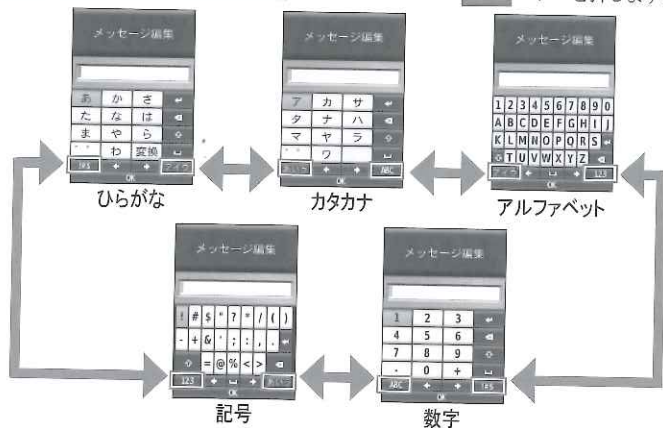
「ひらがな」「カタカナ」「アルファベット(大文字)(小文字)」「数字」「記号」

### キーボードの表示切り替え

文字入力するには、入力する文字に応じたキーボードを表示する必要があります。

文字入力キーボードの表示切り替えるには、各キーボードページで

**!# \$ アイウ あいう ABC 123** アイコンを選択して **実行** ボタンを押します。

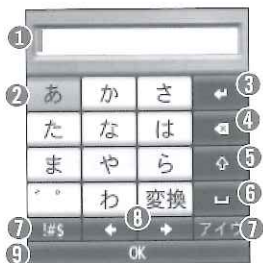


**イン** **アウト** ボタンを押すことでも切り替えができます。

「アルファベット」の大文字/小文字の切り替え方法は、185ページをご覧ください。

## キーボードの基本アイコン










キーボードに表示されるアイコンについて記載します。



1 **文字表示部**：入力した文字を表示します。  
入力している文字の後ろにカーソルが表示がされます。



2 **文字キーボード**：文字を入力します。詳しくは文字キーボード詳細をご覧ください。

- 3  **実行 / 改行** : 入力した文字を確定します。改行可能な場合は、連続で押すと改行され、カーソルが移動します。
- 4  **削除** : 入力した文字を削除します。
- 5  **文字切替** : キーボードを切り替えます。  
ひらがな ⇄ カタカナ / アルファベット大文字 ⇄ 小文字
- 6  **スペース** : 文字と文字の間に空白を入力します。
- 7   **キーボード切替** : 入力する文字の種類を切り替えます。表示されるアイコンはキーボードによって異なります。(前ページ参照)
- 8   **カーソル移動** : カーソルの位置を移動します。
- 9  **OK** : 文字入力を確定 / 終了します。

## 文字キーボード詳細

文字キーボードに表示されるアイコンについて記載します。

あ	か	さ
た	な	は
ま	や	ら
ゝ	わ	変換

「ひらがな」  
キーボード選択時

**あ** (あ行) ~ **ら** (ら行)

**実行** ボタンを押す度に、各行の5音→小文字の順番に表示します。  
(「カタカナ」の場合も同様)

**わ** (わ行)

「わ」→「を」→「ん」→「ー(調音符)」の順番に表示します。  
(「カタカナ」の場合も同様)

**ゝ** (濁点 / 半濁点)

「ひらがな」「カタカナ」に「ゝ」「゜」を付けます。  
濁点 / 半濁点を付けることのできない文字では、入力できません。

**変換** (変換)

入力した文字を変換します。「ひらがな」入力のみ表示されます。  
詳しくはページ「漢字に変換する」をご覧ください。

※「アルファベット」「数字」「記号」キーボードでは、各文字のみの入力です。

### 入力文字数

名前入力検索：全角 19文字まで入力可能です。





名前編集：全角 22文字まで入力可能です。

## 「ひらがな」と「漢字」の入力方法

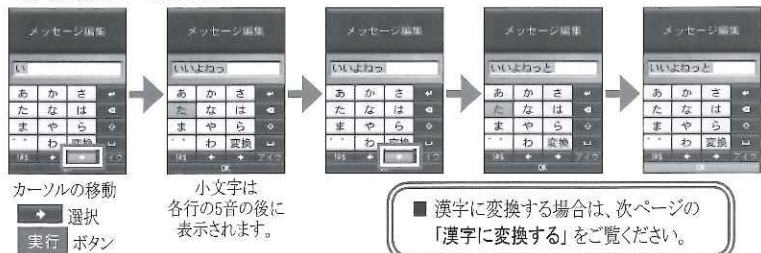
「ひらがな」の入力を行います。

「ひらがな」が表示されていない場合には、キーボードの表示切り替えを行ってください。  
キーボードの表示切り替え方法は179ページをご覧ください。

### ●ひらがなを入力する

- ① 入力したい文字が含まれる50音の「行」をロッカーキー  で選択します。
- ② 入力したい文字が文字表示部に表示されるまで、**実行** ボタンを押します。  
続けて同じ行の文字を入力する場合は、 を選択し **実行** ボタンを押して、カーソルの移動をしてください。  
「°(濁点)」 「ˆ(半濁点)」を入力する場合は、濁点/半濁点を付ける文字を先に入力し、 を選択し、**実行** ボタンを押します。
- ③ 入力したい文字を「①～②」の手順で入力します。
- ④ 文字入力を終了する場合は  アイコンを選択して **実行** ボタンを押します。

《入力例:いいよねっと》



## ● 漢字に変換する

- ① 前ページ「ひらがなを入力する」の手順で変換する文字を入力します。
- ② **変換** を選択して **実行** ボタンを押します。
- ③ 表示された一覧から変換したい漢字を選択して **実行** ボタンを押します。
- ④ 文字入力を終了する場合は **OK** を選択して **実行** ボタンを押します。

《入力例:千葉》



- 漢字に変換したくない文字の場合、**←** を選択して **実行** ボタンを押すと、ひらがなのまま文字が確定され、変換対象になりません。  
例：「ふじみ野」と変換したい場合、「ふじみ」を入力後に **←** を選択して **実行** ボタンを押します。「の」を入力して上記の漢字変換を行います。
- 変換したい漢字が表示されない場合には、読みなどを変えて入力してください。







## 「カタカナ」の入力方法

「カタカナ」の入力を行います。

「カタカナ」が表示されていない場合には、キーボードの表示切り替えを行ってください。  
キーボードの表示切り替え方法は179ページをご覧ください。

### ●カタカナを入力する

- ① 入力したい文字が含まれる50音の「行」をロッカーキー  で選択します。
- ② 入力したい文字が文字表示部に表示されるまで、**実行** ボタンを押します。  
続けて同じ行の文字を入力する場合は、 を選択し **実行** ボタンを押して、カーソルの移動をしてください。  
「°(濁点)」 「°(半濁点)」を入力する場合は、濁点/半濁点を付ける文字を先に入力し、 を選択し、**実行** ボタンを押します。
- ③ 入力したい文字を「①～②」の手順で入力します。
- ④ 文字入力を終了する場合は  アイコンを選択して **実行** ボタンを押します。

《入力例: ガーミン》



- カタカナ入力では、漢字へ変換することはできません。
- カタカナは半角で入力できません。
- カタカナはひらがなを変換して入力可能です。

## 「アルファベット」の入力方法

「アルファベット」の入力を行います。


「アルファベット」が表示されていない場合にはキーボードの表示切り替えを行ってください。  
キーボードの表示切り替え方法は179ページをご覧ください。


### ●アルファベットを入力する

- 1 入力したい文字をロッカーキー  で選択し、**実行** ボタンを押します。  
 ボタンで大文字と小文字の切り替えをします。
- 2 文字入力を終了する場合は  アイコンを選択して **実行** ボタンを押します。

《入力例:Garmin》



 で  
大文字/小文字の  
切り替えをします。

- スペースを空ける場合には  アイコンを選択して **実行** ボタンを押します。
- アルファベットは全角で入力できません。

## 「数字」の入力方法

「数字」の入力を行います。

「数字」が表示されていない場合には キーボードの表示切り替えを行ってください。  
キーボードの表示切り替え方法は179ページをご覧ください。

### ●数字を入力する



- ① 入力したい文字を ロッカーキー  で選択し、**実行** ボタンを押します。
- ② 文字入力を終了する場合は  アイコンを選択して **実行** ボタンを押します。

- 数字の入力は、「アルファベット」キーボードでも可能です。
- スペースを空ける場合には  アイコンを選択して **実行** ボタンを押します。
- 数字は全角で入力できません。

## 「記号」の入力方法


「記号」の入力を行います。

「記号」が表示されていない場合には キーボードの表示切り替えを行ってください。  
キーボードの表示切り替え方法は179ページをご覧ください。

### ●記号を入力する



- 1 入力したい文字をロッカーキー  で選択し、**実行** ボタンを押します。
- 2 文字入力を終了する場合は  アイコンを選択して **実行** ボタンを押します。

- 記号の入力は、「ひらがな」のキーボードでも入力可能です。  
「ひらがな」のキーボードで「きごう」と入力して **変換** アイコンを選択し、**実行** ボタンを押します。表示された記号を選択して **実行** ボタンを押します。
- スペースを空ける場合には  アイコンを選択して **実行** ボタンを押します。
- 上記操作では記号は全角で入力できません。全角記号の入力は、ひらがなで「きごう」と入力し、変換する事で入力が可能です。

## お問い合わせ先

Garmin 日本向けウェブサイト

<http://www.Garmin.co.jp/>

お電話でのお問い合わせ

**049-267-9114**

受付時間: 午前10時～午後12時、午後1時～午後5時

(土日祝日・夏季休業・年末年始を除く)

販売会社 株式会社 いいよねっと

〒354-0036 埼玉県富士見市ふじみ野東1丁目7番地6















製品の使用・操作に関する最新・補足情報については  
以下のウェブサイトアクセスしてください。  
Garmin.co.jp



© 2017 Garmin Ltd. or its subsidiaries

Garmin International, Inc.  
1200 East 151<sup>st</sup> Street, Olathe, Kansas 66062, USA

Garmin (Europe) Ltd.  
Liberty House, Hounslow Business Park, Southampton, Hampshire, SO40 9LR UK

Garmin Corporation  
No. 68, Zhangshu 2<sup>nd</sup> Road, Xizhi District, New Taipei City 221, Taiwan, R.O.C.  
Garmin.com



Part Number 190-01702-24 Rev.B  
M/N AA2401